

Oracle Enterprise Manager

メッセージ・マニュアル

リリース 2.0.4

1999 年 4 月

部品番号： A62839-1

『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』では、 Oracle Enterprise Manager のエラー・メッセージと、その診断方法について説明します。

ORACLE®

Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル、リリース 2.0.4

部品番号： A62839-1

第 1 版： 1999 年 4 月

原本名： Oracle Enterprise Manager Messages Manual, Release 2.0

原本部品番号： A67821-01

原本著者： Jennifer Hodge Smith

原本協力者： Jackie Gosselin, Priscilla Lee, Lisa Sheehan, Anatole Wilson, and the Oracle System Management Products team.

Copyright © 1996, 1999, Oracle Corporation.

All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラムの使用、複製、または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。

危険な用途への使用について

当社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、または医療の分野など、本質的に危険が伴うアプリケーションを用途として特に開発されておりません。当社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は顧客各位の責任と費用により行っていただきたく、万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましたも、当社および開発元である米国 Oracle Corporation (その関連会社も含みます) は一切責任を負いかねます。

本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。本書に問題を見つけたら、当社にコメントをお送りください。オラクル社は、本書の無謬性を保証しません。

ORACLE は、Oracle Corporation の登録商標です。

本文中の他社の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	vii
1 エラー・メッセージの解釈	
Oracle Enterprise Manager メッセージの分類	1-1
メッセージの接頭辞	1-1
その他の Oracle メッセージの接頭辞	1-2
カスタマ・サポートへの問合せ	1-3
2 Software Developer Kit (SDK) メッセージ	
EmSDK-1000 ~ EmSDK-1999 のメッセージ	2-1
3 Oracle Trace メッセージ	
EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ	3-2
EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ	3-9
4 Oracle Data Gatherer メッセージ (第 2 層)	
ODG-05001 ~ ODG-05842 のメッセージ	4-1
5 Management Pack メッセージ (第 2 層)	
VBO-1000 ~ VBO-1499: DBA Management Pack の一般的なメッセージ	5-1
VBOG-2000 ~ VBOG-2999: Storage Manager メッセージ	5-2
VBOI-3000 ~ VBOI-3499: Instance Manager メッセージ	5-3
VBOS-4000 ~ VBOS-4499: Schema Manager メッセージ	5-4
VBOZ-2000 ~ VBOZ-5005: Change Management Pack メッセージ	5-4

6 Index Tuning Wizard メッセージ（第2層）	
VBUI-1000 ~ VBUI-1009 の Index Tuning Wizard メッセージ	6-1
7 Oracle Change Management Pack メッセージ	
VBZ-1049 ~ VBZ-3121 のメッセージ	7-1
VBZU-1006 ~ VBZU-1009 のメッセージ	7-2
8 Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ	
VDE-1000 ~ VDE-1499 のメッセージ	8-1
VDI-0000 ~ VDI-0249 のメッセージ	8-1
VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ	8-2
VDR-7000 ~ VDR-7249 のメッセージ	8-3
VDU-6000 ~ VDU-6999 のメッセージ	8-4
9 Oracle SQL Analyze サービス・メッセージ	
VMQ-00001 ~ VMQ-00055 のメッセージ	9-1
10 Oracle Top Sessions メッセージ	
VMS-00001 ~ VMS-00004: 重要なエラー・メッセージ	10-1
VMS-01000 ~ VMS-01016: 重要でないエラー・メッセージ	10-2
VMS-02000 ~ VMS-02009: 情報メッセージ	10-4
11 Oracle Tablespace Manager メッセージ	
VMT-00000 ~ VMT-00999: エラー・メッセージ	11-1
VMT-10000 ~ VMT-10099: 情報メッセージ	11-2
12 エージェント・ゲートウェイ・メッセージ	
VNI-2000 ~ VNI-4999 のメッセージ	12-1
13 コンソール・メッセージ	
VTC-1000 ~ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ	13-1
VTCE-1232 ~ VTCE-1237: イベント管理メッセージ	13-4
VTCV-1343 ~ VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ	13-5

VTCX-1337 ~ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理メッセージ.....	13-5
14 Oracle Data Gatherer メッセージ (クライアント層)	
VTD-0001 ~ VTD-0094 のメッセージ	14-1
15 Oracle Management Server メッセージ (クライアント層)	
VTK-1000 ~ VTK-1999 のメッセージ	15-1
16 Oracle Performance Manager メッセージ	
VTM-0001 ~ VTM-2001 のメッセージ	16-1
17 Management Pack メッセージ (クライアント層)	
VTO-1000 ~ VTO-4999: DBA Management Pack の一般的なメッセージ.....	17-1
VTOG-1000 ~ VTOG-1999: Storage Manager メッセージ	17-4
VTOI-1000 ~ VTOI-1999: Instance Manager メッセージ	17-4
VTOL-1000 ~ VTOL-1999 のメッセージ	17-4
VTOR-1000 ~ VTOR-1999 のメッセージ	17-4
VTOZ-3002 ~ VTOZ-9010: Change Management Pack メッセージ	17-5
18 Oracle Capacity Planner メッセージ	
VTP-0001 ~ VTP-0110 のメッセージ	18-1
19 Oracle SQL*Plus Worksheet メッセージ	
VTW-1000 ~ VTW-1999 のメッセージ	19-1
20 Oracle Change Management Pack メッセージ (クライアント層)	
VTZ-0011 ~ VTZ-9109 のメッセージ	20-1
21 Oracle Management Server メッセージ	
VXA-1000 ~ VXA-2999 のメッセージ	21-1
22 Naming Service メッセージ	
VXN-1000 ~ VXN-1999 のメッセージ	22-1

23 Oracle Expert サービス・メッセージ

XP-21000 ~ XP-21999 のメッセージ 23-1

索引

はじめに

このマニュアルの目的

このマニュアルでは、Oracle Enterprise Manager と、オプションの管理パックを含む各コンポーネントで発生するエラーについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

このマニュアルの対象読者

『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』は、Oracle Enterprise Manager を使用してシステム管理タスクを実行するユーザー、および実行するタスクに精通しているユーザーを対象にしています。データベース管理タスクに習熟していない場合は、Oracle Server ドキュメント・セットを参照してください。

『Oracle Server 管理者ガイド』の第 1 部をお読みにならない場合は、お読みになることをお薦めします。この部の各章には、データベース管理者の基本的な責任事項が説明されています。

またこのマニュアルは、読者がオペレーティング・システムに精通していることも前提としています。必要に応じて、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

注意： Oracle Enterprise Manager の概要是、『Oracle Enterprise Manager 概説』および、Oracle Enterprise Manager Quick Tour を参照してください。

このマニュアルの構成

このマニュアルで説明するエラー・メッセージは、すべて次の例のように、3 文字以上のアルファベットと数字から成る接頭辞を持っています。

VNI-2002: ファイル操作エラー

エラー・メッセージは、マニュアル全体では接頭辞のアルファベット順に、各章の中ではメッセージの番号順に記載されています。各章には、1つまたは複数の接頭辞があります。メッセージを見つけるには、マニュアル全体でアルファベット順に検索するか、または「索引」で検索してください。

このマニュアルの使用方法

このマニュアルは、他の Oracle Enterprise Manager マニュアルと同様、Oracle Server ドキュメント・セットと併用するように作成されています。Oracle Enterprise Manager ドキュメント・セットでは、Oracle Enterprise Manager を使用してデータベース管理タスクを実行する方法を説明しています。これに対して、Oracle Server ドキュメント・セットでは、これらのタスクを実行する理由と意味を説明しています。Oracle Enterprise Manager をご使用の際は、Oracle Server ドキュメント・セットも参照することをお薦めします。

ドキュメント・セット

Oracle Enterprise Manager マニュアルは、すべて Oracle Enterprise Manager CD に HTML 形式で収められており、Web ブラウザで表示できます。マニュアルの他にも、Oracle Enterprise Manager の各コンポーネントには詳しいオンライン・ヘルプが用意されています。

Oracle Enterprise Manager マニュアルは、次のとあります。

- 『Oracle Enterprise Manager リリースノート』では、オンライン・マニュアルに関する重要な注意事項、ソフトウェアの更新情報、およびその他の最新情報を説明しています。
- 『Oracle Enterprise Manager インストレーション・ガイド』では、Oracle Enterprise Manager のインストールに関する情報を説明しています。
- 『Oracle Enterprise Manager 管理者ガイド』では、Oracle Enterprise Manager コンソール、共通サービスおよびデータベース管理ツールの使用方法を説明しています。
- 『Oracle Enterprise Manager 概説』では、Oracle Enterprise Manager と、そのアーキテクチャおよびコンポーネントについて、概要を説明します。
- 『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』では、Oracle Enterprise Manager の構成および起動方法を説明します。
- 『Oracle Intelligent Agent ユーザーズ・ガイド』では、Oracle Enterprise Manager に合わせて Oracle Intelligent Agent を使用する方法を説明します。
- 『Oracle SNMP サポート・リファレンス・ガイド』は、SNMP ベースの管理アプリケーションを開発するサード・パーティ開発者のためのマニュアルです。データベース管理者が、Oracle 製品には精通しているながら SNMP についてはあまり詳しくない場合にも、このマニュアルが有効です。

- 『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』では、Oracle Enterprise Manager のエラー・メッセージと、その診断方法について説明しています。

Oracle Change Management Pack マニュアル

- 『Oracle Enterprise Manager Change Management Pack リリースノート』では、Oracle Change Management Pack のオンライン・マニュアルに関する重要な注意事項、ソフトウェアの更新情報、およびその他の最新情報を説明しています。
- 『Oracle Change Management Pack スタート・ガイド』では、Oracle Change Management Pack アプリケーションの概説および機能の概要を説明します。
- 『Oracle Change Management Pack インストレーション・ガイド』では、Oracle Change Management Pack のインストール方法を説明しています。

Oracle Diagnostics Pack マニュアル

- 『Oracle Enterprise Manager Diagnostics Pack リリースノート』では、Oracle Diagnostics Pack のオンライン・マニュアルに関する重要な注意事項、ソフトウェアの更新情報、およびその他の最新情報を説明しています。
- 『Oracle Enterprise Manager パフォーマンス・モニタリングおよびプランニング・ガイド』では、Oracle Diagnostics Pack を使用したシステム・パフォーマンスのモニタリング方法を説明します。
- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Trace ユーザーズ・ガイド』では、Oracle Trace アプリケーションを使用して、Oracle データベースを監視するために履歴データを獲得および使用する方法を説明しています。
- 『Oracle Enterprise Manager Oracle Trace 開発者ガイド』では、アプリケーションに Oracle Trace ルーチンを組み込む方法を説明します。
- 『Oracle Diagnostics Pack インストレーション・ガイド』では、Oracle Diagnostics Pack のインストール方法を説明しています。

Oracle Tuning Pack マニュアル

- 『Oracle Enterprise Manager Tuning Pack リリースノート』では、Tuning Pack のオンライン・マニュアルに関する重要な注意事項、ソフトウェアの更新情報、およびその他の最新情報を説明しています。
- 『Oracle Tuning Pack によるデータベース・チューニング』では、Oracle Tuning Pack とそのコンポーネントを使用してシステムを最適化するチューニング方法を説明します。
- 『Oracle Tuning Pack インストレーション・ガイド』では、Oracle Tuning Pack のインストール方法を説明しています。

Oracle Enterprise Manager ドキュメント・セットの他にも、Oracle Enterprise Manager には、Oracle Enterprise Manager Quick Tour と、詳細なオンライン・ヘルプが用意されています。

関連資料

このマニュアルでは、重要情報について、次の関連資料を参照している場合があります。

- Oracle Server の概要および機能の詳細は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server 概要』を参照してください。
- Oracle Server の管理の詳細は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server 管理者ガイド』を参照してください。
- Oracle Server でのデータベース・アプリケーションの開発方法は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server アプリケーション開発者ガイド』を参照してください。
- 前のバージョンからの Oracle 移行手順は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server 移行ガイド』を参照してください。
- Oracle SQL のコマンドおよび関数の詳細は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server SQL リファレンス』を参照してください。
- Oracle がプロシージャ型言語を拡張した SQL である PL/SQL の詳細は、『PL/SQL ユーザーズ・ガイドおよびリファレンス』を参照してください。
- Oracle メッセージおよびコードの詳細は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server メッセージ』を参照してください。
- Oracle Server にバンドルされているユーティリティ (Export、Import、SQL*Loader など) の詳細は、ご使用のサーバー別の『Oracle Server ユーティリティ』を参照してください。
- ご使用のホスト・オペレーティング・システム上で稼動する Oracle Server 固有の情報は、ご使用のオペレーティング・システム別の Oracle のマニュアル (オペレーティング・システムによって本のタイトルは異なります) およびシステム・リリースノートを参照してください。
- Oracle ネットワーキング・システムの詳細は、ご使用のネットワーク別のマニュアルを参照してください。

オラクル社では、ご使用の配布媒体でご利用いただけるいくつかのファイルを提供しています。これらのファイルは通常、README、RELNOTE、BUGHST および RESTRICT などのファイル名と、.WRI、.DOC および .TXT などの拡張子を持っています。マニュアルに記載されていないソフトウェアおよびマニュアルの変更については、これらのファイルを参照してください。

注意： 上記ファイルの名前および位置は、オペレーティング・システムによって異なる場合があります。

1

エラー・メッセージの解釈

この章では、このマニュアルを使用して Oracle Enterprise Manager のエラー・メッセージを解釈する際の、一般的な情報と有効なヒントを解説します。この章では、次の項目について説明しています。

- Oracle Enterprise Manager メッセージの分類
- カスタマ・サポートへの問合せ

重要： Oracle Enterprise Manager とそのコンポーネントによってサポートされる特定リースの Oracle Server の詳細は、『Oracle Enterprise Manager インストレーション・ガイド』を参照してください。

Oracle Enterprise Manager メッセージの分類

このマニュアルでは Oracle Enterprise Manager コンソール、その共通サービス、および統合アプリケーションについて、個々のメッセージを説明します。またこのマニュアルでは、オプションのシステム管理パックのメッセージについても説明しています。

メッセージの接頭辞

このマニュアルでは、接頭辞のアルファベット順にメッセージを並べてあり、各章はその接頭辞の 1 つ以上のタイプを持つメッセージで構成されています。メッセージの接頭辞は、メッセージを生成した Oracle Enterprise Manager の機能を示しています。次の表は、それらの機能を一覧にしたものです。

接頭辞の冒頭	機能
EmSDK	Software Developer Kit (SDK) メッセージ
EPC...	Oracle Trace メッセージ
ODG	Oracle Data Gatherer メッセージ (第 2 層)
VBO...	Management Pack メッセージ (第 2 層)

接頭辞の冒頭	機能
VBU...	Index Tuning Wizard メッセージ（第 2 層）
VBZ...	Oracle Change Management Pack メッセージ
VD...	Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ
VMQ	Oracle SQL Analyze サービス・メッセージ
VMS	Oracle Top Sessions メッセージ
VMT	Oracle Tablespace Manager メッセージ
VNI	エージェント・ゲートウェイ・メッセージ
VTC...	コンソール・メッセージ
VTD	Oracle Data Gatherer メッセージ（クライアント層）
VTK	Oracle Management Server メッセージ（クライアント層）
VTM	Oracle Performance Manager メッセージ
VTO...	Management Pack メッセージ（クライアント層）
VTP	Oracle Capacity Planner メッセージ
VTW	Oracle SQL*Plus Worksheet メッセージ
VTZ	Oracle Change Management Pack メッセージ（クライアント層）
VXA	Oracle Management Server メッセージ
VXN	Naming Service メッセージ
XP	Oracle Expert サービス・メッセージ

その他の Oracle メッセージの接頭辞

Oracle Enterprise Manager を使用中は、他の Oracle メッセージが表示されることもあります。このマニュアルにない接頭辞が表示されている場合は、各接頭辞が説明されている次のマニュアルを参照してください。

- 接頭辞「TNS」は、Oracle ネットワーク製品によって生成されたエラー・メッセージを示しています。これらのエラーは、『Oracle ネットワーク製品メッセージ・マニュアル』に記載されています。
- 接頭辞「NMC」は、Oracle Network Manager によって生成されたエラー・メッセージを示しています。接頭辞「NMO」は、Oracle Network Manager のネットワーク・オブジェクト・レイヤーによって生成されたエラー・メッセージを示しています。接頭辞「NMR」は、Oracle Network Manager の ROS ファイル・レベルから生成されたメッセージに付いています。これらのエラーは、『Oracle ネットワーク製品メッセージ・マニュアル』に記載されています。
- 接頭辞「NNO」は、Oracle Names Server によって生成されたエラー・メッセージの前に付いています。接頭辞「NNC」は、Oracle Names クライアントによって生成された

エラー・メッセージを示し、サーバーとクライアントで共通です。接頭辞「NNL」は、Oracle Names コントロール・ユーティリティによって生成されたエラー・メッセージに付いています。これらのエラーは、『Oracle ネットワーク製品メッセージ・マニュアル』に記載されています。

- 「NMP」の接頭辞は、SNMP 問合せを処理する Oracle Names Server の一部であるネットワーク管理プロトコルによって生成されたエラー・メッセージに付いています。
「NPL」の接頭辞は、Oracle Names Server のネットワーク・プレゼンテーション・レイヤー・コンポーネントによって生成されたエラー・メッセージの前に付いています。
ネットワーク管理プロトコルおよびネットワーク・プレゼンテーション・レイヤーのエラー・メッセージは、通常、表示されません。これらのエラーは、『Oracle ネットワーク製品メッセージ・マニュアル』に記載されています。
- 接頭辞「ORA」は、すべての Oracle アプリケーションによって戻される一般的な接頭辞です。これらのエラーは、『Oracle Server メッセージ』に記載されています。

カスタマ・サポートへの問合せ

一部のエラー・メッセージでは、解決方法として、カスタマ・サポートに連絡することをお薦めしています。カスタマ・サポートにお問合せの際には、次の用意をお願いします。

- アプリケーションを実行しているハードウェア、オペレーティング・システム、およびオペレーティング・システムのリリース番号。
例：「クライアント・マシンは、Windows NT ワークステーションで、サーバー・マシンは、SUN OS4.1.3 を搭載した SUN ワークステーション・マシンです。プロトコルは、TCP/IP です。」
- 現在の問題に関するすべての Oracle Enterprise Manager 製品のリリース番号。
例：「リリース 2.0.14 Oracle TCP/IP アダプタを使って、クライアントとサーバーで Oracle Enterprise Manager リリース 1.0 を実行しています。」
- 1 つ以上のエラー・コードまたはエラー・メッセージが表示された場合は、表示された順番に正確なコード番号とメッセージ・テキストを控えてください。
- 次のコードに従って、問題の重大度を示す番号を指定してください。
 - 1 = プログラムを実行できない。操作に重大な影響がある。
 - 2 = プログラムが実行できる。操作は非常に制限される。
 - 3 = 限定された機能でプログラムを実行できる。全体の操作ではそれほど重大ではない。
 - 4 = 問題はユーザーが回避できる。操作に対する影響はきわめて小さい。
- 通常とは異なる状態など、問題の説明。

- 次の点についても、お知らせください。

名前

会社名

貴社の Oracle カスタマ・サポート ID (CSI) 番号

電話番号

2

Software Developer Kit (SDK) メッセージ

EmSDK-1000 ~ EmSDK-1999 のメッセージ

EmSDK-1000: クライアント・レジストリ読み込み中のクリティカルエラー。異常終了します。

原因: ログイン・ダイアログの初期化に失敗しました。

処置: クライアント・システム上の ClientConfig.properties ファイルが壊れている可能性があります。ClientConfig.properties ファイルの名前を変更してから、コンソールを再起動してください。新しい properties ファイルが作成されます。

EmSDK-1002: Oracle Management Server のシステム・レジストリ

原因: レジストリ・オブジェクトをバインドできませんでした。

処置: レジストリ・エントリがある Oracle Management Server のリポジトリが壊れています。Oracle Configuration Assistant を再実行して、リポジトリを作り直してください。

3

Oracle Trace メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	ページ
EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ	3-2
EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ	3-9

Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ

Oracle Trace についてカスタマ・サポートに問い合わせる場合は、次の情報をお知らせください。

- ご使用の Oracle Trace のバージョン。
- データベース収集でエラーが発生した場合は、データベースのバージョン。
- Oracle Intelligent Agent のバージョン。
- クライアントおよびサーバーでご使用のオペレーティング・システムおよびそのバージョン。
- エラーが発生したときに実行していた操作。エラーが何度も発生する場合の操作手順。
- EPC_ERROR.LOG および Oracle Trace Manager ロギング・ウィンドウの情報に記録されているエラーの詳細。
- ORACLE_HOMES に、構成情報などの情報が 1 つ以上あるかどうか。データベースが 1 つ以上あるかどうか。
- 収集 .cdf ファイルおよび .dat ファイルが作成されているかどうか。作成されている場合は、それらのファイル・サイズ。

EPC-00020 ~ EPC-00352 のメッセージ

次のエラー・メッセージは、Oracle Trace Manager の動作中に表示される可能性がある、Oracle Trace Collection Services メッセージの一部です。Oracle Trace Collection Services メッセージの完全なリストは、『Oracle Server メッセージ』を参照してください。

EPC-00020: Oracle Trace がメモリーにアクセスできません。

原因： マップされたメモリー管理.dat ファイルの 1 つが満杯になったときに、Oracle Trace は、そのファイルのサイズを拡張できませんでした。これは、Windows NT の場合だけの問題です。その他のプラットフォームでは、ユーザーの処置がなくても、必要に応じてファイルは拡張されます。

処置： 現在実行している Oracle Trace 収集が完了するのを待ち、それから *.dat ファイル上のスペースを解放してください。Oracle Trace 収集が実行されていない（また、Oracle データベース・プロセスがすでにファイルにアタッチしていない）場合には、otrcrcref イメージを実行して空の.dat ファイルを新規に作成できます。必要であれば、otrcrcref を実行する際に、otrcrcref -f200 -c32 -r400 など、より大きいファイル・サイズを指定できます。

EPC-00046: 一般エラー・メッセージです。

原因： このエラーは通常、原因となるエラーの値が、処理できる値の範囲を超えている場合に Oracle Trace Manager を通して返されます。異常な状態では、原因不明のエラーを通知する場合にも、このエラーが返されることがあります。

処置： エラーが存在する場合は、EPC_ERROR.LOG ファイルでエラーの詳細を検索し、それらの原因および解決方法の説明を見つけてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00055: データ・コレクション・ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因： データ収集ファイル (.cdf) をオープンしようとして、Oracle Trace でエラーが発生しました。

処置： 収集ファイルが存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00056: コレクション定義ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因： 収集定義ファイル (.cdf) をオープンしようとして、Oracle Trace でエラーが発生しました。

処置： 収集定義ファイル (.cdf) が存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00063: 製品定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

原因: epc_collect コールなどで指定した製品定義ファイル (.fdf) を読み込もうとした際に、エラーが発生しました。

処置: 製品定義ファイルが存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00064: データ・コレクション・ファイルの作成でエラーが発生しました。

原因: データ収集ファイル (.cdf) を作成しようとして、エラーが発生しました。

処置: Oracle Trace admin/cdf ディレクトリの保護設定をチェックしてください。ORACLE_HOME の定義と Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00065: コレクション定義ファイルの作成でエラーが発生しました。

原因: 指定された収集定義ファイル (.cdf) を作成しようとして、エラーが発生しました。

処置: Oracle Trace admin/cdf ディレクトリの保護設定をチェックしてください。ORACLE_HOME の定義と Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00066: コレクション定義ファイルの書き込みでエラーが発生しました。

原因: 指定された収集定義ファイル (.cdf) に書き込もうとして、エラーが発生しました。

処置: 十分なディスク領域があるかどうか、ファイルの保護が正しいかどうかを確認してください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00067: 製品定義ファイルのオープンでエラーが発生しました。

原因: 製品定義ファイルのオープン中にエラーが発生しました。

処置: 製品定義ファイル (.fdf) が存在していることを確認し、ファイル保護をチェックしてください。ディレクトリ保護、ORACLE_HOME の定義および Oracle Trace パラメータ設定もチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00084: ファイルのメモリー・マッピングに失敗しました。

原因： 通常、Oracle Trace Collection Services と他のコンポーネントの間に不一致（たとえば、データベース・サーバーのバージョン）があることを示します。ローカルにマウントされたディスク・デバイス上にファイルがない場合には、Oracle Trace admin.dat ファイルのメモリー・マッピングが原因でエラーが生成される可能性もあります。

処置： Oracle Trace マニュアルを参照するか、またはカスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00087: CLI ジョブを開始しています。

原因： この状態は、Oracle Trace CLI ジョブが開始された（すなわち、Oracle Trace のかわりに Oracle Intelligent Agent によって実行された）ことを示すために使用されます。これはエラーではありません。

処置： なし。Oracle Server リリース 7.3.3 の場合、エラー・メッセージは「プロセス・レコードを PRO ファイルに割り当てられません」となります。これは、しばしば EPC-00084 のエラーと同時に発生します。

EPC-00116: コレクションは collect.dat ファイル内にすでに存在しています。

原因： その収集名はすでに使用されており、現在 Oracle Trace admin collect.dat ファイルにあります。収集が非アクティブな場合、この記録は最終的には破棄されます。

処置： 新しい収集名を指定するか、または otrccref イメージを実行して（すべてのプロセスをこれらのファイルから解除した後に） Oracle Trace admin.dat ファイルを強制的にクリーン・アップします。

EPC-00133: CLI ジョブを完了しました。

原因： この状態は、Oracle Trace CLI ジョブが完了した（すなわち、Oracle Trace のかわりに Oracle Intelligent Agent によって実行された）ことを示すために使用されます。これはエラーではありません。

処置： なし

EPC-00146: "

原因： Oracle Trace コマンド・ライン・インターフェラ (CLI) によって使用されます。 Oracle Trace における通常の正常な出力の一部です。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00148: コレクション状態： アクティブ

原因： Oracle Trace CLI の「収集のチェック」操作が成功してメッセージが戻された状態で、指定した収集が存在し、アクティブであることを示します。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00149: コレクション状態： アクティブでない

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00150: コレクション状態： 未定義

原因： これは Oracle Trace の内部エラーです。通常は発生しないエラーです。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00151: コレクション定義ファイルとデータ・コレクション・ファイルが削除されました。

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00157: コレクションを開始しました。

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00158: コレクションが完了しました。

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00159: ユーザー名またはパスワード（またはサービス名）が指定されていません。

原因： Oracle Trace データのフォーマットなどのために、Oracle データベースにアクセスする場合、ユーザーは、有効なデータベース・アカウントのユーザー名、パスワード、データベース・サービス名を指定して、完全な Oracle データベース接続文字列を作成する必要があります。

処置： 欠落している接続文字列の要素を指定してください。

EPC-00169: コレクション定義ファイルの削除でエラーが発生しました。

原因： 収集の.cdf ファイルを削除しようとした際にエラーが発生すると、Oracle Trace CLI によってこのエラーが通知されます。多くの場合、ファイルが存在しない（すでに削除されている）ファイルが保護されている、または Oracle Traced 収集の一部である 1 つ以上のプロセス、つまりデータベース・プロセスによってファイルが保持されていることが原因です。

処置： ファイルが存在していることを確認し、必要であれば保護を修正してください。データベース・プロセスによってファイルがオープンされている場合は、（各プロセスの次のデータベース操作の際に）プロセスからファイルが解放されるまで待ってください。

EPC-00170: コレクション・データ・ファイルの削除でエラーが発生しました。

原因： 収集の.dat ファイルを削除しようとした際にエラーが発生すると、Oracle Trace CLI によってこのエラーが通知されます。多くの場合、ファイルが存在しない（すでに削除されている）ファイルが保護されている、または Oracle Traced 収集の一部である

1つ以上のプロセス、つまりデータベース・プロセスによってファイルが保持されていることが原因です。

処置： ファイルが存在していることを確認し、必要であれば保護を修正してください。データベース・プロセスによってファイルがオープンされている場合は、(各プロセスの次のデータベース操作の際に) プロセスからファイルが解放されるまで待ってください。

EPC-00173: コマンド行引数リストの解析に失敗しました。

原因： これは Oracle Trace の内部エラーです。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00175: Oracle Trace の CLI イメージが見つからないか、または実行可能ではありません。

原因： Oracle Trace CLI イメージ otrecoll が ORACLE_HOME/bin にないか、アクセスが拒否されました。

処置： イメージがある場合には、実行が可能なように保護を設定してください。イメージがない場合には、そのシステム上の Oracle インストールの責任者にお問合せください。複数の ORACLE_HOME 定義がある場合は、正しい ORACLE_HOME が使用されていることを確認してください。そうでない場合は、カスタマ・サポートにお問合せください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00176: フォーマットを完了しました。

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00177: フォーマットを開始しました。

原因： これは成功メッセージです。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00179: ユーザー・アクションまたは最大ファイル・サイズ(またはエラー)により、コレクションが停止しました。

原因： このメッセージは、スケジュールされた終了時よりも前にユーザーが明示的に収集を停止した、または指定された最大ファイル・サイズに達した(ディスクが満杯になった)ために収集が終了した、または何らかのエラーによりコレクションが停止されたことを示します。

処置： ユーザーが収集を停止したのではない場合は、ディスクの使用状況をチェックしてください。init.ora ファイルまたは Oracle Trace Manager で、最大ファイル・サイズをチェックしてください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00180: フォーマットしたデータの削除を開始しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00181: フォーマットしたデータの削除を完了しました。

原因: これは成功メッセージです。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00182: OCI データベース・アクセスのエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace CLI データベースのアクセス中にエラーが発生しました。

処置: 失敗に関する追加情報およびエラー・メッセージは、EPC_ERROR.LOG ファイルを参照してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00186: コレクションの開始でエラーが発生しました。

原因: collect.dat ファイルで収集状態をアクティブに設定した際に、エラーが発生しました。これは Oracle Trace の内部エラーです。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00189: アクティブ・コレクションの制限を超えていました。

原因: この製品での収集最大数を超えるました。現在の収集最大数は、5 つまでです。

処置: 収集を再試行してください。

EPC-00235: データ・コレクション・ファイル <ファイル名>.dat が見つかりません。

原因: データ・ファイルが見つかりません。削除され、すでに存在していない可能性があります。

処置: 処置は必要ありません。

EPC-00236: コレクション定義ファイル <ファイル名>.cdf が見つかりません。

原因: 収集定義ファイル (.cdf) が見つからなかったか、またはファイル保護のためにアクセスできませんでした。

処置: .cdf ファイルがすでに存在しない場合、処置は必要ありません。.cdf ファイルが存在する場合には、ファイル保護をチェックしてください。

EPC-00308: Oracle 文の実行でエラーが発生しました。

原因: これは Oracle Trace の内部エラーです。通常は発生しないエラーです。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。追加情報は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPC-00309: <SQL 文> の解析でエラーが発生しました。

原因： このエラーは通常、Oracle Trace データをデータベースにフォーマットする際に発生します。このエラーは、フォーマット表がデータベースにないか、または現行のフォーマット表定義と、フォーマット操作を実行しようとしている Oracle Trace イメージとの同期が取れていないことを示しています。Oracle Trace リリース 7.3.4 と 8.0.4 (およびそれ以降) では、自動的にフォーマット表を説明するメタデータを作成および更新できますが、これより古いリリースではこの機能がありません。

処置： 必要に応じて、Oracle Trace フォーマッタ SQL スクリプトを実行して、ターゲット・データベースの Oracle Trace フォーマット表定義を更新してください。ただし、Oracle Trace の新しいバージョンで、すでにデータをデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウントにフォーマットした場合には、フォーマットされたデータに、別のデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウント (あるいはその両方) を使用する必要がある場合があります。互換性のない古いバージョンの Oracle Trace では、フォーマット表が異なるため、これと同じデータベースまたはデータベース・ユーザー・アカウントにフォーマットすることはできません。otrcfmt イメージについての説明は、『Oracle Trace ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

EPC-00344: フォーマットする新規データはありません。終了します。

原因： 新しいデータを含まないデータ・ファイルをフォーマットしようとしました。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00349: Oracle7 データベース・コレクションの開始または停止でエラーが発生しました。

原因： このエラーには、いくつかの原因が考えられます。

処置： 特定のエラー番号の EPC_ERROR.LOG を参照してください。

EPC-00350: collection_id<ID> のフォーマットを強制終了しています。データベースから削除して、再フォーマットしてください。

原因： このエラーには、いくつかの原因が考えられます。ユーザーがフォーマット操作を取り消した場合には、エラー・メッセージではなく、単なる情報メッセージであることもあります。

処置： EPC_ERROR.LOG を調べて、他のエラー・メッセージがないかどうかチェックしてください。例：「フォーマッタに提供するデータベース・サービス名の解決に失敗しました」(これは、フォーマット・コードが実行されているローカル・ノード上の TNSNAMES.ORA ファイルに、指定したフォーマット・データベースのエントリが含まれていないことを示しています。) エラー・メッセージで表示された収集 ID が 0 より小さい場合、フォーマット処理がフォーマット・データベースへのアクセスまで進まなかつた可能性があります。Format コマンドを再実行し、-f パラメータを指定して(つまり、部分的なフォーマットではなく、完全なフォーマット) 異常終了の前にすでにフォーマットされたデータを、再度フォーマットしてください。

EPC-00351: ユーザーがフォーマットを取り消しました。

原因： Oracle Trace Format 操作は停止されました。

処置： 処置は必要ありません。

EPC-00352: このファイルはすでに存在します。別の名前を選択してください。

原因： 指定されたファイル名は、すでに存在しています。

処置： 新しいファイル名、すなわち収集名を指定してください。

EPCW-00001 ~ EPCW-01022 のクライアント・メッセージ

Oracle Trace Manager で生成されるエラー・メッセージは、次のとおりです。

EPCW-00001: データベース・エラー。%s

原因： データベースへのアクセス中に問題が発生しました。

処置： 解決方法は、エラー・メッセージに伴う補足情報によって異なります。詳細は、Oracle Trace のログ・ウィンドウを実行するか、または Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウを参照してください。

EPCW-00002: 新規収集の開始中にエラーが発生しました。

原因： Oracle Enterprise Manager にジョブを送ろうとした際に問題が発生しました。

処置： ターゲット・ノードで、Oracle Enterprise Manager と Oracle Intelligent Agent が実行されていることを確認してください。また、ターゲット・ノードに対して Oracle Enterprise Manager の作業環境を設定したかどうかも確認してください。Oracle Enterprise Manager を使用して、問題のノードにテスト・ジョブを送信してみてください。

EPCW-00003: 収集の入力ファイルの作成中にエラーが発生しました。

原因： 収集の入力ファイルの作成中または書き込み中に問題が発生しました。

処置： ターゲット・ノードで指定された Oracle Enterprise Manager の作業環境ノード接続に、ORACLE_HOME の Oracle Trace admin/cdf ディレクトリへの書き込み許可があることを確認してください。適切な空きディスク領域が使用可能となっていることを確認してください。

EPCW-00004: 収集スクリプト・ファイルのオープン中にエラーが発生しました。%s

原因： Oracle Trace ジョブ tcl ファイルを検索しようとした際に問題が発生しました。

処置： ご使用の ORACLE_HOME に対して、ファイル読み込みアクセス権があることを確認してください。ファイル読み込みアクセス権がある場合は、ロギング・オプションで Oracle Trace Manager を実行し、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00005: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュへのアクセス中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュへのアクセス中に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager が実行されており、Oracle Trace のバージョンと互換性があるバージョンであることを確認してください。必要に応じて、Oracle Enterprise Manager および Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-00006: 状態変更通知に関する Oracle Trace の登録中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace のアクティブ・オブジェクトを登録しようとした際に問題が発生しました。

処置: Oracle Trace 登録入力が正しいことを確認してください。入力が間違っている場合は、Oracle Trace を再インストールしてください。

EPCW-00007: 警告。Oracle Enterprise Manager では、接続先のデータベースを認識できません。

原因: ユーザーが指定したデータベースは、Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュにありませんでした。

処置: なし。これは警告メッセージです。

EPCW-00008: データベースを指定してください。

原因: ユーザーから要求されたデータベース名が渡されていません。

処置: データベース名を入力してください。

EPCW-00009: ユーザー名を入力してください。

原因: ユーザーから要求されたユーザー名が渡されていません。

処置: ユーザー名を入力してください。

EPCW-00010: パスワードを入力してください。

原因: ユーザーから要求されたパスワードが渡されていません。

処置: パスワードを入力してください。

EPCW-00011: Oracle Trace の初期化中にエラーが発生しました。Oracle Enterprise Manager は実行中ではありません。

原因: Oracle Enterprise Manager が実行されている必要があります。

処置: Oracle Enterprise Manager を起動し、Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-00012: Oracle Trace リポジトリ表への接続中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ表への接続中にエラーが発生しました。

処置: サーバーが実行中であることを確認してください。Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンに互換性があることを確認してください。それでも問題が

解決しない場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00013: Oracle Enterprise Manager 検出の実行中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager の検出中に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00014: Oracle Enterprise Manager コンソールとの通信中にエラーが発生しました。

原因: OLE を経由した Oracle Enterprise Manager との通信中に、エラーが発生しました。互換性のないバージョンの Oracle Enterprise Manager コンソールがロードされた可能性があります。

処置: Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンが合致しているかを確認してください。合致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00015: OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリのバージョンが正しいことを確認してください。

原因: OLE DLL のバージョンが間違っています。

処置: Oracle Trace 製品を再インストールしてください。

EPCW-00016: Oracle Enterprise Manager 検出キャッシュとの通信中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace の検出に問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace のバージョンが合致しているかを確認してください。合致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00017: 「進行」ウィンドウをクローズして「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: Oracle Trace の検出停止を促します。

処置： なし

EPCW-00018: 収集 %s の開始に失敗しました。%s

原因： コレクションの起動に失敗しました。サーバー側のエラーに伴って発生します。

処置： Oracle Trace のロギング・ウィンドウと Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウで、他のエラーを調べてください。これらのエラーは、問題の特定に役立つ場合があります。

EPCW-00019: 収集 %s の開始に失敗しました。%s

原因： コレクションの停止中に問題が発生しました。サーバー側のエラーに伴って発生します。

処置： Oracle Trace のロギング・ウィンドウと Oracle Enterprise Manager のジョブ出力ウィンドウで、他のエラーを調べてください。これらのエラーは、問題の特定に役立つ場合があります。

EPCW-00020: ナビゲータ・データの表示中にエラーが発生しました。

原因： ナビゲータに情報を表示する際に問題が発生しました。

処置： スクリーンをリフレッシュするか、Oracle Trace Manager を再起動してください。

EPCW-00021: Oracle Enterprise Manager は実行中ではありません。製品ファイルの編集のみ実行可能となります。

原因： Oracle Enterprise Manager は実行されていませんが、ユーザーがコマンド行で管理モードを指定しました。

処置： なし。ユーザーが使用できるのは、製品の作成または編集のみです。

EPCW-00022: Oracle Trace リソース DLL をロードできません。

原因： Oracle Trace で、言語固有のリソース DLL が見つかりませんでした。

処置： インストールが正しく行われている場合、これは内部の問題です。カスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00023: ナビゲータ・データの表示中にエラーが発生しました。

原因： Oracle Enterprise Manager 検出エラーです。

処置： Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00024: 1つ以上のイベント・セットを指定する必要があります。

原因: 収集ウィザードでは、最低1つのイベント・セットを指定する必要があります。

処置: 収集ウィザードで、最低1つのイベント・セットを指定してください。

EPCW-00025: 期間を指定しなければなりません。

原因: 収集ウィザードで、期間を指定する必要があります。

処置: 収集ウィザードで、期間を指定してください。

EPCW-00026: Oracle Trace ノードは1つも検出されませんでした。Oracle Trace 検出機能を実行しますか？

原因: ノードが見つからないと、製品起動時に検出を実行するようユーザーにプロンプトが出されます。

処置: 製品検出を実行すると、このメッセージは表示されなくなります。

EPCW-00027: Oracle Trace はすでに実行中です。

原因: クライアントで実行できるのは、1つのOracle Trace インスタンスのみです。

処置: クライアントでこれ以上 Oracle Trace のインスタンスを実行しないようにしてください。

EPCW-00028: 収集 %s のフォーマットに失敗しました。%s

原因: 自動フォーマット中に収集ジョブを失敗したか、またはスタンダード・フォーマットのジョブを失敗しました。

処置: フォーマット操作で、有効な優先接続情報リストを指定したことを確認してください。また、収集が発生したサーバーの宛先ノードに、tnsnames エントリがあるかどうかを確認してください。次に、フォーマットを再試行してください。それでも失敗する場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をログイン・オプションで実行してください。Oracle Trace のログ情報と Oracle Enterprise Manager のジョブ出力を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00029: 「進行」ウィンドウをクローズして「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: 収集ファイルの削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置: 適切なボタンを押してください。

EPCW-00030: 「進行」ウィンドウをクローズして「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因: 収集のフォーマット済みデータの削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置: 適切なボタンを押してください。

EPCW-00031: Oracle Enterprise Manager バージョンの読み込み中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Enterprise Manager から現行のバージョンを取り出すときに、問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager 検出が正しく機能しているかどうかを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00032: Oracle Trace リポジトリ表からの Oracle Trace バージョンの読み込み中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace リポジトリ表から現行のバージョンを読み込もうとしているときに問題が発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。正しく機能している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をロギング・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00033: Oracle Trace は、Oracle Enterprise Manager と互換性がありません。

原因: Oracle Trace と Oracle Enterprise Manager のデータベースのバージョンに互換性がありません。

処置: Oracle Trace リポジトリ表をアップグレードしてください。

EPCW-00034: Oracle Trace のこのバージョンは、ご使用の Oracle Trace リポジトリ表と互換性がありません。

原因: Oracle Trace バージョンと Oracle Enterprise Manager リポジトリとの同期が取れていません。

処置: 次の SQL コマンドを実行してください: Select * from epc_cli_version; これによって、Oracle Trace リポジトリ表のバージョンを特定できます。Oracle Trace のバージョンが、ご使用の Oracle Trace リポジトリ表のバージョンよりも新しい場合、Oracle Trace リポジトリ表をアップグレードしてください。Oracle Trace のバージョンが古いと、新しいバージョンで作成されたか、またはアップグレードされたリポジトリでは作動しません。

EPCW-00035: Oracle Trace リポジトリ表へデータを挿入中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager からは、Oracle Trace リポジトリ表にデータを挿入できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと合致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと合致して

いる場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をログイン・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00036: Oracle Trace リポジトリ表のデータを更新中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager からは、Oracle Trace リポジトリ表にデータを挿入できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと合致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリのバージョンと合致している場合は、エラー・メッセージ・ボックスのテキストを保存して、カスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00037: Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager は、Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと合致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと合致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をログイン・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00038: Oracle Trace リポジトリ表からデータを選択中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Trace Manager は、Oracle Trace リポジトリ表からデータを削除できません。

処置: Oracle Enterprise Manager リポジトリが含まれたサーバーが正しく機能していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンが、ご使用のリポジトリと合致していることを確認してください。Oracle Trace のバージョンがリポジトリと合致している場合は、Oracle Enterprise Manager と Oracle Trace の両方を再起動して、Oracle Trace をログイン・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00039: 収集名は 16 文字以下でなければなりません。

原因: 収集名は、半角英数字で 16 文字を超えることはできません。

処置: 収集名が 16 文字を超えないように変更してください。

EPCW-00040: 収集名は一意にしなければなりません。

原因： 収集名は、一意である必要があります。

処置： 収集名が一意になるように変更してください。

EPCW-00041: 出力ファイル名は 8 文字以下でなければなりません。

原因： 収集出力ファイル名は、半角英数字で 8 文字を超えることはできません。

処置： 収集出力ファイル名が 8 文字を超えないように変更してください。

EPCW-00042: 出力ファイル名が無効または見つかりません。

原因： 収集出力ファイル名を指定する必要があります。

処置： 収集出力ファイル名を変更してください。

EPCW-00043: 「進行」ウィンドウをクローズして「状態」メッセージを廃棄しますか。

原因： 収集の削除を、ユーザーが終了しようとしています。

処置： 操作を終了するか、または続行させてください。

EPCW-00044: 出力ファイル名が無効または見つかりません。

原因： 有効な収集名が必須です。

処置： 有効な収集名を入力し、続行してください。

EPCW-00045: 説明は 2000 文字以下でなければなりません。

原因： 説明フィールドに、半角英数字で 2000 を超える文字を入力しました。

処置： 説明テキストを短くしてください。

EPCW-00046: 収集の削除がエラーで終了しました。Oracle Trace リポジトリ表から %s を削除しますか。

原因： 収集の削除中に送ったジョブの 1 つが失敗しました。

処置： Oracle Trace リポジトリ表から削除する収集オブジェクトを指示できます。

EPCW-00047: Oracle Trace リポジトリ表の有効性検査中にエラーが発生しました。

原因： Oracle Trace リポジトリ表の更新が必要か、またはリポジトリ・スクリプトが壊れています。

処置： Oracle Trace リポジトリ表を更新してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00048: スケジュール情報の入手中にエラーが発生しました。前のスケジュールに戻ります。

原因： スケジュール制御に関して、内部的な問題がある可能性があります。

処置： Oracle Enterprise Manager が実行されていることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Oracle Enterprise Manager、Oracle Intelligent Agent およ

び Oracle Trace を再起動してください。Oracle Trace は、ログイン・オプションで実行してください。次に、ログ情報を見直してください。記録された情報に問題がない場合は、記録されたテキストを保存してカスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00049: 名前にエラーがあります。名前に特殊記号を入れてはいけません。

原因： 名前に、英数字以外の文字が使用されました。

処置： 名前には英数文字のみ使用してください。

EPCW-00050: ノード %s およびすべてのその子のアクティブ解除中にエラーが発生しました。

原因： 検出中に、ノードとそのすべての子（すなわち、そのノード上のインストールおよび製品）を非アクティブに設定しようとした際に、エラーが発生しました。データベースのアップデート中に、データベース・エラーが発生した可能性があります。

処置： 予想されるデータベース・エラーの詳細は、Oracle Trace のログイン・ウィンドウを参照してください。この情報を使って対応方法を決定し、Oracle Trace を再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。詳細は、3-1 ページの「[Oracle Trace に関するカスタマ・サポートへのお問合せ](#)」を参照してください。

EPCW-00051: Oracle Trace ユーザー %s をリポジトリ内に配置中にエラーが発生しました。

原因： Oracle Trace リポジトリ・ユーザーおよび ID 表で、Oracle Trace ユーザーの検索中にエラーが発生しました。Oracle Trace リポジトリ表で、このユーザーの ID を作成する際に、スクリプトのアップグレードまたは作成に関するエラーが発生した可能性があります。

処置： epc_cli_rep_users リポジトリ表を調べて、指定のユーザーを検索してください。ユーザーが見つからない場合は、このユーザーの Oracle Trace リポジトリ表を削除し、vobsh ユーティリティを使ってユーザーを作成し直してください。

EPCW-00052: Oracle Enterprise Manager コンソール・ブリッジ・インスタンスの作成中にエラーが発生しました。

原因： Oracle Trace では、実行中のバージョンの Oracle Enterprise Manager コンソール・ブリッジを検索せず、そのインスタンス化を試行しませんでした。Oracle Trace では、Oracle Enterprise コンソール・ブリッジをインスタンス化できませんでした。

処置： Oracle Enterprise Manager コンソールを手動で起動し、Oracle Trace を再起動してください。

EPCW-01000: 選択した項目 %s はすでに追加されています。

原因： イベントへ項目を追加しようとしましたが、そのイベントにはすでにその項目が含まれています。

処置： その項目は、イベントに追加しないでください。

EPCW-01001: 同一のイベント番号があります。

原因： ユーザーが追加または変更しようとしているイベントの番号が、製品内で一意ではありません。

処置： 別のイベント番号を選択してください。

EPCW-01002: 同一の項目番号があります。

原因： ユーザーが追加または変更しようとしている項目の番号が、製品内で一意ではありません。

処置： 別の番号を選択してください。

EPCW-01003: 製品定義ファイルの作成中にエラーが発生しました。

原因： 製品作成または編集中に、.fdf ファイルを書き込もうとしてエラーが発生しました。

処置： パス名が正しいことを確認してください。

EPCW-01004: 製品からこのイベント・セットを完全に削除するには、ファイル %s を削除してください。

原因： ユーザーがイベント・セットを削除し、対応する.fdf ファイルが自動的に削除されないことを警告されています。

処置： .fdf ファイルを手動で削除してください。

EPCW-01005: 製品定義ファイル %s の読み込み中にエラーが発生しました。

原因： 製品作成または編集中に、.fdf ファイルを読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置： .fdf ファイルが壊れている可能性があります。他の.fdf ファイルを読み込んでみてください。

EPCW-01006: 製品 %s (ファイル %s 内) が、製品 %s (ファイル %s 内) と一致しません。

原因： 複数の.fdf ファイルが読み込まれましたが、異なる製品のイベント・セットが記述されました。

処置： 製品編集時に同時に読み込まれた.fdf ファイルが、同じ製品のものかどうかを確認してください。

EPCW-01007: 項目番号 %i は、他のファイル %s に別の定義があります。

原因： 同じ製品に対して、異なる 2 つの.fdf ファイルの項目定義が一致していません。製品の.fdf ファイルすべてで同期が取れている場合には、これらはすべて一致している必要があります。

処置： .fdf ファイルをそれぞれ別個に読み込んで、エラーのある項目の違いを調べてください。エラーのある項目が含まれているファイルを訂正してから、すべての製品ファイルを同時に読み込んでください。

EPCW-01008: 項目番号 %i は、他のファイル %s に別の定義があります。

原因： 同じ製品に対して、異なる 2 つの .fdf ファイルの項目定義が一致していません。製品の .fdf ファイルすべてで同期が取れている場合には、これらはすべて一致している必要があります。

処置： .fdf ファイルをそれぞれ別個に読み込んで、エラーのあるイベントの違いを調べてください。エラーのあるイベントが含まれているファイルを訂正してから、すべての製品ファイルを同時に読み込んでください。

EPCW-01009: 「%s」フィールドを埋めてください。このフィールドは必須です。

原因： ユーザーが、必要な情報をすべて指定せずにダイアログ・ボックスを終了しようとしています。

処置： 指定されたフィールドに入力してから、ダイアログ・ボックスを終了してください。

EPCW-01010: 項目番号が無効です。

原因： 指定された項目番号が、ユーザー定義項目に許可された範囲内にありません。

処置： 別の項目番号を選択してください。

EPCW-01011: 同一の項目名があります。

原因： ユーザーが追加しようとした項目は、名前が一意ではありません。項目名は製品内で一意である必要があります。

処置： 別の項目名を使用してください。

EPCW-01012: 同一のイベント名があります。

原因： ユーザーが追加しようとしたイベントは、イベント名が一意ではありません。イベント名は製品内で一意である必要があります。

処置： 別のイベント名を使用してください。

EPCW-01013: 同一のイベント・セット名があります。

原因： ユーザーが追加しようとしたイベント・セットは、名前が一意ではありません。イベント・セット名は、製品内で一意である必要があります。

処置： 別のイベント・セット名を設定してください。

EPCW-01014: イベントに項目が含まれていません。

原因： ユーザーが作成または編集しようとしたイベントには、項目が含まれていません。イベントには、少なくとも 1 つの項目が必要です。

処置： イベントに項目を追加してください。

EPCW-01015: イベント・セットにイベントが含まれていません。

原因： ユーザーが作成または編集しようとしたイベント・セットには、イベントが含まれていません。イベント・セットには、少なくとも 1 つのイベントが必要です。

処置： イベント・セットにイベントを追加してください。

EPCW-01016: 製品の定義には、保存の前に少なくとも 1 つのイベントが含まれていなければなりません。

原因： イベントが含まれていない製品定義ファイルを保存しようとしました。

処置： 製品定義を保存する前に、少なくとも 1 つのイベントを追加してください。

EPCW-01017: イベント・セット・ファイル %s は、イベント・セット %s 用にすでに存在しています。%s

原因： イベント・セット・ファイルはすでに存在しています。Oracle Trace では、イベント・セット・ファイルの上書きはできません。

処置： イベント・セット・ファイル・パスを変更して新しいファイルにイベント・セットを保存するか、既存のイベント・セット・ファイルを削除してください。

EPCW-01018: サービスに接続できません。ユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

原因： 指定されたユーザー名とパスワードでは、サーバーに接続できませんでした。

処置： ユーザー名とパスワードがサーバーに対して正しいことを確認し、再試行してください。

EPCW-01019: 製品 %s の製品定義ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。必要なすべてのイベント・セットが見つかりません。

原因： 製品作成または編集中に、.fdf ファイルを読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置： 編集中のファイルの 1 つが、ALL クラスを含むことを確認してください。

EPCW-01020: 製品 %s (ファイル %s 内) には、ファイル %s のすべてのイベント・セットに存在しないイベントが含まれています。

原因： 複数の.fdf ファイルが読み込まれ、ALL クラスから失われたイベントを 1 つのファイルが参照しています。

処置： ALL クラスを含む.fdf ファイルが、読み込まれている.fdf ファイルと一致していることを確認してください。

EPCW-01021: イベント名 '%s' が無効です。イベント名には 1 ~ 15 文字の英数字が含まれていなければなりません。

原因： イベントを追加しようとしたが、イベント名が無効です。イベント名には、a ~ z と 0 ~ 9 の英数字をどのように組み合せても使用できます。最大 15 文字までです。

処置： 有効なイベント名を入力してください。

EPCW-01022: 項目名 '%s' が無効です。項目名には 1 ~ 15 文字の英数字が含まれていなければなりません。

原因: 項目を追加しようとしましたが、項目名が無効です。項目名には、a ~ z と 0 ~ 9 の英数字をどのように組み合せても使用できます。最大 15 文字までです。

処置: 有効な名前を入力してください。

4

Oracle Data Gatherer メッセージ（第2層）

ODG-05001 ~ ODG-05842 のメッセージ

ODG-05001 エラー： データ・カートリッジのレジストリ・ファイルをオープンできません。

原因： カートリッジ・レジストリ・ファイル (svppcart.dat) を開こうとしてエラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg のディレクトリにファイルが存在し、それに読み込みアクセス権があることを確認してください。

ODG-05002 エラー： データ・カートリッジのレジストリ・ファイルから行を読み込めません。

原因： カートリッジ・レジストリ・ファイル (svppcart.dat) から情報を読み込もうとしてエラーが発生しました。

処置： ファイルが存在し、読み込み可能であることを確認してください。

ODG-05003 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05004 エラー： カートリッジのレジストリ・ファイルの行形式が正しくありません。

原因： カートリッジ・レジストリ・ファイルで、要求されたフォーマットに対応しないエントリが見つかりました。

処置： ファイル (\$ORACLE_HOME/odg/svppcart.dat) が、オリジナル・キットで提供されたものであることを確認してください。

ODG-05005 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05006 エラー： メッセージ・カタログの初期化に失敗しました。

原因： メッセージ・カタログを開こうとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、補足情報が含まれます。

処置： 補足情報またはエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05007 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05008 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05009 エラー： データ・カートリッジ共有ライブラリをオープンできません。

原因： 収集カートリッジのコード・モジュールをロードしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 要求されたファイルが存在し、それに読み込みおよび実行の権限があることを確認してください。

ODG-05010 エラー： データ・カートリッジ DLL をオープンできません。

原因： 収集カートリッジのコード・モジュールをロードしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 要求されたファイルが存在し、それに読み込みおよび実行の権限があることを確認してください。

ODG-05011 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05013 エラー： データ収集カートリッジ機能が見つかりません。

原因： Data Gatherer がコールしようとした関数を、収集カートリッジで実装しませんでした。

処置： 関数の多くはオプションであり、ほとんどの場合これは致命的なエラーではありません。致命的なエラーがある場合には、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05014 エラー： 収集カートリッジの呼出しに失敗しました。

原因： これは、1つの収集カートリッジ関数へのコールでエラーが返されたことを示す、一般的なエラー・メッセージです。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認してください。他のエラーがない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05016 エラー： ファイルをオープンできません。

原因： Data Gatherer ファイルをオープンしようとしてエラーが発生しました。

処置： ファイルおよびディレクトリが存在し、それらにアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05017 エラー： ソケットの作成に失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05018 エラー： ソケット・オプションの設定に失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05019 エラー： ソケットのバインドに失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05020 エラー： ソケット名の取得に失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05021 エラー： ソケットのリスニングに失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05022 エラー： ソケットでのアクセプトに失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05023 エラー： 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05024 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05025 エラー： 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05026 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05027 エラー： ソケットへの書き込みに失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05028 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05029 エラー： ソケットへの書き込みができません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05030 エラー： 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05031 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05032 エラー： ソケットでの選択に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05033 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05034 警告： ソケットから読みません。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05035 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05036 警告： ソケットからの読み込みに失敗しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05037 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05038 警告： ソケットからの読み込みは 0 (ゼロ) バイトです。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05039 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05040 エラー： ソケットからの読み込みが不完全です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05041 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05042 エラー： 索引からのソケット記述子の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05043 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05044 警告： クライアントが見つかりません。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05045 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05046 エラー： 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05047 エラー： 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05048 エラー： 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05049 エラー： 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05050 エラー： 新規クライアントの接続の待機に失敗しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05051 エラー： 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05052 警告： クライアント・スレッドが見つかりません。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05053 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05054 エラー： 索引からのソケット値の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05055 エラー： 索引からのソケット値の変更に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05056 エラー： セグメント化されたメッセージはサポートされません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05057 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05058 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05059 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05060 警告： クライアントが見つかりません。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05061 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05062 エラー： メッセージ長が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05063 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05064 エラー： ソケットからの読み込みができません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05065 エラー： ソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05066 エラー： ソケットの作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05067 エラー： ローカル・ホストの取得に失敗しました。

原因： リカバリ中にローカル・ホスト名を取得しようとした際にエラーが発生しました。

処置： Data Gatherer はリカバリを行わずに実行できる可能性があります。ただし、履歴データ収集は回復できません。カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05068 エラー： ローカル DG への接続に失敗しました。

原因： リカバリ中にローカルの Data Gatherer に接続しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer はリカバリを行わずに実行できる可能性があります。ただし、履歴データ収集は回復できません。カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05069 エラー： ソケットのクローズに失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05070 エラー： 現在時間を取得できません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05071 エラー： メモリーを割り振れません。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05072 エラー： メモリーを割り振れません。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05073 エラー： LPM の初期化に失敗しました。

原因： CORE ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05074 エラー： クライアントのコールバック構造体の初期化に失敗しました。

原因： CORE ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05075 エラー： NLS データ・ロードの初期化に失敗しました。

原因： NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05076 エラー： LSF 文字列の書式パッケージのロードに失敗しました。

原因： NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05077 エラー： LSF の初期化に失敗しました。

原因： NLS ライブラリを初期化しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05078 エラー： ORACLE_HOME が見つかりません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとしました際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05079 エラー： 作業ディレクトリの設定ができません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05080 エラー： マルチスレッド用に初期化できません。

原因： Data Gatherer で使用されるスレッド化ライブラリを初期化しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05081 エラー： DG Mutex に対する初期化ができません。

原因： Data Gatherer で使用されるロック構造を取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05082 エラー： 環境変数のフェッチ・エラーです。

原因： 環境変数の値を取得しようとしてエラーが発生しました。

処置： Data Gatherer のインストールを検証し、環境変数があることを確認してください。

ODG-05083 エラー： リスニング用ポート / ソケットの割当てに失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05084 エラー： BB 構造体のメモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05085 エラー： DG カートリッジ情報の取得に失敗しました。

原因： Data Gatherer レジストリ (\$ORACLE_HOME/odg/svppcart.dat) から、収集カートリッジのための情報を読み込もうとした際に、エラーが発生しました。

処置： ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

ODG-05086 警告： メッセージ・カタログの初期化に失敗しました。

原因： 収集カートリッジのためのメッセージ・カタログを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： メッセージ・カタログのインプリメントに収集カートリッジは必要ないため、ほとんどの場合このエラーは無視できます。

ODG-05087 エラー： ローカル時間の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05088 エラー： 回復スレッドの作成に失敗しました。

原因： 履歴収集を回復するスレッドを作成しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer は、リカバリを行わずに使用できます。ただし、履歴収集は回復できません。カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05089 エラー： 新規クライアントの接続に失敗しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05090 エラー： クライアント ID の割当てに失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05091 エラー： ソケット索引の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05092 エラー： 最初のクライアント・メッセージをデコードできません。

原因： クライアント接続により Data Gatherer へ送られたデータを解釈しようとして、内部エラーが発生しました。

処置： クライアントが有効な Data Gatherer クライアントであれば、操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05093 エラー： スレッドのソケット索引の削除に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05094 エラー： CP ソケット索引の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05095 エラー： 未使用的クライアント ID を削除できません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05096 エラー： DG スレッドの作成に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理するスレッドを作成しようとした際に、エラーが発生しました。これは、システム・リソースの消費が激しいため、あるいは Data Gatherer で使用可能なスレッドまたはソケットの制限に達したためかもしれません。

処置： 操作を再試行してください。

ODG-05097 エラー： DG Mutex の破棄に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05098 エラー： NLS データ・ロードの終了に失敗しました。

原因： NLS ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 無視できます。

ODG-05099 エラー： コールバック構造体の解放に失敗しました。

原因： NLS ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 無視できます。

ODG-05100 エラー： SLTS が正常に終了できません。

原因： スレッド化ライブラリを解放しようとした際に内部エラーが発生しました。

処置： 無視できます。

ODG-05101 エラー： CP ローダーが失敗しました。

原因： 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置： 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05104 エラー： 状態ファイルの LSFPF が失敗しました。

原因： Data Gatherer 履歴データ・ローダーのためのリカバリ・ファイルを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05105 エラー： データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因： 履歴データのロード中にエラーが発生しました。ローダーはデータ・ファイルをクローズできませんでした。

処置： 無視できますが、ローダーではその時点で処理済みのファイルを削除できないため、今後エラーが発生する可能性があります。

ODG-05106 エラー： 記憶領域の割当て / コピーに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05107 エラー： ローダー・データ・ファイルの改名に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを改名しようとした際にエラーが発生しました。データ・ファイルは、Data Gatherer によるアクセスに対してクローズされるまで、処理できません。

処置： このエラーは通常、他の Data Gatherer エラーと同時に発生します。そのエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05108 エラー： データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因： Capacity Planner リポジトリにロードする履歴データ・ファイルをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、他のエラーを調べてください。

ODG-05109 エラー： CP 状態ファイルの再編成に失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05110 エラー： send_labels コマンドが失敗しました。

原因： 統計セットに関連するラベルを、リアルタイム・クライアントまたは履歴データ・ファイルのいずれかへ送ろうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05111 エラー： 回復ディレクトリ内のデータ・ファイルの検索 / 取得に失敗しました。

原因： Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴データ・ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05112 エラー： ローダー・データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因： Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴データ・ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05113 エラー： CP ローダーが失敗しました。

原因： 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置： 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05114 エラー： ローダー・データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05115 エラー： ローダー・データ・ファイルの削除に失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05116 エラー： ローダー・データ・ファイルのメモリーの解放に失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05117 エラー： ローダー・ディレクトリのメモリー解放に失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05118 エラー： 回復ディレクトリ内の状態ファイルの検索 / 使用に失敗しました。

原因： Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴状態ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05119 エラー： ローダー状態ファイルのオープンに失敗しました。

原因： Data Gatherer の起動および履歴収集のリカバリ中に、履歴状態ファイルを検索しようとしてエラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05120 エラー： 状態ファイルの再編成に失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05121 エラー： 状態ファイルから回復中に障害が発生しました。

処置： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を SORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05122 エラー： 回復データ・ファイルのクローズに失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05123 エラー： 回復データ・ファイルの削除に失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05124 エラー： 回復データ・ファイルのメモリーの解放に失敗しました。

原因： 処理済みのローダー・ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05125 エラー： 状態ファイル・ディレクトリのメモリーの解放に失敗しました。

原因： 処理済みの状態ファイルをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、ファイル・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05126 エラー： vppdgth: dg.clmsg のメモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てるとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05127 エラー： vppdgth: dg.clmsg->msg のメモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てるとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05128 エラー： vppdgth: クライアント CONNECT_REQ のデコードに失敗しました。

原因： クライアント・アプリケーションによって送られた接続要求を解釈しようとし
て、内部エラーが発生しました。

処置： クライアント・アプリケーションが有効な Data Gatherer クライアントである場
合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05129 エラー： vppdgth: dg.clmsg->msg の記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リ
ソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05130 エラー： vppdgth: dg.clmsg の記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リ
ソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05131 エラー： vppdgth: CP ソケットのデコードに失敗しました。

原因： 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラー
が発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくな
ります。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05132 エラー： vppdgth: CP ソケットのクローズに失敗しました。

原因： 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラー
が発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくな
ります。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05133 エラー： vppdgth: 新規 CP ソケットのデコードに失敗しました。

原因： 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラー
が発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくな
ります。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05134 エラー： vppdgth: 新規 CP クライアント接続に失敗しました。

原因： 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラー
が発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくな
ります。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05135 エラー： vppdgth: CP ソケット値の変更に失敗しました。

原因： 履歴収集スレッドに対して試行された初期化接続を切断しようとして、エラーが発生しました。Capacity Planner クライアントは、Data Gatherer に接続できなくなります。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05136 エラー： vppdgth: タイム・スタンプの取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05137 エラー： vppdgth: CP ローダーが起動時に失敗しました。

原因： 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置： 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05138 エラー： RT スレッドでデータの収集に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05139 エラー： vppdgth: クライアント間隔超過メッセージの送信に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05140 エラー： vppdgth: クライアント索引が破損しています。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05141 エラー： vppdgth: 入力待ち中に障害が発生しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05142 エラー： vppdgth: デコード中のクライアント索引は破損しています。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05143 エラー： vppdgth: メッセージのデコード中に障害が発生しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05144 エラー： vppdgth: ロード情報のタイム・スタンプを取得できません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05145 エラー： vppdgth: CP ローダーで収集中に障害が発生しました。

原因： 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置： 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05146 エラー： vppdgth: クライアント・メッセージ解放時にクライアント索引が破損しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05147 エラー： vppdgth: dg.clmsg 2 の記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05148 エラー： vppdgth: 収集がオフの間にクライアント索引が破損しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05149 エラー： vppdgth: 収集がオフのとき入力待機中に障害が発生しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05150 エラー： vppdgth: クライアント・メッセージのデコード時にクライアント索引が破損しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05151 エラー： vppdgth: 収集中でないときにメッセージのデコードで障害が発生しました。

原因： クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05152 エラー： vppdgth: クライアント・メッセージのデコード後にクライアント索引が破損しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05153 エラー： vppdgth: clmsg.msg の記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05154 エラー： vppdgth: 終了中の状態情報が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05155 エラー： vppdgth: 終了中に clean_up で障害が発生しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05156 エラー： vppdgth: グローバル状態の記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05157 エラー： vppclid: クライアント索引が制限を超えていました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05158 エラー： vppdclid: クライアント索引が制限を超えていました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05159 エラー： vppdclid: このクライアント用カートリッジの消去に失敗しました。

原因： 収集カートリッジへのクライアント接続を切断しようとした際に、エラーが発生しました。これには通常、ターゲット・サービス（データベースなど）への接続の切断も含まれます。

処置： このエラーは無視できます。ただしターゲット接続リソースが解放されずに、このエラーが再発生する場合は、Data Gatherer を再起動してリソースを解放する必要があります。

ODG-05160 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05161 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ:
vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05162 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_UDS_COLUMNS_REQ:
vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05163 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CALLBACKS_REQ:
vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05164 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CALLBACKS_REQ: vppcallbb
に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05165 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CALLBACKS_REQ:
vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05166 エラー： メッセージ・デコード： VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ:
vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05167 エラー： メッセージ・デコード： VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ:
vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05168 エラー： メッセージ・デコード： VP_EXECUTE_CALLBACK_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05169 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_LOCALTIME_REQ: vpptimeget に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05170 エラー： メッセージ・デコード： vpp_msg_addparam
VP_GET_LOCALTIME_REQ: 失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05171 エラー： メッセージ・デコード： vpp_msg_send
VP_GET_LOCALTIME_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05172 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05173 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: グローバル状態の情報が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05174 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: vppstrtonum に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05175 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05176 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05177 エラー： メッセージ・デコード： VP_SET_INTERVAL_REQ: vppsndack VP_SET_INTERVAL_REQ_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05178 エラー： メッセージ・デコード： VP_END_COLLECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05179 エラー： メッセージ・デコード： VP_END_COLLECT_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05180 エラー： メッセージ・デコード： VP_END_COLLECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05181 エラー： メッセージ・デコード： VP_END_COLLECT_REQ: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05182 エラー： メッセージ・デコード： VP_END_COLLECT_REQ: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05183 警告： CP ローダーに失敗しました。

原因： 履歴データをロードしようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、失敗の性質を説明する詳細エラーが伴います。

処置： 解決方法は、詳細エラーで確認してください。

ODG-05184 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05185 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vpcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05186 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05187 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vpacpy に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05188 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05189 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vppscmsg
に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05190 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vpptimeget
に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05191 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ:
vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05192 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO:
vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05193 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05194 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT:
vppscmsg

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05195 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT:
vppscmsg

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05196 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppgettldparam INTERVAL に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05197 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppstrtonum に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05198 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppgettldparam NEXTLOAD

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05199 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vppstrtonum

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05200 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: CP_CLIENT: vpacpy に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05201 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05202 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_LOADER_INFO: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05203 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05204 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05205 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05206 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: vpacpy に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05207 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05208 エラー： メッセージ・デコード： VP_SEND_CRED: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05209 エラー： メッセージ・デコード： VP_RECOVER_DONE: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05210 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05211 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05212 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: DG cpstate が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05213 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05214 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: vppfilereorg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05215 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: vppsndtld に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05216 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: vppsndack: VP_CP_STATE_REQ_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05217 エラー： メッセージ・デコード： VP_CP_STATE_REQ: 非 CP クライアントが CPSTATE を要求しています。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05218 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05219 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppdecid に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05220 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05221 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppgetservice に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05222 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: LSFPP 状態ファイルに障害があります。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05223 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppfileo に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05224 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: LSFPF データ・ファイルに障害があります。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05225 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppfileo に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05226 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CLIENT_ID に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05227 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: portno の LSFPF に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05228 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_addparam VP_CP_PORTNO に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05229 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: client_hostname の LSFPF に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05230 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: VP_CLIENT_HOSTNAME の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05231 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: VP_LANG の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05232 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpx_get_catmsg で VPMMSG_CHARENCODING が見つかりませんでした。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05233 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: VP_CHAR_ENCODING の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05234 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppaddcred に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05235 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_send VP_CONNECT_REQ_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05236 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05237 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: glob の vppalloc に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05238 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppdecid client_id に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05239 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppdclid dg->clid に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05240 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppiclid dg->clid に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05241 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppdecid のクライアント型に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05242 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppsclmsg fi_state に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05243 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppsclmsg fi_data に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05244 エラー： send_analysis コマンドに失敗しました。

原因： 事前定義の履歴データ分析の詳細を、後で処理するために履歴データ・ファイルへ送ろうとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05245 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ:
vpp_msg_addparam VP_CLIENT_ID に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05246 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: portno 2 の
LSFPFP に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05247 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ:
vpp_msg_addparam VP_CP_PORTNO 2 に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05248 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ:
vpp_msg_addparam VP_CLIENT_HOSTNAME に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05249 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: VP_LANG の
vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05250 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpx_get_catmsg で
VPMSG_CHARENCODING が見つかりませんでした。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05251 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ:
VP_CHAR_ENCODING の vpp_msg_addparam に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05252 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppaddcred に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05253 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vpp_msg_send VP_CONNECT_REQ_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05254 エラー： メッセージ・デコード： VP_CONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05255 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05256 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppdecid client_id に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05257 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05258 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05259 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: クライアントから送信されたクライアント ID と合致しません。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05260 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppallbbs clean_up に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05261 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppfree glob に失敗しました

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05262 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05263 エラー： メッセージ・デコード： VP_DISCONNECT_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05264 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_MODULES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05265 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_MODULES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05266 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_MODULES_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05267 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_MODULES_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05268 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05269 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05270 警告： PM クライアント用収集カートリッジはすでに初期化されています。

原因： 特定の 1 クライアントについて、収集カートリッジを 2 度以上初期化しようとしました。

処置： このエラーは無視できますが、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05271 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05272 エラー： メッセージ・デコード： VP_START_COLLECT_REQ: vpacpy に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05273 エラー： send_analysis コマンドに失敗しました。

原因： 事前定義の履歴データ分析の詳細を、後で処理するために履歴データ・ファイルへ送ろうとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05274 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: vppsndack VP_INITIALIZE_REQ_ACK に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05275 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: vppscmsg fi_state に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05276 エラー： メッセージ・デコード： VP_INITIALIZE_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05277 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05278 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05279 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: vppsndack に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05280 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: グローバル状態が NULL です。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05281 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: vppscmsg に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05282 エラー： メッセージ・デコード： VP_DEINITIALIZE_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05283 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05284 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASS_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05285 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASS_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05286 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASSES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05287 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASSES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05288 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CLASSES_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05289 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_INSTANCES_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05290 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_INSTANCES_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05291 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_INSTANCES_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05292 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHARTS_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05293 エラー： メッセージ・デコード VP_GET_CHARTS_REQ: vppnls_atoi() のクラス ID に障害があります。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05294 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHARTS_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05295 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHARTS_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05296 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05297 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppnls_atoi() のクラス ID に障害があります。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05298 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05299 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_INFO_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05300 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_LABEL: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05301 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_LABEL: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05302 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_CHART_LABEL: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05303 エラー： メッセージ・デコード： VP_CHART_DRILLDOWN_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05304 エラー： メッセージ・デコード： VP_CHART_DRILLDOWN_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05305 エラー： メッセージ・デコード： VP_CHART_FILTER_REQ: vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05306 エラー： メッセージ・デコード： VP_CHART_FILTER_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05307 エラー： メッセージ・デコード： VP_CHART_FILTER_REQ: vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05308 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_RESOURCES_REQ:
vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05309 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_RESOURCES_REQ: vppcallbb
に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05310 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_RESOURCES_REQ:
vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05311 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_EXT_HELP_REQ:
vppgetparams に失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05312 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_EXT_HELP_REQ: vppcallbb に失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05313 エラー： メッセージ・デコード： VP_GET_EXT_HELP_REQ:
vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05314 エラー： メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05315 エラー： vppgethandle: 状態の情報が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05316 エラー： メッセージのデコードに失敗しました。

原因： クライアント要求の内容を解釈しようとした際に、エラーが発生しました。これは、通常の状態では発生しないはずの内部エラーです。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05317 エラー： パラメータ・メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05318 エラー： オプション・パラメータ・メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05319 エラー： メッセージ内のパラメータが多すぎます。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05320 エラー： パラメータ・オブジェクトの記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05321 エラー： パラメータの記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05322 エラー： オプション・パラメータ・オブジェクトの記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05323 エラー： オプション・パラメータの記憶領域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05324 エラー： セグメント化されたメッセージはサポートされません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05325 エラー： メッセージの記憶領域の割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05326 エラー： メッセージ長がマイナスです。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05327 エラー： クライアントへの収集 ACK 停止の送信に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05328 エラー： クライアントへの収集 ACK 開始の送信に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05329 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05330 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_LABEL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05331 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05332 エラー： メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05333 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_SELECT_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05334 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_GROUP の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05335 エラー： クライアントへの VP_GET_CHARTS_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05336 エラー： メッセージ・バッファへの VP_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05337 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05338 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05339 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_INSPROMPT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05340 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_RESPROMPT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05341 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_REUSEINST の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05342 エラー： クライアントへの VP_CHART_DRILLDOWN_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05343 エラー： メッセージ・バッファへの VP_FILTER_LABEL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05344 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05345 エラー： メッセージ・バッファへの VP_FILTER_OPERATION の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05346 エラー： メッセージ・バッファへのフィルタ型の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05347 エラー： クライアントへの VP_CHART_FILTER_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05348 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NAME の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05349 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_DESCR の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05350 エラー： メッセージ・バッファへの VP_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05351 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05352 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05353 エラー： メッセージ・バッファへの VP_MODULE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05354 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05355 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05356 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SHOWSUMMARY の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05357 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SORTORDER の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05358 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_TIMEGRAN の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05359 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_STARTDATE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05360 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NUMSAMPLES の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05361 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_ANALTYPE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05362 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_HELPID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05363 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_RESPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05364 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SUMARYPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05365 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_SORTPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05366 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_TIMEGRANPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05367 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_STARTDATEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05368 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ANAL_NSAMPLEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05369 エラー： ポインタが NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05370 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALTYPE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05371 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_TIMEGOAL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05372 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_VALGOAL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05373 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_FITTYPE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05374 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_INSTCOUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05375 エラー： インスタンス・パラメータが NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05376 エラー： メッセージ・バッファへの VP_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05377 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05378 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_GOALPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05379 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_FITTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05380 エラー： メッセージ・バッファへの VP_EXTR_INSTANCEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05381 エラー： ポインタが NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05382 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRTYPE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05383 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05384 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05385 エラー： 相関パラメータが NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05386 エラー： モジュール ID が NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05387 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_MODID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05388 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_CLASSID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05389 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_RESOURCEID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05390 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRTYPEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05391 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_INSTANCEPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05392 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CORR_CORRPFLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05393 エラー： 分析タイプが無効です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05394 エラー： 状態ファイルへの VP_SEND_ANALYSIS_ACK の書き込みに失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05395 エラー： メッセージ・バッファへの VP_HELP_FORMAT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05396 エラー： メッセージ・バッファへの VP_HELP_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05397 エラー： ヘルプの helptxt が NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05398 エラー： メッセージ・バッファへの VP_HELP_TEXT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05399 エラー： クライアントへの VP_GET_EXT_HELP_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05400 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05401 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_LABEL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05402 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CALLBACK_DESC の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05403 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05404 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05405 エラー： クライアントへの VP_GET_CALLBACKS_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05406 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05407 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05408 エラー： メッセージ・バッファへの VP_ERROR_TEXT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05409 エラー： クライアントへの VP_EXECUTE_CALLBACK_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05410 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05411 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_LABEL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05412 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05413 エラー： メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05414 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_SELECT_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05415 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_GROUP の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05416 エラー： クライアントへの VP_GET_CHART_LABEL_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05417 エラー： メッセージ・バッファへの VP_PARENT_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05418 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05419 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05420 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05421 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_NAME の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05422 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_VALUE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05423 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05424 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_NAME の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05425 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CHART_PROP_VALUE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05426 エラー： メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05427 エラー： メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05428 エラー： メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNTL_CNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05429 エラー： メッセージ・バッファへの VP_COLL_PARM_CNTL の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05430 エラー： メッセージ・バッファへの VP_SDATA の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05431 エラー： クライアントへの VP_GET_CHART_INFO_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05432 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS の追加に失敗しました。

処置： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05433 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_DESCRIPTION の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05434 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05435 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_END_NODE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05436 エラー： メッセージ・バッファへの VP_INST_SEL_FLAG の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05437 エラー： メッセージ・バッファへの VP_PARENT_MODULE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05438 エラー： メッセージ・バッファへの VP_PARENT_CLASS_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05439 エラー： メッセージ・バッファへの VP_CLASS_IS_ACTIVE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05440 エラー： クライアントへの VP_GET_CLASSES_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05441 エラー： メッセージ・バッファへの VP_INSTANCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05442 エラー： クライアントへの VP_GET_INSTANCES_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05443 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_ID の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05444 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05445 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05446 エラー： クライアントへの VP_GET_RESOURCES_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05447 エラー： UDS 列の件数がマイナスです。

原因： ユーザー定義スクリプト列に対する要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05448 エラー： UDS 列の件数が無効です。

原因： ユーザー定義スクリプト列に対する要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05449 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_COUNT の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05450 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05451 エラー： メッセージ・バッファへの VP_RESOURCE_TYPE の追加に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05452 エラー： クライアントへの VP_GET_UDS_COLUMNS_ACK の送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05453 エラー： vpp_msg_addparam VP_MODULE_ID で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05454 エラー： vpp_msg_addparam VP_MODULE で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05455 エラー： vpp_msg_addparam VP_MODULE_DESCRIPTION で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05456 エラー： vpp_msg_addparam VP_SERVICE_TYPE で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05457 エラー： vpp_msg_addparam VP_MODULE_VERSION で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05458 エラー： vpp_msg_addparam VP_CLIENT_TYPE で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05459 エラー： vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_ENABLED で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05460 エラー： vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_ACRONYM で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05461 エラー： vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_DESC で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05462 エラー： vpp_msg_send VP_GET_MODULES_ACK で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05463 エラー： vpp_msg_addparam VP_SCRIPT_DESC で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05464 エラー： vpp_msg_send VP_INTERVAL_EXCEEDED で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05465 エラー： ソケット索引が無効です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05466 エラー： vppinetws で障害が発生しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05467 エラー： DG TLD 要素の長さが VP_MAX_MSELEM_SIZE を超えています。

原因： クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶領域の最大制限を超えていました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05468 エラー： パラメータのデータ型が認識できません。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05469 エラー： クライアント・メッセージが長すぎます。

原因： クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶領域の最大制限を超えていました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05470 エラー： ソケット索引が無効です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05471 エラー： クライアントへのデータの送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05472 エラー： DG 状態が NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05473 エラー： DG データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05474 エラー： ソケット索引が無効です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05475 エラー： DG 状態が NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05476 エラー： データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05477 エラー： クライアント・ソケットへの書込みに失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05478 エラー： データ・ファイルへの書込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05479 エラー： DG TLD 要素の長さが VP_MAX_MSGELEM_SIZE を超えています。

原因： クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶領域の最大制限を超えていました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05480 エラー： パラメータのデータ型が認識できません。

原因： クライアント要求を解釈しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05481 エラー： クライアント・メッセージが長すぎます。

原因： クライアント要求を処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。現在のクライアント要求は、クライアント要求の入力に関する内部記憶領域の最大制限を超えていました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05482 エラー： ソケット索引が無効です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05483 エラー： DG 状態が NULL です。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05484 エラー： データ・ファイルへの書き込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルに履歴データを保存しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリが存在しアクセス可能であること、そして十分なディスク領域が使用可能であることを確認してください。

ODG-05485 エラー： メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できます。ただしこのエラーが頻発すると、メモリー・リソースが消費されるため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05486 エラー： クライアントへのメッセージの送信に失敗しました。

原因： クライアント要求への応答を構築または送信しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05487 エラー： 配列リストが NULL で終了していません。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05488 エラー： 引数が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05489 エラー： ソケット索引表が満杯です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05490 エラー： クライアントのソケット記述子のクローズに失敗しました。

原因： クライアントがソケット接続を切断したことを示す警告です。

処置： 通常は無視できます。

ODG-05491 エラー： クライアント ID が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05492 エラー： サービス・タイプの変換に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05493 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05494 エラー： サービスが NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05495 エラー： サービス・ポート / ソケットの割当てに失敗しました。

原因： Data Gatherer ソケット (1808) をオープンしようとした際にエラーが発生しました。

処置： 他のプロセスでこのソケットが使用中でないことを確認し、操作を再試行してください。

ODG-05496 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05497 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05498 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05499 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05500 エラー： 状態ファイルが無効です。

原因： ターゲット (データベースまたはホスト) に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル (ターゲット名を含むファイル) を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05501 エラー： 状態ファイルへの書き込みに失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05502 エラー： 回復ファイルが無効です。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05503 エラー： CPSTATE が無効です。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05504 エラー： ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05505 エラー： 状態ファイルが空です。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05506 エラー： 状態ファイルの読み込みに失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05507 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05508 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05509 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05510 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05511 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05512 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05513 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05514 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05515 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05516 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05517 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05518 エラー： 次のローダー・タイムアウトの設定に失敗しました。

原因： 次の履歴ロード操作をスケジュールしようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このエラーが発生しても Data Gatherer の使用は続行できますが、履歴の収集およびロードができなくなる可能性があります。カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05519 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05520 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05521 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05522 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05523 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05524 エラー： メッセージが無効です。

原因： クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。
このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05525 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05526 エラー： メッセージが順不同です。

原因： クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。
このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05527 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05528 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05529 エラー： メッセージが無効です。

原因： クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。
このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05530 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05531 エラー： メッセージが順不同です。

原因： クライアント要求を解釈または処理しようとした際に、エラーが発生しました。
このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05532 エラー： ファイルの切捨てに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05533 エラー： ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05534 エラー： 接続情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05535 エラー： 接続情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05536 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05537 エラー： 資格証明情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05538 エラー： 資格証明情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05539 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05540 エラー： 間隔情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05541 エラー： 間隔情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05542 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05543 エラー： ローダー情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05544 エラー： ローダー情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05545 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05546 エラー： 情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05547 エラー： 情報の書込みに失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05548 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05549 エラー： ファイル内の接続要求が NULL です。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05550 エラー： 状態ファイルの同期化に失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05551 エラー： データ・ファイルの同期化に失敗しました。

原因： 履歴データの収集を中断して、履歴データのロードを開始しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05552 エラー： 状態情報が無効です。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05553 エラー： 状態ファイルの巻戻しに失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05554 エラー： 状態ファイルが空です。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05555 エラー： 状態ファイルの読み込みに失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05556 エラー： ソケットへの書き込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書き込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05557 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05558 エラー： 収集カートリッジのコールに失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05559 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05560 エラー： 収集カートリッジのコールに失敗しました。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05561 エラー： VP_NUM の作成に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05562 警告： 収集カートリッジは send_analysis をインプリメントしていません。

原因： クライアント要求を処理する際、その処理のために収集カートリッジがコールされた時点で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05563 エラー： ソケット索引が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05564 エラー： グローバル状態が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05565 エラー： ローダーを実行できません。

原因： 履歴データ・ローダーを実行しようとした際にエラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05566 エラー： ソケット索引が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05567 エラー： DG 状態が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05568 警告： パラメータが NULL です。

原因： 内部警告が発生しました。

処置： 無視してください。

ODG-05569 警告： このモジュールのメッセージ・カタログ情報が見つかりません。

原因： メッセージ・カタログをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、補足情報が伴います。

処置： 補足情報またはエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05570 警告： ORACLE_HOME の環境変数が正しく設定されていません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとしました際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05571 警告： ORACLE_HOME が見つかりません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05572 警告： alert_dg.log ファイルのオープンに失敗しました。

原因： Data Gatherer に対する警告ログをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： \$ORACLE_HOME/odg/log のディレクトリが存在し、アクセス可能であることを確認してください。

ODG-05573 エラー： ファイル情報構造が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05574 エラー： ファイル情報が NULL です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05575 エラー： ローダー・データ・ファイルのオープンに失敗しました。

原因： CP リポジトリにロードする履歴データ・ファイルをオープンしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： ファイルが存在しアクセス可能であることを確認してから、他のエラーを調べてください。

ODG-05576 エラー： ローダーで分析メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05577 エラー： ローダーで接続メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05578 エラー： ローダーでローダー情報メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05579 エラー： ローダーでメッセージ収集開始の処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05580 エラー： ローダーで変数データ・ラベル・メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05581 エラー： ローダーで変数データ・メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05582 エラー： ローダーで収集終了メッセージの処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05583 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05584 エラー： ローダーで障害が発生しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05585 エラー： 収集データが見つかりません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05586 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05587 エラー： インスタンス・パラメータが正しくありません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05588 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05589 エラー： タイム・スタンプ・パラメータのフォーマットに失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05590 エラー： 現行時刻の取得に失敗しました。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05591 エラー： データの読み込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05592 エラー： データ型を認識できません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05593 エラー： データのロード中に障害が発生しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05594 エラー： 収集データが見つかりません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05595 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05596 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05597 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05598 エラー： データをロード中に障害が発生しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05599 エラー： 記憶域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05600 エラー： データベース接続のクローズに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05601 エラー： データベースからのログオフに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05602 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05603 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05604 エラー： 収集開始メッセージが見つかりません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05605 エラー： データをロード中に障害が発生しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05606 エラー： 記憶域の解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05607 エラー： 収集開始要求の処理に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05608 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05609 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05610 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05611 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05612 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05613 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05614 エラー： インスタンスの数が無効です。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05615 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05616 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05617 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05618 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05619 エラー： リソースの数が無効です。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05620 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05621 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05622 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05623 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05624 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05625 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05626 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05627 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05628 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05629 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05630 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05631 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05632 エラー： 分析の割振りに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05633 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05634 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05635 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05636 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05637 エラー： 記憶域の割振りに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05638 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05639 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05640 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05641 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05642 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05643 エラー： パラメータの検索に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05644 INFO: ローダーでファイルの処理が終了しました。

原因： 履歴データ・ローダーで、履歴データ・ファイルの処理が正常に完了しました。

処置： なし。

ODG-05645 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05646 エラー： ローダー・ファイルが切り捨てられました。

原因： ローダー・ファイルに、部分的な記録が書き込まれました。

処置： 保存できない場合は、障害になっているローダー・ファイルを削除してください。もしこの問題が何度も起こる場合には、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05647 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05648 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05649 エラー： 収集開始の要求で、要求 ID が重複しています。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05650 エラー： 収集データが NULL です。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05651 エラー： 収集の開始が見つかりません。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。
\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05652 エラー： リポジトリへの接続に失敗しました。

処置： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05653 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05654 エラー： 分析の書き込みに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05655 エラー： サービス ID の取出しに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05656 エラー： モジュール ID の取出しに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05657 エラー： クラス ID の取出しに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05658 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05659 エラー： 索引の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05660 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05661 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05662 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05663 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05664 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05665 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05666 エラー： 無効なデータ型です。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05667 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05668 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05669 エラー： データのロールアップに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05670 エラー： 環境変数の取得に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05671 エラー： リポジトリへの接続に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05672 エラー： リポジトリへの接続に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05673 エラー： カーソルのオープンに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05674 エラー： 表の更新に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05675 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05676 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05677 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05678 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05679 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05680 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

原因： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05681 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05682 エラー： 表の作成に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05683 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05684 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05685 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05686 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05687 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05688 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05689 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05690 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05691 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05692 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05693 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05694 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05695 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05696 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05697 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05698 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05699 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05700 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05701 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05702 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05703 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05704 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05705 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05706 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05707 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05708 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05709 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05710 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05711 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05712 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05713 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05714 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05715 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05716 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05717 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05718 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05719 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05720 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05721 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05722 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05723 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05724 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05725 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05726 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05727 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05728 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05729 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05730 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05731 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05732 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05733 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05734 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05735 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05736 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05737 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05738 エラー： 出力変数の定義に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05739 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05740 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05741 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05742 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05743 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05744 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05745 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05746 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05747 エラー： 文の解析に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05748 エラー： 変数のバインドに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05749 エラー： 文の実行に失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05750 エラー： 文のコミットに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05751 エラー： 行のフェッチに失敗しました。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05752 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05753 エラー： ロールアップ索引が無効です。

原因： 履歴データ・ファイルを処理しようとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer の使用を続行できる場合があります。

\$ORACLE_HOME/odg/reco のディレクトリにあるすべてのファイルを保存し、使用を続行する前にカスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05754 警告： ORACLE_HOME の環境変数が正しく設定されていません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05755 警告： ORACLE_HOME が見つかりません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05756 警告： 言語ハンドルをテキストに変換できません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとしました際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05757 エラー： メッセージ・バッファのメモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05758 エラー： メッセージ・バッファのメモリーの再割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05759 エラー： メッセージの送信に失敗しました。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとしました際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05760 エラー： メッセージ・バッファの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05761 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05762 エラー： メモリーの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05763 エラー： データ型が不明です。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとしました際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05764 エラー： メッセージ・バッファが NULL です。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05765 エラー： 62912 バイトを超える割当てはできません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05766 エラー： メモリーの割振りに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05767 警告： NULL のポインタを解放しようとしました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05768 エラー： 62912 バイトを超える割当てはできません。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05769 エラー： メモリーの割振りに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05770 エラー： データ・ソースが NULL です。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05771 エラー： データの割当てに失敗しました。

原因： Data Gatherer が実行されている Oracle ホーム・ディレクトリを検索しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が正しくインストールされており、 Oracle ホーム・ディレクトリが存在しアクセス可能であることを確認してください。

ODG-05772 エラー： メッセージ・デコード： vppfreeparams に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05773 エラー： 起動中に状態情報の初期化に失敗しました。

原因： ターゲット（データベースまたはホスト）に何を収集中かについての情報を含むファイルを読み込もうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： このファイルが壊れているため、このターゲットに関する履歴データは収集されません。参照されているファイルを保存し、カスタマ・サポートにご連絡ください。Data Gatherer の使用を続行し、そのターゲットに関連付けられたファイル（ターゲット名を含むファイル）を \$ORACLE_HOME/odg/reco ディレクトリから削除して、代替の収集を設定できます。

ODG-05774 クライアントの最大数を超える： 少し待ってから再度接続を試みてください。

原因： 一度に Data Gatherer に接続できるクライアント数の最大に達しました。

処置： 接続が空くのを待ってから、操作を再試行してください。

ODG-05775 エラー： スレッド情報構造体の割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05776 エラー： クライアントの待機に失敗しました。

原因： クライアントが、Data Gatherer への初期ソケット接続を確立しましたが、接続要求に応答しませんでした。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05777 エラー： クライアント・メッセージ用領域の割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05778 エラー： 環境からのディレクトリ / ファイル情報の取得に失敗しました。

原因： 環境変数の値を取得しようとしてエラーが発生しました。

処置： Data Gatherer のインストールを検証し、環境変数があることを確認してください。

ODG-05779 警告： ローダーは現在実行中です。次の間隔時に再実行されます。

原因： Data Gatherer 履歴ローダーは、ローダー受渡しの間の間隔で、保留中のデータ・ファイルをすべて処理することはできませんでした。そのため、ローダーはデータ・ファイルの処理を続行し、次の間隔で実行するようスケジュールされます。

処置： 処理するデータ数を減らすために、ローダー受渡しの間の間隔を短縮することを検討し、データのロードが可能な限り速くなるようにリポジトリのパフォーマンスを検証してください。

ODG-05782 エラー： 回復中のメモリー割当てに失敗しました。

原因： 実行時にメモリーを割り当てようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05783 エラー： スレッド索引が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05784 エラー： パラメータの解放に失敗しました。

原因： 実行時に割り当てられたメモリーを解放しようとしてエラーが発生しました。

処置： このエラーは無視できますが、頻発するとメモリーを消費するため、Data Gatherer の再起動が必要な場合があります。

ODG-05785 エラー： データの収集中にエラーが発生しました。

原因： 現在要求されているデータを収集するために、収集カートリッジをコールしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには普通、補足のエラー情報が含まれます。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05786 警告： データ収集の間隔を超過しました。

原因： 要求されたデータの収集に必要な総時間が、サンプル間の間隔を超えていたため、Data Gatherer ではスケジュールどおりの時間に次のサンプルを収集することができません。

処置： データの収集に十分な時間をとるように、収集するデータ数を減らすか、またはサンプル間の間隔を増やすことを検討してください。

ODG-05787 エラー： スレッド索引が無効です。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05788 警告： メッセージの最大サイズを超過しました。インスタンスは切捨てられます。

原因： クライアントまたは履歴データ・ファイルにデータを送ろうとした結果、データ・メッセージが許容最大サイズより大きくなります。この場合、サイズ制限に達する前の最後の収集クラスのインスタンスで、データが切り捨てられます。

処置： なし。

ODG-05789 エラー： CP スレッドでデータの収集に失敗しました。

原因： 現在要求されているデータを収集するために、収集カートリッジをコールしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには普通、補足のエラー情報が含まれます。

処置： 他のエラーを確認して、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05790 エラー： 収集カートリッジがデータ・ラベルの送信に失敗しました。

原因： 統計セットに関連するラベルを、リアルタイム・クライアントまたは履歴データ・ファイルのいずれかへ送ろうとした際に、内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05791 エラー： NLS 機能に障害があります。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05792 エラー： SEND_LOADER_INFO_ACK メッセージを組み立てようとした。

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行し、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05793 エラー： 履歴データベース接続を検証できません。

原因： Capacity Planner 製品は、指定された履歴データベースに接続できません。

処置： 履歴データベースの位置として使用されるサービス名を含むように、tnsnames.ora ファイルを変更してください。

ODG-05794 エラー： データベース・カートリッジの再初期化に失敗しました。付与された資格証明をチェックしてください。

原因： Capacity Planner ユーザーが、モニター中のデータベース上の設定リストを、正しくない設定リスト・セットに変更しました。

処置： データベースへの接続に使用されている設定リストが正しいことを確認してください。

ODG-05795 エラー： サービス名にある正しいファイル名の文字を置き換えようとしています。

原因： Data Gatherer が処理しようとしているサービス名が無効です。内部エラー。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05796 エラー： CP データベース /DG のバージョンが一致しません。

原因： Data Gatherer が、互換性のない新しいバージョンに変換された CP データベースに、データを書き込もうとしています。

処置： このバージョンの Data Gatherer については、別のユーザーを使用するか、または別のデータベースを使用してデータを格納するように、CP データベースを変更してください。

ODG-05797 OCI 機能の処理でエラーが発生しました。

原因： 表領域が領域不足になった可能性がありますが、問題点を特定する機能とエラーは、このメッセージに続くメッセージによって明確にされます。

処置： 領域の問題であれば、表領域を拡大するか、またはデータファイルを追加する必要があります。機能と関連エラーでも、問題解決に十分な情報が得られない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05798 エラー： 状態ファイルの再編成 (VP_DEINITIALIZE_REQ) 要求が見つかりません。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05799 エラー： 状態ファイルの再編成 (VP_END_COLLECT_REQ) 要求が見つかりません。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05800 エラー： 回復ソケットをオープンできません。

原因： 前の状態情報を回復する際に、Data Gatherer の起動に失敗しました。

処置： 再度、Data Gatherer の再起動を試行してください。それでもエラーが解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05801 エラー： ファイルの開始をシークできません。

原因： ディスク障害の可能性があります。オープンしたファイルが多すぎます。Data Gatherer の内部エラーです。

処置： Data Gatherer を停止して、再起動してください。それでも問題が解決されない場合、状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05802 エラー： 最初の TLD で読み込みエラーが発生しました。

原因： 状態ファイルの第 1 レコードが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05803 エラー： 最初のレコード本体で読み込みエラーが発生しました。

原因： 状態ファイルの第 1 レコードが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05804 エラー： ファイルの読み込みには connect_req が必要です。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05805 エラー： メモリーの割当てに失敗しました。

原因： コンピュータ上で実行中のアプリケーションまたはプログラムが、多すぎる可能性があります。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05806 エラー： VP_RECOVERY レコードの書き込みに失敗しました。

原因： Data Gatherer は、状態ファイルに記録を書き込めませんでした。

処置： 状態ファイルが置かれているデバイスで、ディスク領域をチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05807 エラー： 接続承認メッセージの読み込みに失敗しました。

原因： Data Gatherer で、ソケットからの読み込みエラーが発生しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05808 エラー： vppinetsr には connect_req_ack が入ります。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージが同期していません。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05809 エラー： vppinetsr connect_req の本体が読み込まれました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05810 エラー： ファイル・メッセージ・ヘッダーの読み込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05811 エラー： 状態ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中の読み込みエラーです。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05812 エラー： new_connect の書き込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置： 状態ファイルが置かれているデバイスをチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05813 エラー： save_connect の書き込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。

処置： 状態ファイルが置かれているデバイスをチェックしてください。Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05814 エラー： vppinets HDR に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05815 エラー： connect_req ack または connect_service ack のはずです。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージが同期していません。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05816 エラー： vppinets connect_req ack に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05817 エラー： vppinetws connect_service_req に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書き込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05818 エラー： vppinetrs が service ack に接続しています。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05819 エラー： connect_service_ack のはずです。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みエラーのメッセージが同期していません。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05820 エラー： vppinetrs connect_service_ack の長さが正しくありません。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05821 エラー： ポート番号のデコードに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージ内容が正しくありません。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05822 エラー： vppstrtonum に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。文字列から数字への変換に失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05823 エラー： CP ポート番号が無効です。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。無効なポート番号が渡されました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05824 エラー： 最初のソケットに対する vppsclose に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットのクローズに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05825 エラー： vpprecogetsock に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットの割当てに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05826 エラー： new_connect の vppinetws に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージのソケット書込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05827 エラー： save_connect の vppinetws に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。メッセージのソケット書込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05828 エラー： vppinetrs HDR に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05829 エラー： slen の vppinetrs に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05830 エラー： vppinetws に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05831 エラー： vppinetrs HDR に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05832 エラー： slen の vppinetrs に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05833 エラー： HDR のファイル読み込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05834 エラー： blen のファイル読み込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05835 エラー： get_modules または initialize_req の送信に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケット書き込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05836 エラー： vppinetrs HDR に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05837 エラー： カートリッジの準備が整っていません。再試行されます。

原因： カートリッジが使用できません。通常、データベースまたはノードが停止しています。

処置： いずれも停止していない場合、Data Gatherer は 1 分に 1 度、再試行します。

ODG-05838 エラー： vppinetrs slen に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットからの読み込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05839 エラー： ファイル本体の読み込みに失敗しました。

原因： 状態ファイルが壊れています。

処置： 状態ファイルを削除する必要があります。コピーを保存してから、カスタマ・サポートにご連絡ください。また、Capacity Planner を介してサービスに再接続し、収集を再度セットアップできます。

ODG-05840 エラー： vppinetws に失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ソケットへの書き込みに失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05841 エラー： vpprecoverdone() ルーチンでエラーが発生しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ファイルの改名に失敗しました。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

ODG-05842 エラー： 回復ファイルのクローズに失敗しました。

原因： 状態ファイルのリカバリ中のエラーです。ファイルが閉じています。

処置： Data Gatherer を再起動してください。それでも問題がある場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

5

Management Pack メッセージ（第 2 層）

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VBO-1000 ~ VBO-1499: DBA Management Pack の一般的な メッセージ	5-1
VBOG-2000 ~ VBOG-2999: Storage Manager メッセージ	5-2
VBOI-3000 ~ VBOI-3499: Instance Manager メッセージ	5-4
VBOS-4000 ~ VBOS-4499: Schema Manager メッセージ	5-4
VBOZ-2000 ~ VBOZ-5005: Change Management Pack メッセージ	5-4

VBO-1000 ~ VBO-1499: DBA Management Pack の一般的な メッセージ

VBO-1000: 有効な Oracle ID を名前フィールドに指定してください。

原因：「名前」フィールドに、有効な Oracle ID が指定されていません。

処置：「名前」フィールドに、有効な Oracle ID を指定してください。

VBO-1001: セッションを検索できませんでした。

原因：サーバー・オブジェクトのデータベースへのセッションが見つかりません。

処置：カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBO-1002: サーバー・オブジェクトを初期化できませんでした。

原因：サーバー・オブジェクトの初期化の際に、データベースからの必要な情報を取得できませんでした。

処置：カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBO-1003: データ・ソースを更新できませんでした。

原因: DDL または DML 操作は実行できませんでした。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBOG-2000 ~ VBOG-2999: Storage Manager メッセージ

VBOG-2000: 表領域が無効です。

原因: 有効な Oracle ID ではない表領域名を指定しました。

処置: 有効な表領域名を指定してください。

VBOG-2001: 無効なサイズ。

原因: 有効ではないサイズを指定しました。サイズは負の値にできません。

処置: 有効な、負でないサイズ値を指定してください。

VBOG-2002: 単位が無効です。

原因: 有効ではない単位を指定しました。

処置: 有効な数量単位を指定してください。

VBOG-2003: 増分が無効です。

原因: 有効な値ではない増分を指定しました。

処置: 有効な増分値を入力してください。

VBOG-2004: 最大サイズが無効です。

原因: 有効な値ではない最大サイズを指定しました。

処置: 最大サイズを正の値で指定してください。

VBOG-2005: 表領域には少なくとも 1 つのデータファイルが必要です。

原因: この表領域には、データベースが指定されていません。

処置: プロパティ・ページの「追加」ボタンを使用して、表領域にデータファイルを追加してください。

VBOG-2006: 最小エクステントが無効です。

原因: 有効な値ではない最小エクステントを指定しました。

処置: 有効な最小エクステント値を指定してください。

VBOG-2007: 最大エクステントが無効です。

原因: 有効な値ではない最大エクステントを指定しました。

処置: 有効な最大エクステント値を指定してください。

VBOG-2008: 増分率が無効です。

原因: 有効な値ではない増分率を指定しました。

処置: 有効な増分率値を指定してください。

VBOG-2009: 最大エクステントの指定が無効です。

原因: 最大エクステント・サイズは、ファイル・サイズより大きく設定する必要があります。

処置: ファイル・サイズより大きい最大エクステントを指定してください。

VBOG-2010: REDO ログ・グループ番号が無効です。

原因: REDO ログ・グループ番号として 0 以下を指定しました。

処置: 正の数を指定してください。

VBOG-2011: REDO ログ・スレッド番号が無効です。

原因: REDO ログ・スレッド番号として 0 以下を指定しました。

処置: REDP ログ・スレッド番号を正の数で指定してください。

VBOI-3000 ~ VBOI-3499: Instance Manager メッセージ

VBOI-3000: 構成名 <名前> が無効です。

原因: 空または無効な構成名を指定しました。

処置: 有効な構成名を指定してください。

VBOI-3001: データベースの停止に失敗しました。

原因: 不明な例外のため、データベースの停止に失敗しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBOI-3002: データベースの起動に失敗しました。

原因: 不明な例外のため、データベースの起動に失敗しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBOI-3003: 次のファイル I/O に失敗しました。<文字列>

原因: ファイルからの読み込み、またはファイルへの書き込みの際に、I/O 例外が発生しました。

処置: ファイル名、許可、ディスク領域、その他をチェックしてください。

VBOI-3004: 使用可能なリポジトリ・セッションはありません。

原因: リポジトリ・セッションが NULL であるか、または Oracle Management Server にリポジトリへの有効な接続がありません。

処置： リポジトリ・セッションが確立されていることを確認し、Oracle Management Server にリポジトリへの有効な接続があるかどうかチェックしてください。管理サーバーに有効な接続があるかどうかを確認する 1 つの方法は、別の DBA アプリケーションを使用して接続することです。接続に成功した場合、リポジトリ・セッションは有効です。

VBOI-3005: 有効な値がありません。

原因： 入力した値が、その値のデータ型と合致していないか、またはフォーマットが正しくありません。

処置： 対応するデータ型に合致した値を入力してください。

VBOS-4000 ~ VBOS-4499: Schema Manager メッセージ

VBOS-4000: 間隔値 {0} が無効です。

原因： 空または無効な間隔を指定しました。

処置： 有効な間隔値を指定してください。

VBOS-4001: キャッシュ・サイズ値 {0} が無効です。

原因： キャッシュ・サイズ値に負の数を指定しました。

処置： 正のキャッシュ・サイズ値を入力してください。

VBOS-4002: 「列」フィールドは、有効な Oracle ID でなければなりません。

原因： 有効な Oracle ID ではない列名が指定されました。

処置： 有効な列名を指定してください。

VBOZ-2000 ~ VBOZ-5005: Change Management Pack メッセージ

VBOZ-2000: 有効な宛先を指定してください。

原因： 入力した宛先は、すでにこの計画に関連付けられています。

処置： この計画に関連付けられていない宛先を指定してください。

VBOZ-2002: この計画には、すでに宛先 <文字列> が含まれています。

原因： 入力した宛先は、すでにこの計画に関連付けられています。

処置： この計画に関連付けられていない宛先を指定してください。

VBOZ-5000: <文字列> という名前の計画はすでに存在します。別の名前を選択してください。

原因： すでに存在する計画名を入力しました。

処置： 一意の計画名を指定してください。

VBOZ-5001: 有効な計画名を指定してください。

原因: 入力した宛先は、すでにこの計画に関連付けられています。

処置: この計画に関連付けられていない宛先を指定してください。

VBOZ-5002: <文字列>以外で始まる計画名を指定してください。

原因: 無効な計画名を入力しました。

処置: ASMS_で始まる計画名は、Oracle Change Management Pack によって予約されています。ASM\$_以外で始まる計画名を指定してください。

VBOZ-5005: 計画 <文字列> が見つかりません。

原因: 存在しない計画を編集または表示しようとしてエラーが発生しました。

処置: 計画がリポジトリに存在するかどうか検証してください。

6

Index Tuning Wizard メッセージ（第 2 層）

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VBUI-1000 ~ VBUI-1009 の Index Tuning Wizard メッセージ	6-1

VBUI-1000 ~ VBUI-1009 の Index Tuning Wizard メッセージ

VBUI-1000: 無効な ORACLE_HOME

原因: ORACLE_HOME に有効な値がありません。

処置: ORACLE_HOME を、リリース 2 のホーム・ディレクトリに設定してください。

VBUI-1001: 無効なリポジトリ設定リスト

原因: Oracle Expert またはコマンド・ラインから受け渡されたリポジトリ設定リストが、失われたか、または無効です。

処置: 有効なリポジトリ設定リストを指定してください。

VBUI-1002: 無効な Oracle Management Server の設定リスト

原因: コンソールまたはコマンド・ラインから受け渡されたリポジトリ設定リストが、失われたか、または無効です。

処置: 有効な Oracle Management Server 設定リストを指定してください。

VBUI-1003: Oracle Management Server への接続に失敗しました。

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または再起動の必要があります。

処置: Oracle Management Server を再起動してください。

VBUI-1004: OMS からリポジトリ設定リストの取出し中にエラーが発生しました。

原因: Oracle Management Server (OMS) が停止しています。

処置： Oracle Management Server を再起動してください。

VBUI-1006: ターゲット・データベースへの接続に失敗しました。ユーザー名とパスワードが使用できません。

原因： ターゲットのユーザー名またはパスワード（あるいはその両方）に、NULL 値が含まれています。

処置： コンソールで、ターゲット・データベースに優先接続情報リストを設定するか、またはコマンド・ラインでユーザー名およびパスワードを渡してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBUI-1007: ターゲット・データベースへの接続が失われました。

原因： ターゲット・データベースに接続しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 接続を試行したターゲット・データベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エンティリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBUI-1008: {0} コマンドの実行に失敗しました。

原因： そのコマンドがシステム上に見つかりません。

処置： そのコマンドが、システムとシステム PATH に存在していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、再インストールを行ってください。

VBUI-1009: リポジトリ・マネージャ・プロセスが割り込まれました。

原因： 処理は予期せずに終了しました。

処置： 再試行してください。

Oracle Change Management Pack メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VBZ-1049 ~ VBZ-3121 のメッセージ	7-1
VBZU-1006 ~ VBZU-1009 のメッセージ	7-2

VBZ-1049 ~ VBZ-3121 のメッセージ

VBZ-1049: 影響ログの保存中に SQL エラーが発生しました。

原因: 影響ログの保存中に SQL エラーが発生しました。

処置: 例外によって問合せが失敗した場合は、データベースが起動していることを確認し、表が満杯になっていないか、または壊れていないかどうかを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZ-3118: 変更計画の読み込み中にエラーが発生しました。

原因: 変更計画の読み込みを試行中に、エラーが発生しました。

処置: 計画を読み込もうとしている元のリポジトリが起動していることを確認してください。また、何らかの理由で計画が破損していないかどうかも確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZ-3119: 変換データベース・セッションのクリーン・アップ中にエラーが発生しました。

原因: データベース・セッションをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: クローズしようとするデータベース・セッションが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZ-3120: スクリプト生成中に予期しないエラーが発生しました。

原因: 計画の変換中に、予期しないエラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZ-3121: 生成済スクリプトの保存中にエラーが発生しました。

原因: 生成済スクリプトの保存中にエラーが発生しました。

処置: リポジトリ・データベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、リポジトリに十分な領域があることを確認してください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZU-1006 ~ VBZU-1009 のメッセージ

VBZU-1006: 予期しない例外

原因: 予期しないエラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VBZU-1009: VbzuGrantId に渡された権限 ID が無効です。

原因: 使用する権限 ID が有効ではありません。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VDE-1000 ~ VDE-1499 のメッセージ	8-1
VDI-0000 ~ VDI-0249 のメッセージ	8-1
VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ	8-2
VDR-7000 ~ VDR-7249 のメッセージ	8-3
VDU-6000 ~ VDU-6999 のメッセージ	8-4

VDE-1000 ~ VDE-1499 のメッセージ

VDE-1003: イベントが不完全です。

原因: 不完全なイベントを登録しようとした。

処置: 登録する前に、イベントを完成してください。

VDE-1004: エージェントとの接続中にシステム・エラーが発生しました。

原因: ターゲットの命名サービスで、エージェントとの接続中に、回復不可能なエラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VDI-0000 ~ VDI-0249 のメッセージ

VDI-0001: 内部エラー - <パラメータ>からの状態変更が無効です。

原因: Oracle Enterprise Manager で、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VDI-0002: システム・エラーが発生しました。

原因： リポジトリ接続が失われたかリポジトリが破損しているため、またはインストールが適切ではないために、内部エラーが発生した可能性があります。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。Oracle Enterprise Manager のトレース・ファイルを提出する場合もあります。

VDOUS-00101 ~ VDOUS-00115 のメッセージ

VDOUS-00101: Java VM 作成中のエラーです。

原因： Oracle Management Server のインストールが正しくありません。

処置： Management Pack を再インストールしてください。再インストールに失敗した場合は、カスタマ・サポートに問い合わせてください。

VDOUS-00102: CLASSPATH <パス> で、クラス <名前> を検出できません。

原因： 必要なコンポーネントがインストールされていません。

処置： 足りないコンポーネントを再インストールしてください。

VDOUS-00103: クラス <クラス> でメソッドを検出できません： <メソッド>

原因： CLASSPATH にあるクラス /ZIP ファイルのバージョンが、正しくありません。

処置： 古いバージョンのクラス /ZIP ファイルを削除して、Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00104: <メソッド> に、新規の Java オブジェクト <名前> を割り当てられません。

原因： Java 仮想マシンが、メモリー不足です。

処置： すべての Management Pack アプリケーションを終了し、再起動してください。

VDOUS-00106: 割当てを実行するためのメモリーが不足しています。

原因： ブリッジ起動中に問題が発生しました。

処置： 他のアプリケーションをいくつか閉じてから、再試行してください。

VDOUS-00107: <名前> に対する GetDispatchDriver で、CoInitialize に失敗しました。

原因： OLE の初期化において問題が発生しました。

処置： Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00108: <名前> に対する CLSIDFromProgID に失敗しました。

原因： OLE の初期化において問題が発生しました。

処置： Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00109: <名前>に対する GetActiveObject/CoCreateInstance に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00110: <名前>に対する QueryInterface に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00111: <名前>に対する CoInitialize に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00112: <名前>に対する CLSIDFromProgID に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00113: インタフェース <名前>に対するアクティブ・オブジェクトの取得に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00114: インタフェース <名前>に対する IDispatch の取得に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDOUS-00115: インタフェース <名前>に対する DISPID の取得に失敗しました。

原因: OLE の初期化において問題が発生しました。

処置: Management Pack を再インストールしてください。

VDR-7000 ~ VDR-7249 のメッセージ

VDR-7000: レジストリへのアクセス中のエラー

原因: データベース接続が失われたか、無効なトランザクションまたは無効な SQL 操作が発生した可能性があります。エラーの詳細は、例外に含まれています。

処置: 接続が失われた、またはリポジトリが停止していた場合であれば、Oracle Management Server を再起動してください。それでも内部エラーが発生する場合には、カスタマ・サポートに連絡し、メッセージに表示された情報を含む問題レポートを記録してください。

VDR-7001: キーを登録できません。

原因: Configuration Assistant の実行中に、次のいずれかが発生しました。

- データベース接続が失われた。
- 無効なトランザクション。
- 無効な SQL 操作。

処置: Oracle Management Server の構成を再実行してください。

VDU-6000 ~ VDU-6999 のメッセージ

VDU-6000: プリンシパルは、アクセスが取り消されたオブジェクトをまだ所有しています。

原因: ユーザーがジョブまたはイベントを所有しているために、ジョブまたはイベント・サブシステム（あるいはその両方）へのアクセスが取り消されています。ジョブまたはイベントは、発行または登録されただけでなく、対応するライブラリに常駐しています。

処置: すべてのジョブおよびイベントの所有権を、他のユーザーに割り当ててから、操作を再試行してください。

Oracle SQL Analyze サービス・メッセージ

VMQ-00001 ~ VMQ-00055 のメッセージ

VMQ-00001: ここではヒント・ウィザードを使用できません。「類似作成」を使ってこのSQLを複製してから、ヒント・ウィザードを使ってください。

原因： 読込み専用のSQL文について、ヒント・ウィザードが起動されました。
EXPLAIN PLANの生成後、SQL文は編集できません。

処置： 「ファイル」「類似作成」を選択して、ナビゲータ・ツリーにある文をコピーします。コピーしたファイルを選択して、ヒント・ウィザードを使用してください。

VMQ-00002: ヒント・ウィザードでは、INSERT、UPDATEまたはDELETE文にヒントが追加されません。

原因： ヒント・ウィザードは、INSERT、UPDATEまたはDELETE文を含む文について起動されました。現在、これらの文はサポートされていません。

処置： なし

VMQ-00003: DML(削除、挿入、選択、更新)文ではありません。EXPLAIN PLANを取得できません。

原因： データ操作言語(DML)のコマンドを使用しない文です。DMLコマンドを使用しない文には、EXPLAIN PLANがありません。

処置： 現在、Oracle SQL Analyzeでは、この文を分析またはチューニングできません。

VMQ-00004: データベース・セッション・パラメータを取り出せません。

原因： Oracle SQL Analyzeでは、接続したデータベースのパラメータを表示できません。これは、Oracle SQL Analyzeでリリース7.2より前のデータベースがサポートされていないためか、またはV\$parameter表が壊れている可能性があります。

処置： データベースがバージョン7.2以降の場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00005: 内部エラー

原因： 内部エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。このメッセージが続けて表示される場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00006: SQL の有効性検査ができません。構文エラー < 文字列 >

原因： 構文上正しくない SQL 文が生成されました。

処置： 構文エラーがないかどうか、文をチェックしてください。スペルミスや入力ミスがないかどうか、文をチェックしてください。

VMQ-00007: この操作を実行するには、このセッションを接続する必要があります。

原因： 接続されていないデータベースにアクセスしようとしたしました。

処置： ナビゲータ・ウィンドウのデータベース・ノードを拡張してください。これによってデータベースが接続され、そのデータベース上で操作できるようになります。

VMQ-00008: 選択した副問合せのヒント・リストを解析できません。

原因： 問合せに、正しくないヒント構文があります。

処置： ヒント構文をチェックするか、またはヒントをすべて削除してください。構文を自動的にチェックするヒント・ウィザードを使用すると、文にヒントを追加できます。

VMQ-00009: 内部エラー： ANALYZE コマンドに指定したパラメータが無効です。

原因： チューニング・ウィザードの「統計の推定」オプションに指定した比率が、1 ~ 100 の整数ではありません。

処置： 1 ~ 100 の比率を指定してください。

VMQ-00010: Oracle8 のオブジェクト ID が見つかりません。

原因： Oracle SQL Analyze で、Oracle データベースが見つかりませんでした。

処置： データベースが壊れている可能性があります。カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00011: セッション・レベルでパラメータ < パラメータ > を設定できません。

原因： Oracle SQL Analyze 内からは変更できないデータベース・パラメータを編集しようとしました。

処置： Oracle SQL Analyze をクローズし、Oracle Instance Manager を使用するか、または init.ora ファイルを手動で編集して、パラメータを変更してください。

VMQ-00012: 選択した別名または表名がリスト中の他の名前と競合しています。

原因： 選択した別名または表名が、リストの他の名前と競合しています。

処置： 有効な別名または表名を選択してください。

VMQ-00017: SQL 文の有効性を検査できません。

原因： Oracle SQL Analyze で、その文が参照する表またはビューが見つかりませんでした。SQL 文の識別子を解読できませんでした。

処置： そのオブジェクトに対する権限があるかどうかを確認してください。

VMQ-00018: 内部データ・フォーマット・エラーが発生しました。要求されている操作を継続できません。

原因： Oracle SQL Analyze 内のデータの不整合によって、内部エラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00019: バインド変数ダイアログが取り消されたため、バインド変数が指定されていません。

原因： バインド変数を指定する前に、バインド変数のダイアログがキャンセルされました。

処置： 操作を再試行してください。バインド変数のダイアログはキャンセルしないでください。

VMQ-00020: オブジェクト<オブジェクト>は存在しますが、表またはビューではありません。

原因： SQL 文の識別子のいずれかが、表またはビューではありませんでした。その SQL 文によって呼びだされる操作には、表またはビューが必要です（たとえば、その文は索引を選択しようとした可能性があります）。

処置： SQL 文をチェックして、識別子を訂正してください。

VMQ-00021: オブジェクト<オブジェクト>は存在しますが、予想のオブジェクト・タイプではありません。

原因： Oracle SQL Analyze では、オブジェクトを読み込むことができませんでした。データベースが壊れている可能性があります。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00022: 次の値は、このバインド変数に適していません： <値>

原因： 数値タイプのバインド変数に、非数値を指定しました。

処置： バインド変数の値に数値を入力してください。

VMQ-00023: オブジェクト<オブジェクト>のタイプを判別できません。

原因： Oracle SQL Analyze では、指定したオブジェクトを読み込むことができませんでした。データベースが壊れている可能性があります。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00026: PLAN_TABLE を作成できません。

原因： 適切な CREATE TABLE 権限が使用不能であるため、または指定したディスクに十分な領域がないために、Oracle SQL Analyze では計画表を作成できませんでした。

処置： CREATE TABLE 権限を持っていること、および指定したディスクに十分な空き領域があることをチェックしてください。

VMQ-00027: PLAN_TABLE を削除できません。

原因: 計画表のバージョンがデータベースに合っていません。適切なアクセス権限が使用不能になっている可能性があります。

処置: データベース管理者 (DBA) に連絡して、データベースを削除してください。

VMQ-00028: オブジェクトが見つかりませんでした。

原因: SQL 問合せの有効性検査を実行しようとしたが、その文で参照される表またはビューが存在しないため、失敗しました。

処置: 構文エラーがないかどうか、文をチェックしてください。スペルミスや入力ミスがないかどうか、文をチェックしてください。

VMQ-00030: チューニング・ウィザードでは、INSERT、UPDATE または DELETE 文は改善されません。

原因: チューニング・ウィザードは、INSERT、UPDATE または DELETE 文を含む文について起動されました。現在、これらの文はサポートされていません。

処置: なし

VMQ-00031: Oracle 7.2 以前のセッション・レベルで設定できるセッション・パラメータがありません。

原因: Oracle SQL Analyze 内からは変更できないデータベース・パラメータを編集しようとしました。

処置: Oracle SQL Analyze をクローズし、Oracle Instance Manager を使用するか、または init.ora ファイルを手動で編集して、パラメータを変更してください。

VMQ-00032: リポジトリ・マネージャではリポジトリの有効性検査ができません。

原因: リポジトリ・マネージャが失敗したか、またはリポジトリが壊れました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00033: SQL 文の有効性を検査できません。: <文字列>

原因: SQL 文の識別子を解読できませんでした。

処置: 文に構文エラー、スペルミス、入力ミスがないかどうかをチェックしてください。

VMQ-00034: Oracle Enterprise Manager の SDK が使用不能です。Oracle SQL Analyze の使用中は、Oracle Enterprise Manager コンソールが実行されている必要があります。

原因: Oracle Enterprise Manager の起動前に Oracle SQL Analyze が起動されたか、または Oracle SQL Analyze の実行中に Oracle Enterprise Manager をクローズしました。

処置: Oracle Enterprise Manager を再起動して、Oracle SQL Analyze の実行中はそのまま実行しておいてください。

VMQ-00035: Oracle Enterprise Manager SDK 呼出しに失敗しました: <文字列>

原因: Oracle Enterprise Manager コンソールが、不明な原因によって停止しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00036: Oracle Enterprise Manager SDK 配列アクセスに失敗しました。

原因： Oracle Enterprise Manager コンソールが、不明な原因によって停止しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMQ-00037: このデータベースでセッション接続を試行しています。この操作を停止するか、または終了するまでお待ちください。

原因： データベースへ接続する最初の試行を処理中に、2度目の接続が試行されました。

処置： データベース・ノードを何度もクリックしないでください。任意のメニュー「操作の取消」を選択してこの操作を停止するか、または終了するまで待ってください。

VMQ-00038: このSQL項目は、バックグラウンド操作が進行中なので削除できません。削除する前に、現行のEXPLAIN PLANまたは実行操作を取り消してください。

原因： SQL文は、EXPLAIN PLANまたは実行オプションが実行されていたため、削除できませんでした。

処置： 操作をキャンセルしてから、文を削除してください。

VMQ-00039: SQL文ラベルの長さは、1~255文字でなければなりません。空でなく、256文字未満の新しいラベルを入力してください。

原因： 空か、または255文字より長いSQL文が入力されました。

処置： その文に、1文字以上255文字以下の長さの新しいラベルを入力してください。

VMQ-00040: EXPLAIN PLAN操作は、SQL文にあいまいな参照が含まれているため完了できませんでした。

原因： 「所有者の選択」ダイアログがキャンセルされました。

処置： EXPLAIN PLAN操作を再試行してください。操作の進行中はダイアログをキャンセルしないでください。

VMQ-00041: SQL文にはあいまいな参照分が含まれているため、有効性検査ができませんでした。「所有者の選択」ダイアログは取り消されました。

原因： 「所有者の選択」ダイアログがキャンセルされました。

処置： ヒント・ウィザードまたはチューニング・ウィザードを起動してください。「所有者の選択」ダイアログのオープン後は、適切な所有者を選択するまで、ダイアログをキャンセルしないでください。

VMQ-00042: 「リポジトリに接続」操作は取り消できません。完了するまで待つか、またはSQL Analyzeを終了してください。

原因： リポジトリ接続の進行中にキャンセルしようとしました。

処置： 操作が完了するまで待つか、またはOracle SQL Analyzeを終了してください。

VMQ-00043: 「リポジトリのロード」操作は取り消できません。完了するまで待つか、または Oracle SQL Analyze を終了してください。

原因： リポジトリ接続の進行中にキャンセルしようとしました。

処置： 操作が完了するまで待つか、または Oracle SQL Analyze を終了してください。

VMQ-00044: Oracle RDBMS バージョンは使用できません。

原因： Oracle SQL Analyze では、この情報を持つ V\$version 表にアクセスできませんでした。

処置： V\$version へのアクセス権限があることを確認してください。

VMQ-00045: 削除できません。データベースが接続されていないか、またはビジーです。

原因： ターゲット・データベースが接続されていないため、ドラッグ・アンド・ドロップ操作が失敗しました。

処置： ターゲット・データベースを拡張してから、ナビゲータ・ウィンドウのデータベース・オブジェクトに SQL 文をドラッグしてください。

VMQ-00046: 無効なデータベース・リンク : <リンク>

原因： SQL 文で、存在しないデータベース・リンクを参照しています。

処置： SQL 文の入力エラーを訂正してください。

VMQ-00047: プライベート・データベース・リンク : <リンク> にアクセスできません。

所有者 : <名前>

原因： SQL 文で、あるスキーマのプライベートなデータベース・リンクを参照しています。

処置： 同じ名前で、定義の類似したパブリック・データベース・リンクを作成してください。

VMQ-00048: このサービスは、すでに検出されています。他のデータベースを指定してください。

原因： 定義しようとする新規のデータベース・サービス（または編集中の既存のデータベース・サービス）は、既存のデータベース・サービスと名前が同じです。

処置： 新規（または変更後）のデータベース・サービスに、別の名前を選択してください。

VMQ-00049: 管理サーバーに接続できません <名前>。OMS が実行中であり、リポジトリ・データベースが使用可能であることを確認してください。

原因： OLE-OMS ブリッジを使ってリポジトリに接続しようとしましたが、接続できませんでした。Oracle Management Server が実行されていないか、またはリポジトリ・データベースに接続できません。

処置： Oracle Management Server を起動し、そのリポジトリに対するリスナーとデータベースが実行されていることを確認してください。

VMQ-00050: 内部エラー： OMS からリポジトリ設定リストを取得できません

原因： SQL Analyze のログイン中に、 Oracle Management Server が停止しました。

処置： SQL Analyze を停止し、 Oracle Management Server を再起動してから SQL Analyze を再起動してください。

VMQ-00051: これらの統計には、負数以外の数しか指定できません。負数が含まれる統計を編集してください。

原因： ユーザーが、オブジェクト統計に不適切な（負の）値を指定しました。

処置： 負の統計を編集して、それを正（または 0）に改めてください。

VMQ-00052: 列 <列> の概要を取得できません。

原因： オブジェクト・プロパティを表示中の表が削除されました。

処置： 「リフレッシュ」ボタンをクリックして、「オブジェクト・プロパティ」ダイアログをリフレッシュしてください。

次の 2 つのエラーは、番号が同じです。

VMQ-00053: 列 <列> のデータ・ディクショナリ統計を取得できません。

原因： 必要なデータ・ディクショナリ統計を持つ表が削除されました。

処置： 現在のダイアログまたはウィザードを終了して、再試行してください。

VMQ-00053: 保存できる索引推奨事項の実装スクリプトはありません。

原因： 保存しようとした実装スクリプトは、まだ生成されていません。

処置： 推奨事項実装スクリプトを生成してから、それを保存してください。

VMQ-00054: 列 %1 の推定を取得できません

原因： SQL Tuning Wizard でデータ配布を計算中の表が削除されました。

処置： 操作をキャンセルして、SQL Tuning Wizard を終了してから再起動してください。

VMQ-00055: この操作を実行できません。ユーザー接続は接続されていません。

原因： データベース・サービスが接続されていない状態で、接続を必要とする操作が試行されました。

処置： ナビゲータ・ツリーでノードを拡張して、データベース・サービスに接続してください。

VMQ-00001 ~ VMQ-00055 のメッセージ

10

Oracle Top Sessions メッセージ

VMS-00001 ~ VMS-00004: 重要なエラー・メッセージ

VMS-00001: 空ドキュメントの作成に失敗しました。

原因: ドキュメントを作成できませんでした。

処置: パフォーマンス・パックを再インストールしてください。

VMS-00002: OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリのバージョンを確認してください。

原因: AfxOleInit システム・コールに失敗しました。

処置: OLE ライブラリのバージョンを確認してください。

VMS-00003: パブリック・シノニム <名前> にアクセスできません。これ以上続けられません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: 存在していないか、ユーザーにアクセス許可がない可能性があるので、重要なパブリック・シノニムにはアクセスできませんでした。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-00004: パブリック・シノニムにアクセスできません。これ以上続けられません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: v\$session、v\$sesstat および v\$statname パブリック・シノニムにアクセスできませんでした。シノニムが存在していないか、ユーザーにアクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01000 ~ VMS-01016: 重要でないエラー・メッセージ

VMS-01000: パブリック・シノニム V\$OPEN_CURSOR にアクセスできません。オープン・カーソルを表示できません。

原因: v\$open_cursor は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01001: パブリック・シノニム V\$SQLTEXT にアクセスできません。EXPLAIN PLAN を表示できません。

原因: v\$sqltext は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01002: パブリック・シノニム V\$LOCK にアクセスできません。ロック情報を表示できません。

原因: v\$lock は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01003: パブリック・シノニム SYS.DBA_WAITERS にアクセスできません。ロック化セッションを表示できません。

原因: シノニムが存在しないか、またはユーザーがシノニムへのアクセスに必要な許可を持っていません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATBLOG.SQL を実行してください。そうすれば、ビュー DBA_WAITERS および DBA_LOCKS の列すべての選択権限が付与されます。

VMS-01004: 表 SYS.PLAN_TABLE にアクセスできません。EXPLAIN PLAN を表示できません。

原因: sys.plan_table は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、UTLXPLAN.SQL を実行し、この表の列すべてについて SELECT、INSERT および DELETE の権限を自分に付与してください。

VMS-01005: パブリック・シノニム DBA_OBJECTS にアクセスできません。ロック化セッションを表示できません。

原因: dba_objects は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01006: SYS.PLAN_TABLE にアクセスできません。EXPLAIN PLAN を表示できません。

原因: sys.plan_table は存在しないか、またはユーザーに必要なアクセス許可がありません。

処置: システム管理者に依頼して、次の操作を実行してください。スクリプト CATALOG.SQL および UTLXPLAN.SQL を実行します。DBA_WAITERS のすべての列について SELECT 権限を付与します。そして、SYS.PLAN_TABLE のすべての列について SELECT、INSERT および DELETE の権限を付与します。

VMS-01007: システムがタイマーの割当てに失敗しました。

原因: タイマーをシステムから取得できませんでした。

処置: タイマーを使用する他のアプリケーションをクローズしてみてください。

VMS-01008: データベースへの接続に失敗しました。

原因: データベース・セッションをオープンできませんでした。

処置: 別のユーザー名またはパスワード、接続文字列を指定してください。

VMS-01009: ファイル topsess.opt が見つかりません。

原因: オプション・ファイル topsess.opt が見つかりませんでした。

処置: デフォルト・オプションを指定し、続行してください。すでに存在する場合、Oracle TopSessions はこのファイルを再作成します。

VMS-01010: topsess.opt ファイルの読み込みに問題があります。

原因: オプション・ファイル topsess.opt を読み込めません。

処置: デフォルト・オプションを指定し、続行してください。すでに存在する場合、Oracle TopSessions はこのファイルを再作成します。

VMS-01011: topsess.opt ファイルに書き込めませんでした。

原因: オプション・ファイル topsess.opt ファイルに書き込めません。

処置: このファイルは読み込み専用か、またはディスク領域が足りません。

VMS-01012: topsess.opt ファイルに変換できませんでした。

原因: オプション・ファイル topsess.opt に変換できません。

処置: このファイルは読み込み専用か、またはディスク領域が足りません。

VMS-01013: これ以上処理できません。「再試行」を押して再接続してください。

原因: データベースに接続できません。

処置: 「再試行」ボタンを押して、再接続してください。

VMS-01014: SYS.DBA_WAITERS および SYS.PLAN_TABLE がアクセス可能かどうか検証できません。アクセス可能と仮定しています。

原因: SYS.DBA_WAITERS および SYS.PLAN_TABLE がアクセス可能かどうかを確認できません。

処置: なし

VMS-01015: パブリック・シノニム V\$ROLLNAME にアクセスできません。ロック情報を表示できません。

原因: v\$rollname パブリック・シノニムにアクセスできません。存在していないか、アクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-01016: パブリック・シノニム AUDIT_ACTIONS にアクセスできません。セッション・コマンドを表示できません。

原因: audit_actions パブリック・シノニムにアクセスできません。存在していないか、アクセス許可がない可能性があります。

処置: システム管理者に依頼して、スクリプト CATALOG.SQL を実行してください。

VMS-02000 ~ VMS-02009: 情報メッセージ

VMS-02000: 問合せによって行は戻されませんでした。

原因: 問合せを実行しても、行が戻されませんでした。

処置: なし

VMS-02001: 使用可能なデータはありません。

原因: 問合せでデータが戻されませんでした。

処置: なし

VMS-02002: 「名前」フィールドに入力する必要があります。

原因: 「名前」フィールドの妥当性チェックに失敗しました。

処置: 適切なフィールドに名前を入力してください。

VMS-02003: 「パスワード」フィールドに入力する必要があります。

原因: 「パスワード」フィールドの妥当性チェックに失敗しました。

処置: 適切なフィールドにパスワードを入力してください。

VMS-02004: 非 DML コマンドの場合は、EXPLAIN PLAN を実行できません。

原因: Explain plans は、SELECT、UPDATE および DELETE コマンドの場合のみ表示できます。

処置: なし

VMS-02005: Oracle TopSessions をクローズしますか。

原因: 本当に TopSessions アプリケーションをクローズするのかを確認しています。

処置: 終了するには「はい」を、続行するには「いいえ」を押してください。

VMS-02006: このセッションを切断すると、データは消えてしまいます。データベースを切断しますか。

原因: 本当にデータベース接続を変更するのかを確認しています。

処置: 変更するには「はい」を押してください。

VMS-02007: このセッションを削除しますか?

原因: 本当にこのセッションを中断するのかを確認しています。

処置: 中断するには「はい」を押してください。

VMS-02008: データベースに接続し、操作を再試行してください。

原因: データベースに接続されません。

処置: データベースに接続し、操作を再試行してください。

VMS-02009: セッション更新間隔を大きくして、適切な間隔にしてください。

原因: 自動セッション・リフレッシュ間隔が短すぎます。

処置: セッション・リフレッシュ間隔を長く設定してください。

Oracle Tablespace Manager メッセージ

VMT-00000 ~ VMT-00999: エラー・メッセージ

VMT-00401: セグメントが選択されていません。セグメントを選択し、再試行してください。

原因： 断片化を解消する表セグメントを最初に選択せずに、断片化の解消ジョブを開始しました。

処置： セグメント・ページのセグメント・リストからセグメントを選択し、再試行してください。

VMT-00402: ファイル <名前> をオープンできません。

原因： おそらくサブディレクトリが存在しないため、出力ファイルがオープンできませんでした。

処置： サブディレクトリが存在し、指定されたファイルが書き込み可能であることを確認してください。

VMT-00403: オートメーション・コールがエラーを返しました。<数字 コード: メッセージ>

原因： これはジョブの送信中に生成される一般的なジョブ制御エラーです。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMT-00404: ジョブを発行するには、Oracle Enterprise Manager コンソールが実行されている必要があります。

原因： Oracle Enterprise Manager コンソールの起動前にジョブを発行しようとしました。

処置： Oracle Enterprise Manager コンソールを起動し、そのジョブを再発行してください。

VMT-00405: 内部エラー： ジョブ・タスクから IDispatch が取得できません。

原因： ジョブ・タスクのディスパッチ・インターフェースは使用できません。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VMT-00406: ジョブを発行する前にサービス名を定義する必要があります。

原因： サービス名がログイン・ダイアログ・ボックスに定義されていません。

処置： データベースに再接続し、有効なサービス名を指定してください。

VMT-00407: ジョブ名を入力してください。

原因： ジョブ名が入力されていないか、正しく入力されていません。

処置： ジョブ名を正しく入力してください。

VMT-00408: 正の整数を入力してください。

原因： 入力する値は、正の整数でなければなりません。

処置： 正の整数を入力してください。

VMT-00409: 非負整数を入力してください。

原因： 入力する値は、非負整数でなければなりません。

処置： 非負整数を入力してください。

VMT-00410: 1 ~ 99 の整数值を入力してください。

原因： 入力する値は、1 ~ 99 の整数值でなければなりません。

処置： 1 ~ 99 の整数值を入力してください。

VMT-00411: 2 から MAXTRANSまでの値を入力してください。

原因： 入力する値は、2 より大きく MAXTRANS より小さくなければなりません。

処置： 2 より大きく MAXTRANS より小さい値を入力してください。

VMT-00412: 2 から MAXTRANSまでの値を入力してください。

原因： 入力する値は、1 より大きく MAXTRANS より小さくなければなりません。

処置： 1 より大きく MAXTRANS より小さい値を入力してください。

VMT-10000 ~ VMT-10099: 情報メッセージ

VMT-10001: DTB_nnnn

原因： このメッセージは、断片化解消ジョブ番号を示しています。「最適化」プロパティ・シートの「継続」をクリックすると、このメッセージが表示されます。

処置： Oracle Enterprise Manager ジョブ・システムを使用してこのジョブを実行に送る際は、この番号を使用してください。

VMT-10016: TSO_nnnn

原因： このメッセージは、断片化解消ジョブ番号を示しています。「最適化」プロパティ・シートの「継続」をクリックすると、このメッセージが表示されます。

処置: Oracle Enterprise Manager ジョブ・システムを使用してこのジョブを実行に送る際は、この番号を使用してください。

VMT-10017: TSA_nnnn

原因: このメッセージは、Analyzer ジョブ番号を示しています。

処置: Oracle Enterprise Manager ジョブ・システムを使用してこのジョブを実行に送る際は、この番号を使用してください。

12

エージェント・ゲートウェイ・メッセージ

VNI-2000 ~ VNI-4999 のメッセージ

VNI-2001: 待ち行列処理機能のエラー

原因: エージェントが、ジョブ・キュー・ファイルからのジョブ・データにアクセスできませんでした。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-2002: ファイル操作エラー

原因: エージェントが、次のいずれかのファイルにアクセスできませんでした。ジョブ・キュー、ジョブ状態、ジョブ出力、ジョブ入力パラメータ・ファイル、ジョブ・スクリプト・ファイル。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-2003: メモリー・マネージャ・エラー

原因: エージェントは、ジョブを完了するために必要なメモリを割り当てられませんでした。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-2006: ジョブが見つかりません。

原因: エージェントは、指定されたジョブ ID を検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、エージェントのキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-2007: Tcl スクリプトが見つかりません

原因: エージェントは、ジョブを実行するために必要なスクリプトを検出できませんでした。発行されたジョブが、エージェント・マシンに常駐している Tcl スクリプトを参照しており、そのスクリプトが使用できない可能性があります。

処置： ターゲット・マシンのエージェントが正しくインストールされていることを確認してください。

VNI-2008: 必須入力が欠落しています

原因： ジョブのスクリプト・パラメータが欠落しています。

処置： 必要なパラメータをすべて入力してジョブを発行してください。

VNI-2009: ジョブ・タスク・パラメータの合計が長すぎます

原因： ジョブ・タスク・パラメータを合計した長さが長すぎます。

処置： 次の制約を満たすように、パラメータを修正してください。

- ユーザー名およびパスワード・パラメータの長さは、半角英数字で 30 字未満
- ターゲット名の長さは、半角英数字で 80 字未満
- スケジュール文字列の長さは、半角英数字で 256 字未満
- ジョブ引数の全体の長さは、半角英数字で 1024 字未満

VNI-2010: スケジュール・エラー

原因： 発生しないはずのエラーが発生しました。

処置： 「ジョブ」プロパティ・シート「スケジュール」ページの各パラメータをチェックしてください。

VNI-2011: 入力ファイルの最大数を超えていません

原因： ジョブに対する入力ファイルの数が 5 を超えています。

処置： 入力ファイルの数を 5 以下にしてジョブを発行してください。

VNI-2012: そのようなユーザーは存在しません

原因： エージェントは、指定されたジョブ ID に対するリポジトリを検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、エージェントのキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-2013: 未処理の Tcl が存在し、割込みはできません

原因： 実行中のジョブは削除できません。

処置： ジョブの削除は、実行の完了後に行ってください。

VNI-2015: 認証エラー

原因： ターゲット・ノードについて設定された、オペレーティング・システムのユーザー設定リストが正しくありませんでした。エージェントは、この情報を検証および使用してジョブを実行します。

処置：「管理者作業環境」プロパティ・シートの「優先接続情報リスト」ページで、ターゲット・ノードについて、オペレーティング・システムのユーザー設定リストを正しく設定してください。

VNI-2016: ジョブのフォークに失敗しました。

原因：エージェントは、ジョブを実行するためのオペレーティング・システム・プロセスを作成できませんでした。

処置：「管理者作業環境」プロパティ・シートの「優先接続情報リスト」ページで、ターゲット・ノードについて、オペレーティング・システムのユーザー設定リストを正しく設定してください。エージェントのマシンで実行中のプロセス数をチェックしてください。オペレーティング・システムによっては、プロセス数が制限されている場合があります。

VNI-3001: 待ち行列処理機能のエラー

原因：エージェントが、イベント登録キュー・ファイルからのイベント・データにアクセスできませんでした。

処置：カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3002: イベント・テストの登録に失敗しました。

原因：エージェントは、登録キュー・ファイルにアクセスできませんでした。

処置：カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3003: メモリー・マネージャ・エラー

原因：登録またはイベント通知報告の際に、エージェントは必要なメモリーを割り当てられませんでした。

処置：カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3004: Tcl エラー

原因：登録と、その後のスケジュール済み評価においてイベント Tcl スクリプトを評価した際に、エージェントが Tcl スクリプト・エラーを検出しました。

処置：イベント・テスト・パラメータの設定が正しいこと、エージェントが正しくインストールされていることを確認してください。

VNI-3005: イベントが一意ではありません。

原因：パラメータ値が等しい同一のイベント・テストを 2 つ持つイベントが登録されているか、または Oracle Management Server リポジトリがエージェントのキュー・ファイルと同期していません。

処置：パラメータのセットを変えて、イベントを再登録してください。

VNI-3006: イベントが見つかりません

原因： エージェントは、指定されたイベント ID を検出できませんでした。Oracle Management Server リポジトリが、エージェントのキュー・ファイルと同期していない可能性があります。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3007: Tcl スクリプトが見つかりません

原因： エージェントが、イベントのスクリプトを検出できませんでした。エージェント・マシンに常駐するイベント Tcl スクリプトが、誤って削除された可能性があります。

処置： インテリジェント・エージェントを再インストールし、システム上ですべてのイベント・ファイルが用意されていることを確認してください。これに失敗した場合は、カスタマ・サポートに問い合わせてください。

VNI-3008: 必須入力が欠落しています

原因： イベントを識別する所定のパラメータが欠落しています。

処置： 指摘されたパラメータの値を入力してからイベントを登録してください。

VNI-3009: 最大文字列長を越えています。

原因： 文字列の最大長を超えています。

処置： 次の制約を満たすように、パラメータを修正してください。

- イベント名の長さは、半角英数字で 80 字未満
- ターゲット名の長さは、半角英数字で 80 字未満
- イベント引数の全体の長さは、半角英数字で 80 字以内

VNI-3011: ユーザー表にユーザーが見つかりません

原因： Oracle Management Server リポジトリが、エージェントのキュー・ファイルと同期していません。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3012: 修正ジョブ登録がすでに存在しています

原因： 登録された 2 つのイベントには、パラメータ値と頻度が等しく、修正フラグの付いた同一のイベント・テストがあります。このイベントは同一のユーザーによって、または 2 人のユーザーによって登録されました。

処置： ジョブが一意になるように、パラメータ値を微修正してください。

VNI-3013: 修正要求が出されました but、ジョブはスケジュールされていません

原因： ジョブとイベント・キューの状態が一致していません。エージェントの異常終了が原因かもしれません。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-3014: 間隔が短かすぎます

原因: イベントの頻度パラメータが、30秒より小さくなっています。

処置: 頻度パラメータを30秒より大きく設定してください。

VNI-3015: 接続に失敗しました。

原因: ゲートウェイとエージェントの間のRPC接続が正しくないか、またはエージェントが停止している可能性があります。

処置: エージェントを再起動してください。

VNI-4001: ローカル・ホストIPアドレスの解決に失敗しました

原因: エージェント・ゲートウェイは、そのマシンのTCP/IPホスト名を取得できませんでした。

処置: TCP/IP構成をチェックして、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4002: 不明ゲートウェイの例外

原因: 何らかの異常な状態によるエラーです。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4009: 宛先に接続できませんでした。

原因: ゲートウェイとエージェントの間のRPC接続が正しくないか、またはエージェントが停止しています。

処置: エージェントを再起動してください。エージェントがすでに起動している場合は、停止してから再起動してください。

VNI-4016: 無効な修正ジョブID

原因: Oracle Management Serverリポジトリが、エージェントのキュー・ファイルと同期していません。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4017: 不正なvniコントローラの指示

原因: 発行しようとするジョブまたはイベントのタスク従属構造が無効です。ジョブまたはイベントは壊れている可能性があります。

処置: ジョブまたはイベントを削除し、再度作成してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4018: アダプタへの無効な入力

原因: 発行しようとするジョブまたはイベントのタスク従属構造が無効です。ジョブまたはイベントは壊れている可能性があります。

処置: ジョブまたはイベントを削除し、再度作成してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4019: 使用可能な接続スロットが空いていません

原因: ゲートウェイのエージェントへの RPC 接続プールは、消耗しています。

処置: Oracle Management Server の数を増やしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4021: 認識されていないスケジュール詳細クラスがトークンにあります。

原因: ジョブのスケジュール・パラメータが正しくありません。

処置: 「ジョブ」プロパティ・シート「スケジュール」ページの各パラメータをチェックしてください。

VNI-4022: V1 のスケジュール文字列が正しくありません。

原因: ジョブのスケジュール・パラメータが正しくありません。

処置: 正しいスケジュール文字列を設定してジョブを発行してください。

VNI-4023: 持続的な記憶領域 (DB) 操作に失敗しました

原因: ゲートウェイが、そのリポジトリ内のイベント状態を更新できませんでした。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4025: タスクから出力が返されませんでした

原因: 発行したジョブは、出力をまったく持たないか、または実行中に壊れた可能性があります。

処置: ジョブに出力がある場合は、ジョブ・スクリプトをチェックしてそれが正しいことを確認し、再発行してください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4026: 検出が失敗しました

原因: Oracle Management Server を起動したユーザーが、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書き込み許可を持っていない可能性があります。ゲートウェイでは、検索プロセスで一時ディレクトリを使用します。

処置: Oracle Management Server を起動したユーザーに、Oracle Enterprise Manager の一時ディレクトリへの書き込み許可を付与してください。一時ディレクトリは、\$ORACLE_HOME/sysman/temp にあります。

VNI-4027: 同報通信タスクのための受信側パラメータは、このエージェントではサポートされません

原因: 「受信者」パラメータに非 NULL 値を持つ配布ジョブが、エージェントに発行されました。エージェントでは「受信者」フィールドはサポートされていません。

処置: エージェントに対しては、「受信者」フィールドに値を入力せずにジョブを発行してください。

VNI-4028: ゲートウェイ・レジストリへのアクセス中のエラー

原因: Oracle Management Server のリポジトリへの接続が失われました。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4029: 無効なタスク名: <タスク名>

原因: ジョブ・タスクおよびイベント・テストを識別する際に、Oracle Management Server またはエージェント・ゲートウェイで、存在しないタスク名が内部的に使用されました。タスク名が NULL であるか、またはレジストリに保持されている有効タスクのリスト内に見つかりませんでした。Oracle Management Server、エージェント・ゲートウェイ、またはインストールに問題があるためのエラーです。

処置: Oracle Enterprise Manager が正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4030: 無効なタスク: <タスク名>

原因: タスクでは、oracle.sysman.emSDK.common.tasks.V1TestTranslator インタフェースはインプリメントされません。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4031: 無効なリスナー名

原因: 発行したリスナー・ジョブまたはリスナー・イベントについて、有効なリスナー名が生成されませんでした。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4032: エージェントのロック中のエラー

原因: Oracle Management Server リポジトリ表をロックする際にエラーが発生しました。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4033: リポジトリへのアクセス中のエラー

原因: Oracle Management Server リポジトリにアクセスできません。

処置: Oracle Management Server のスキーマが格納されているリポジトリの状態をチェックしてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VNI-4034: 重複したイベント・テストは許可されません。重複したイベント・テストがあります。

原因: 発行されたイベントには、重複する 2 つのイベント・テストがあります。

処置: イベントを編集して、重複するイベント・テストを削除してください。

VNI-4035: イベント・テストは、同じターゲットに対し EM ユーザーによってすでに登録されています。

原因: 類似のイベント・テストが、同じターゲットにすでに発行されています。

処置: すでに登録されているイベントを登録解除してから、新規のイベントを登録してください。

VNI-4036: イベント・テストは、同じターゲットに対する同じパラメータ値で EM ユーザーによってすでに登録されています。

原因: 同じ引数を持つイベント・テストが、このターゲットにすでに発行されています。

処置: すでに登録されているイベントを登録解除してから、新規のイベントを登録してください。

13

コンソール・メッセージ

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因とお薦めする解決方法を説明します。

メッセージ	参照ページ
VTC-1000 ~ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ	13-1
VTCE-1232 ~ VTCE-1237: イベント管理メッセージ	13-4
VTCV-1343 ~ VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ	13-5
VTCX-1337 ~ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理 メッセージ	13-5

VTC-1000 ~ VTC-1127: 一般的なコンソールのメッセージ

VTC-1000: 管理者を編集する際にエラーが発生しました。

原因: 管理者が存在しなくなったか、または Oracle Management Server が使用できなくなりました。

処置: 「管理者の管理」ダイアログを開じてから、再度オープンしてください。Oracle Management Server が停止している場合は、再起動して、Oracle Management Server (またはリポジトリを共有する別のサーバー) に再度ログインしてください。

VTC-1001: この操作に必要なアクセス権限がありません

原因: 実行しようとしたタスクに関しては、適切な権限を付与されていません。

処置: このタスクを実行するには、すべての権限を付与されて操作の所有者となるか、またはスーパー管理者となる必要があります。

VTC-1002: 有効なユーザー名を入力してください

原因: ユーザー名が無効か、または入力されていません。

処置: 有効なユーザー名を入力してください。

VTC-1003: 有効なパスワード名を入力してください

原因: パスワードが無効か、または入力されていません。

処置: 有効なパスワードを入力してください。

VTC-1004: パスワードの確認に失敗しました

原因: 「パスワードの確認」フィールドのパスワードが、パスワードと異なります。

処置: 両方に同じパスワードを入力してください。

VTC-1005: <名前>という名前の管理者はすでに存在します。一意の名前を選択してください。

原因: 指定した管理者名は、他の管理者によって使用されています。

処置: 管理者に別の名前を指定してください。

VTC-1006: 管理者作成中のエラー

原因: 「バンド外」の例外が発生しました。これらは、たとえば Oracle Management Server の停止など、コンソールを超えた例外です。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTC-1007: この管理者は、現在、Oracle Enterprise Manager にログインしています。アクティブな管理者は削除できません。

原因: まだシステムにログインしている管理者を削除しようとしました。

処置: 削除を試行する前に、削除する管理者がシステムからログアウトしたことを確認してください。

VTC-1008: ティッカー・アプリケーションの起動に失敗しました

原因: イベント・ティッカーの起動中に、「バンド外」の例外が発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTC-1009: 行った変更はすべて失われます。続行しますか

原因: 作成中のジョブまたはイベントの宛先を変更しました。宛先を変更すると、行った変更がすべて失われます。

処置: 初めから変更し直すには「OK」を、作業内容を保持するには「取消」をクリックしてください。

VTC-1011: ネットワーク・サービスを削除する際にエラーが発生しました。問題をすべて検証し、解決してから、サービス削除を再試行してください。

原因: Oracle Enterprise Manager コンソールから、データベース、リスナー、ノード、または検出されたその他のサービスを削除する際に、エラーが発生しました。エラーの詳細は、このメッセージに付記されています。

処置: サービスの削除を再試行するなど、修正処理を行ってください。

VTC-1016: ジョブまたはイベント・サブシステムへのアクセスを取り消せません。

原因: ジョブまたはイベント・サブシステムへのアクセスの取消しに失敗しました。

処置: 失敗の詳細を検証して、修正処理を行ってください。

VTC-1017: イベント・サブシステムへのアクセスは {0} によって取り消されました。

原因: このユーザーによるイベント・サブシステムへのアクセスを、スーパーユーザーが取り消しました。イベントを登録および表示する権限が取り消されています。

処置: 適切と思われる場合、アクセスを取り消した管理者、または他のスーパーユーザーは、再度アクセス権を付与できます。必要であれば、これらのユーザーに問い合わせて取消しを修正してください。

VTC-1018: ジョブ・サブシステムへのアクセスは {0} によって取り消されました。

原因: このユーザーによるジョブ・サブシステムへのアクセスを、スーパーユーザーが取り消しました。ジョブを発行および表示する権限が取り消されています。

処置: 適切と思われる場合、アクセスを取り消した管理者、または他のスーパーユーザーは、再度アクセス権を付与できます。必要であれば、これらのユーザーに問い合わせて取消しを修正してください。

VTC-1118: 何も選択されていません。適切な項目を選択してからコマンドを起動してください。

原因: 画面でリフレッシュが発生し、それ以前の選択はリフレッシュ・データのために失われました。

処置: データを再選択してください。

VTC-1119: 適切な項目を選択してからコマンドを起動してください。

原因: 現在の選択内容が、選択したメニュー・オプションと対応していません。

処置: 項目を選び直してから、再度メニューを選択してください。

VTC-1120: このコマンドでは複数の項目を選択できません。項目を 1 つだけ選択してください。

原因: 1 項目しか選択できないコマンドを適用しようとした。

処置: 1 項目だけ選択してから、このコマンドを適用してください。

VTC-1123: グループ・オブジェクトを初期化できませんでした。

原因: コンソールで、表示するグループの初期化が試行されました。Oracle Management Server またはネットワークが停止しています。

処置: 操作を再試行し、グループ・ウィンドウをクローズしてから、再度オープンしてください。

VTC-1124: グループ・オブジェクトを削除できませんでした。

原因: 削除できないグループを削除しようとした。

処置： オブジェクトを削除する適切な権限がありません。このタスクを実行するには、すべての権限が必要です。また、削除しようとしたグループが存在しない可能性もあります。

VTC-1125: ノードを拡張できません。データベースが起動中の場合だけ、データベース管理オブジェクトを表示するためにデータベース・ノードを拡張できます。

原因： ノード上のデータベースが停止しています。ノードには1つのデータベースしかないので、ノードを拡張してデータベース管理オブジェクトを表示することはできません。

処置： データベースが起動していることを確認してから、操作を実行してください。

VTC-1126: バックグラウンド・イメージ・ファイルが見つかりませんでした。

原因： グループの作成中に、フィールド・ボックスで指定された.gifファイルが見つからなかったか、またはファイル名の大文字小文字が正しくありませんでした。(バックグラウンド・イメージ・ファイル名では、大文字小文字が区別されます。)

処置： バックグラウンド・イメージをすべて

SORACLE_HOME/classes/oracle/sysman/resources/images のディレクトリに置き、ファイル名を正しく指定してください。

VTC-1127: 権限が不十分なため、この操作を実行できません。

原因： オブジェクト削除の権限を含む「すべて」の権限を持たずに、操作を実行しようとしました。

処置： このタスクを実行するためには、「すべて」の権限を取得してください。

VTCE-1232 ~ VTCE-1237: イベント管理メッセージ

VTCE-1232: 「一般」ページ： イベント名が未指定です。

原因： 名前を割り当てずにイベントを発行しようとしました。

処置： 名前を指定してからイベントを発行してください。

VTCE-1233: 「一般」ページ： イベントにはターゲット・リストが必要です

原因： イベントが登録される先のターゲットを指定せずに、イベントを発行しようとしました。

処置： 1つ以上のターゲットをイベントに指定するか、またはイベントをイベント履歴に保存してください。

VTCE-1234: 権限が不適切なため、要求された操作は実行できません

原因： 実行しようとした操作に関して、適切な権限を付与されていません。

処置： コマンドに対する適切な権限を付与されていることを確認してください。

VTCE-1235: この名前による操作はすでに登録済みです。同じ名前で別の操作は登録できません。

原因: 既存のオブジェクトと同じ名前でオブジェクトを登録しようとしました。
Oracle Enterprise Manager では、複数のオブジェクトが同じ名前を持つことはできません。

処置: 登録しようとするオブジェクトに、別の名前を指定してください。

VTCE-1236: イベント頻度が 60 秒 ~ 24 時間の範囲外です。60 秒以上または 24 時間未満に指定してください。

原因: 作成しようとするイベントの頻度（システムがイベントの発生をテストする回数）が、60 秒未満または 24 時間以上です。

処置: イベントの頻度は 60 秒以上、24 時間未満で指定してください。

VTCE-1237: このイベントに関連付けられた修正ジョブは、もう有効ではありません。その修正ジョブが存在しないか、またはその修正ジョブに関連付けられたターゲットが変更されています。デフォルトをなしに設定してください。

原因: 修正ジョブが無効なライブラリ・イベントを編集しようとしました。修正ジョブが削除された（自分または他のユーザーによって）か、または修正ジョブを発行した先のターゲットが変更されたために、修正ジョブは無効になっています。

処置: 修正ジョブを変更してイベントを編集してください。

VTCV-1343 ~ VTCV-1344: ユーザー管理コンポーネント・メッセージ

VTCV-1343: 管理者情報の取り出し中にエラーが発生しました

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または管理者が削除されました。

処置: 操作を再試行してください。

VTCV-1344: 管理者 {0} が見つかりません。

原因: Oracle Management Server が停止しているか、または管理者が削除されました。

処置: 操作を再試行してください。

VTCX-1337 ~ VTCX-1350: ジョブおよびイベント管理 メッセージ

VTCX-1337: 発行操作は、空の宛先リストや不完全なパラメータでは実行できません。かわりにライブラリを保存してください。

原因: 発行しようとするイベントは、宛先が指定されていないか、または必要なパラメータが指定されていません。

処置：宛先と、必要なすべてのパラメータが指定されているかどうか確認してください。

VTCX-1338: 操作が不完全です。編集しますか。

原因：ライブラリから、不完全な操作を発行しようとしました。

処置：ジョブまたはイベントに、必要項目をすべて指定してから発行してください。

VTCX-1339: 宛先が見つかりませんでした。宛先を見つけてからジョブまたはイベントを作成してください。

原因：宛先のないジョブまたはイベントを発行しようとしました。

処置：少なくとも1つのノードを指定してから、ジョブまたはイベントを発行してください。

VTCX-1340: 操作に失敗しました。オブジェクトが使用不能か、破壊されています。

原因：ジョブまたはイベントを編集または表示している際に、コンソールで再構成しようとしたジョブ・タスクまたはイベント・テストのデータが壊れています。

処置：インストールを確認してください。

VTCX-1341: Oracle Management Server は使用不能です。アプリケーションを再起動して操作を再試行してください。

原因：Oracle Management Server が停止しているか、または Oracle Management Server とアプリケーションとの間の接続に失敗しました。

処置：Oracle Management Server およびネットワークの状態を確認してください。

VTCX-1342: ターゲット・タイプが無効です

原因：現在のジョブ / イベントまたはテスト / タスクに、無効なターゲット・タイプが指定されました。

処置：特定のジョブ / イベントまたはテスト / タスクは、特定タイプのターゲットにしか発行できないため、適切なターゲット・タイプを選択する必要があります。

VTCX-1346: 発行操作は、空の宛先リストでは実行できません。かわりにライブラリを保存してください。

原因：実行しようとした発行操作が不完全です。

処置：発行操作に完全な詳細を指定するか、またはライブラリに保存してください。

VTCX-1347: 発行操作は、不完全なタスクのパラメータでは実行できません。かわりにライブラリを保存してください。

原因：発行しようとしたタスクが不完全です。

処置：タスクに完全な詳細を指定するか、またはライブラリに保存してください。

VTCX-1348: メモリー不足エラー： 現在のテキスト領域に出力を表示できません。出力が大きすぎます。

原因： ジョブによって、出力が大きくなっています。コンソールのメモリー状態のために、ジョブ出力はテキスト領域にロードできませんでした。

処置： なし

VTCX-1350: 最後の項目にアクセス中に回復不能なエラーが発生しました。このダイアログを取り消して操作を再試行することをお薦めします。

原因： ジョブ / イベントの「パラメータ」ページでのタスク / テストの選択は変更されました。現選択内容がありません。

処置： ダイアログをクローズして、操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご報告ください。

14

Oracle Data Gatherer メッセージ (クライアント層)

VTD-0001 ~ VTD-0094 のメッセージ

VTD-0001: ファイルのトレース中にエラーが発生しました。

原因： トレース情報をファイルに書き込もうとした際に、Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0002: トレース中のエラー： <文字列>

原因： トレース出力を生成しようとした際に、Data Gatherer クライアントでエラーが発生しました。発生した例外は、エラー・メッセージとあわせて表示されます。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0003: ローカル・ホスト取得中のエラー： <文字列>

原因： ローカル・ホスト名を識別しようとした際に、Data Gatherer クライアントで指定のエラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0005: Data Gatherer への接続に失敗しました。

原因： Data Gatherer クライアントが、Data Gatherer サーバーへの接続に失敗しました。このエラーにはふつう、接続失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置： 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0006: Data Gatherer からのデータ読み込み中にエラーが発生しました。

原因： Data Gatherer サーバーに接続されたソケットでの読み込み操作中に、Data Gatherer クライアントで例外が発生しました。このエラーにはふつう、失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置： 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0023: 操作エラー； Data Gatherer に接続されていません。

原因： Data Gatherer クライアントが、Data Gatherer サーバーへ要求を送信しようとしました際に、エラーが発生しました。このエラーにはふつう、失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置： 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0028: 接続できません。Data Gatherer サーバーは他のクライアントにより使われています。

原因： Data Gatherer サーバーへの接続を試行しましたが、サーバーは現在、1 クライアントからの要求のみ処理しています。これは通常、Capacity Planner クライアントが接続を試行している場合に限られます。

処置： 現在接続しているクライアントが接続を切断するまで待ってから、操作を再試行してください。

VTD-0030: Data Gatherer の通信にエラーがあります。

原因： Data Gatherer サーバーへ要求を送信しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーにはふつう、失敗の原因を示す補足のエラーが伴います。

処置： 補足のエラーを確認してください。補足エラーの表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0039: 指定したスキーマは Capacity Planner データベースではありません。

原因： Capacity Planner データベースへの接続を試行し、データベース接続には成功しました。しかし接続したスキーマには、Capacity Planner データベースと特定できる表がありません。これらの表は、収集されたデータの最初のロード時に、Data Gatherer サーバーによって動的に作成されます。

処置： Loader オプションで、指定したスキーマが履歴データベースのリポジトリであると識別された場合は、Loader が初めて実行されるのを待ってから、このデータにアクセスを試行してください。

VTD-0044: 設定リスト取得中のエラー： <文字列>

原因： Oracle Enterprise Manager コンソールから、選択したターゲットのログイン設定リストを取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 詳細は、補足エラーを確認してください。

VTD-0046: 記録開始中のエラー：

原因： 現在のグラフの記録を開始しようとしてエラーが発生しました。このエラーは通常、関連する他のエラーを伴って表示されます。

処置： 関連エラーを確認してください。関連エラーが表示されない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0048: プレイバックにファイルが指定されていません。

原因： 記録されたグラフをプレイバックしようとした際に、その記録のバイナリ・データを含むファイルが見つかりませんでした。

処置： この記録は再生できません。

VTD-0049: プレイバック初期化中のエラー： <文字列>

原因： グラフの記録をプレイバックしようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、関連する他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0052: プレイバック・ファイル<文字列>をリセットできませんでした。

原因： プレイバック・ファイルのリセット操作が失敗しました。

処置： 操作を再試行してください。

VTD-0053: ヘルプ・ブック<文字列>をオープンできません。

原因： このアプリケーションのオンライン・ヘルプ・ファイルにアクセスしようとし、エラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0054: ヘルプ取得中のエラー

原因： オンライン・ヘルプを検索しようとしてエラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0055: ヘルプを使用できません。ヘルプ・サブシステムを初期化できません。

原因： ヘルプのサブシステムを初期化しようとしてエラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0057: リポジトリ接続中のエラー。<文字列>

原因： Oracle Enterprise Manager リポジトリまたは Oracle Management Server (あるいは、その両方)への接続を試行した際に、エラーが発生しました。このエラーには、関連する他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0058: リポジトリ・ベースの操作は使用不能です。

原因: Oracle Enterprise Manager リポジトリまたは Oracle Management Server (あるいは、その両方)への接続を確立せずに、アプリケーションを起動しようとした。このモードの操作はサポートされていますが、リポジトリ・ベースの操作はできません。これには、ユーザー定義グラフや記録を保存する操作などがあります。

処置: なし

VTD-0059: リポジトリの有効性検査ができません。

原因: ユーザーが接続したリポジトリが、有効な Oracle Enterprise Manager リポジトリであること、およびアプリケーションのバージョンと互換性のあるバージョンであることを検証しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0061: エラー: ログインに対する設定リストが指定されていません。

原因: リポジトリ・ログインのダイアログに、設定リストが何も指定されていません。

処置: 設定リストを指定してください。

VTD-0073: サービス・タイプ取得中のエラー: <文字列>

原因: Oracle Management Server からサービスのリストを取得しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置: 他のエラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートに連絡してください。

VTD-0074: Data Gatherer 接続の待機中タイムアウトです。

原因: 指定されたタイムアウト時間内に、Data Gatherer サーバーへの接続を確立できませんでした。

処置: Data Gatherer が起動していることを確認して、操作を再試行してください。

VTD-0075: サービス <文字列> の Capacity Planner 接続は、ホスト <文字列> ではすでに クライアント・ホスト <文字列> によって使われています。

原因: Data Gatherer サーバーへの接続を試行しましたが、他のクライアントがすでに、履歴収集を設定するために Data Gatherer への接続を確立しています。

処置: 他のクライアントが接続を切断するまで待ってから、接続を再試行してください。

VTD-0076: サービス <文字列> にメッセージを送信できません。サーバー・スレッドは切断されています。<文字列>

原因: Data Gatherer サーバーに要求を送信しようとしましたが、Data Gatherer サーバーとの初期接続が失われています。

処置: 操作を再試行してください。この場合、ターゲットとの接続を切断してから、再接続する必要があるかもしれません。

VTD-0077: Data Gatherer 要求 <文字列> のエラー

原因： 特定の Data Gatherer 要求で、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0078: サービス・ノード取得中のエラー： <文字列>

原因： Oracle Management Server から、サービスが配置されるホストを取得しようとした際に、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。他のエラー表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0079: Data Gatherer からの読み込み中にタイムアウトが発生しました。サービス <文字列> への接続が失われました。

原因： 要求に対応して、タイムアウト時間内に応答がありませんでした。Data Gatherer クライアントでは、Data Gatherer が応答しないと判断して、そのサービスを切断します。

処置： Data Gatherer が起動、実行していることを検証してから、そのサービスの Data Gatherer に再接続して、操作を再試行してください。

VTD-0080: Data Gatherer からの応答読み込み中にエラーが発生しました。サービス <文字列> への接続が失われました。

原因： Data Gatherer からデータの読み込みを試行中に、エラーが発生しました。Data Gatherer クライアントは、そのサービスの Data Gatherer との接続を切断します。

処置： Data Gatherer が起動、実行していることを検証してから、そのサービスの Data Gatherer に再接続して、操作を再試行してください。それでもエラーが解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0082: サービス取得中のエラー： <文字列>

原因： サービスのリストを取り出そうとしてエラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： 関連エラーを確認してください。関連エラーの表示がない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0084: 項目 <文字列> のヘルプは使えません。

原因： 現在選択している項目には、使用できるオンライン・ヘルプがありません。

処置： なし。

VTD-0090: サービス設定リストのクラス <文字列> をロードできません。

原因： 選択したサービスのログイン設定リストを取得する際に使用されるコードを検索しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0091: ターゲット・アイコンとラベル表示のクラス <文字列> をロードできません。

原因： 選択したサービスのアイコンとラベルを取得する際に使用されるコードを検索しようとして、エラーが発生しました。このエラーには通常、他のエラーが伴います。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTD-0093: 無効な管理サーバー設定リストです。

原因： Oracle Management Server へのログイン時に指定されたログイン設定リストが無効なため、ログインを完了できませんでした。

処置： Oracle Management Server が起動しているかどうか、設定リストが正しいかどうかを検証してください。

VTD-0094: クライアント・プロパティ・ファイルからのキー <文字列> の読み込み中にエラーが発生しました。

原因： クライアントのプロパティ・ファイル (vtdclient.properties) から読み込みを試行した際に、エラーが発生しました。このファイルは、ユーザーによって変更または削除できません。

処置： プロパティ・ファイルがアクセス可能であり、変更されていないことを確認してください。

15

Oracle Management Server メッセージ (クライアント層)

VTK-1000 ~ VTK-1999 のメッセージ

VTK-1000: 管理サーバーに接続できません。Oracle Management Server の正しい名前および状態を入力したかどうかを検証してください。

原因： 上に示した Oracle Management Server への接続に失敗しました。

処置： 入力したホスト名が正しいことを確認し、Oracle Management Server の状態を検証してください。

VTK-1001: 管理サーバーのホスト名が正しくありません。正しいホスト名を入力したかどうかを検証してください。

原因： 管理サーバーのホスト名が正しく入力されていません。

処置： 管理サーバーのホスト名を正しく入力したかどうかを検証してください。

VTK-1002: 接続先の Oracle Management Server は、まだ初期化処理中です。完全に起動するまで待ってから、再度ログインを試行してください。

原因： Oracle Management Server の初期化が完了していないため、ログインに失敗しました。

処置： Oracle Management Server が完全に起動するまで待ってから、再度ログインを試行してください。

VTK-1004: クライアント・レジストリ読み込み中のクリティカルエラー。異常終了します。

原因： ClientConfig. プロパティ・ファイルが壊れています。

処置： ファイルを改名してから、ログイン・ダイアログを再起動してください。

VTK-1000 ~ VTK-1999 のメッセージ

16

Oracle Performance Manager メッセージ

VTM-0001 ~ VTM-2001 のメッセージ

VTM-0001: 警告！接続した Data Gatherer は不安定なバージョン <番号> です。最新のバージョンにアップグレードする必要があります。続行しますか。

原因： 接続されている Data Gatherer は、プリリリース・バージョンなので、使用しないでください。

処置： Data Gatherer を更新してください。

VTM-0002: グラフ表示中のエラー

原因： Data Gatherer と対話して、現行のグラフを表示しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 同時に表示されるエラー・テキストに、エラーの詳細が表示されます。

VTM-0003: データ項目が多すぎます。表示されたデータは完了していません。収集されたデータ項目数を少なくするか、またはデータの損失を避けるためにグラフ・タイプを切り替えてください。

原因： 表示用に選択したデータ項目の数が、グラフ作成パッケージでサポートされている数よりも多くなっています。

処置： グラフに組み込むデータ項目の選択数を減らしてください。

VTM-0004: ログイン設定リスト取得中のエラー

原因： Oracle Enterprise Manager コンソールからデータベース・ログイン設定リストを取得しようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0005: サーバー接続中のエラー

原因： 選択したターゲットの Data Gatherer への接続を試行中に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0006: この名前のサービスはすでに存在します。

原因： ナビゲータで新規のサービスを作成しようとしましたが、選択したターゲット・タイプには、指定したサービス名がすでに存在しています。

処置： 既存のサービスを使用するか、または一意の名前になるように新規のサービス名を変更してください。

VTM-0007: このサービス・タイプの収集カートリッジは使用できません

原因： 選択したターゲットの収集データ・モジュールのリストを取得しようとしましたが、ターゲット・サーバー上の Data Gatherer には、そのタイプ用に登録されたモジュールがありません。

処置： なし。ターゲット・サーバー上では、このターゲット・タイプのデータ収集はサポートされていません。

VTM-0008: Oracle Performance Manager の致命的なエラー

原因： 致命的で回復不能なエラーが発生しました。エラー・テキストに、問題の性質が示されています。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0019: ナビゲータ・ノード拡張中のエラー

原因： ナビゲータ内のフォルダの内容を取得しようとして、エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0021: 通常のブレイバックを再開中のエラー

原因： ブレイバックを再開し、記録ファイルからデータの読み込みを続行した際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0023: ユーザー定義グラフ定義中のエラー

原因： ユーザー定義グラフの定義をリポジトリに保存しようとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0028: オブジェクト詳細の取得中のエラー

原因： ナビゲータ内のオブジェクトの定義を、 Data Gather から取得しようとして、 エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が起動され、 アクセス可能であることを確認してから、 操作を再試行してください。 再び操作に失敗した場合は、 カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0032: グラフ記録中のエラー

原因： 記録されているデータを、 記録用のバイナリ・ファイルに書き込もうとして、 エラーが発生しました。 記録は、 このエラーが原因で壊れている可能性があります。

処置： 記録の再生を試行できますが、 削除しなければならない可能性があります。

VTM-0033: 記録停止中のエラー

原因： Data Gatherer と対話して、 アクティブな記録処理を停止しようとした際に、 エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer への接続が失われている場合、 記録は終了しているので処置は不要です。

VTM-0035: グラフ選択中のエラー

原因： 選択したグラフの定義を Data Gatherer から取り出そうとして、 エラーが発生しました。

処置： Data Gatherer が起動され、 アクセス可能であることを確認してから、 操作を再試行してください。 再び操作に失敗した場合は、 カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0036: データ型が不明です。

原因： ユーザー定義スクリプト・コマンドの列のリストを取得中に、 不明またはサポートされないデータ型の列が検出されました。 Oracle Performance Manager でサポートされているのは、 数値、 日付および VARCHAR 列タイプのみです。

処置： なし

VTM-0038: プレイバックをリセット中のエラー

原因： 記録されたファイルのプレイバックを、 ファイルの先頭にリセットしようと/oracleして、 エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。 再び失敗した場合は、 カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0042: マウス・イベント処理中の内部エラー

原因： エラー・テキストに、 問題の性質が示されています。

処置： 操作を再試行してください。 再び失敗した場合は、 カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0043: 表サイズ変更中の内部エラー

原因： エラー・テキストに、問題の性質が示されています。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0044: 内部エラー - NULL データ行を受信しました。

原因： 収集カートリッジから、無効なデータが戻されました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0045: リポジトリ記録削除中のエラー

原因： この記録のリポジトリ内のエントリを削除しようとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0046: リポジトリからの記録取得中のエラー

原因： リポジトリから、記録されているグラフのヘッダーを読み込もうとして、エラーが発生しました。リポジトリが使用不能か、または壊れている可能性があります。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0047: リポジトリからの記録クラス取得中のエラー

原因： リポジトリから、記録されているグラフのヘッダーを読み込もうとして、エラーが発生しました。リポジトリが使用不能か、または壊れている可能性があります。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0048: データ収集開始中のエラー

原因： Data Gatherer と対話して、要求されたデータの収集を開始しようとした際にエラーが発生しました。Data Gatherer がダウンしているか、または Data Gatherer のホストへのネットワーク・パスがない可能性があります。

処置： Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0049: 収集間隔設定中のエラー

原因： 既存の収集間隔を変更しようとしてエラーが発生しました。これは、Data Gatherer がダウンしているか、またはアクセス不可の場合に発生する可能性があります。

処置： Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0050: ドリルダウン・グラフ表示中のエラー

原因: 現行のグラフから、選択したドリルダウンに変更しようとしてエラーが発生しました。これは、グラフ定義を取得しようとした、または Data Gatherer で収集を開始しようとした際のエラーが原因である可能性があります。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。

VTM-0051: 新規データ処理中のエラー

原因: Data Gatherer から受け取ったデータを処理中に、エラーが発生しました。データが壊れているか、または解釈できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0052: <グラフ名> の不正データを受信しました。<データ項目> = <値>

原因: Data Gatherer から受け取ったデータを処理中に、エラーが発生しました。データが壊れているか、または解釈できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0053: エラー - 不正なソート列

原因: 収集カートリッジにより、ソートに使用する列が指定されたが、この列は現行の収集クラスで既知のデータ項目を参照しません。これは、収集カートリッジに関連した内部エラーです。

処置: カートリッジのプロバイダにエラーを報告してください。

VTM-0055: ヘルプ取得中のエラー

原因: Data Gatherer サーバーから項目の詳細説明を取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が起動され、アクセス可能であることを確認してから、操作を再試行してください。再び操作に失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0056: プレイバックのエラー

原因: 記録ファイルからバイナリ・プレイバック・データを読み込もうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0058: 非数値データには関数は適用できません

原因: 数値以外の列に、数学関数を適用しようとしました。

処置: この関数を適用しないか、または数値列を選択してください。

VTM-0059: 非数値データには演算は適用できません

原因: 数値以外の列に、算術演算子を適用しようとしました。

処置: この演算子を適用しないか、または数値列を選択してください。

VTM-0060: グラフ・フォント <フォント名>、サイズ <フォント・サイズ> の作成中にエラーが発生しました

原因: 指定したフォントをグラフ作成パッケージにロードしようとして、内部エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0061: 統計クラス <クラス名> には関連付けられたデータ項目がありません。

原因: 表示用に選択した収集クラスは、対応付けられた収集カートリッジ内にデータ項目を保持するように定義されていません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0062: グラフ <グラフ名> には関連付けられたデータ項目がありません。

原因: 表示用に選択したグラフは、対応付けられた収集カートリッジ内にデータ項目を保持するように定義されていません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0063: Data Gatherer への接続が失われました。サービス <サービス名> に再接続してください。

原因: Data Gatherer サービスが停止した可能性があります。

処置: 必要があれば Data Gatherer サービスを再起動して、サービスに再接続してください。

VTM-0066: ユーザー定義グラフ削除中のエラー

原因: リポジトリからユーザー定義グラフを削除しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0067: コマンド実行中のエラー

原因: ターゲット・サービスに対して、Kill Session などグラフ固有のコマンドの実行を要求したことによるエラーです。

処置: 操作を再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-0068: コマンドが正常に終了しました

原因: Kill Session など、グラフ固有のコマンドが正常に完了しました。

処置: なし

VTM-0069: コマンドが次の状態で終了しました

原因: Kill Session など、グラフ固有のコマンドが完了しました。詳細は、補足の状態テキストで示されます。

処置: コマンドが正常に終了せず、ターゲット・サービスで問題点の修正が必要であるということが、付随する状態テキストに表示された場合は、必要な修正を行ったうえで、コマンドを再実行してください。

VTM-0070: サーバー・コマンド取得中のエラー

原因: ターゲット・サービスから、Kill Session などグラフ固有のコマンドのリストを要求した際に、エラーが発生しました。

処置: Data Gatherer が実行中であることを確認し、必要であれば再接続してください。または、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTM-2000: コマンドはタイムアウト間隔内で完了しませんでした。

原因: ターゲット・サービスに対して、Kill Session などグラフ固有のコマンドの実行が要求されました。指定したタイムアウト時間内にコマンドが完了しなかったため、コマンドが正常に終了したかどうかは不明です。コマンドの状態に関する追加の情報は、取得されるつど表示されます。

処置: なし

VTM-2001: このグラフは表としてのみ表示できます。数値でないデータが含まれていたり、1つのデータ項目しかない場合もあります。

原因: 現在表示されているグラフは、データが数値でないか、またはデータ項目を1つしか持たないユーザー定義グラフであるため、表としてしか表示できません。

処置: グラフとして表示する必要がある場合、数字でない項目があればグラフ定義から数字以外のデータを削除してください。データ項目を1つしか持たないユーザー定義グラフの場合は、データ項目を追加してください。

VTM-0001 ~ VTM-2001 のメッセージ

17

Management Pack メッセージ (クライアント層)

この章では、次の接頭辞が付いたメッセージについて、考えられる原因と解決方法を説明します。

メッセージ	ページ
VTO-1000 ~ VTO-4999: DBA Management Pack の一般的な メッセージ	17-1
VTOG-1000 ~ VTOG-1999: Storage Manager メッセージ	17-4
VTOI-1000 ~ VTOI-1999: Instance Manager メッセージ	17-4
VTOL-1000 ~ VTOL-1999 のメッセージ	17-4
VTOR-1000 ~ VTOR-1999 のメッセージ	17-4
VTOZ-3002 ~ VTOZ-9010: Change Management Pack メッセージ	17-5

VTO-1000 ~ VTO-4999: DBA Management Pack の一般的な メッセージ

VTO-1000: オブジェクトを初期化できません。

原因: 「類似作成」されるオブジェクトが NULL です。

処置: 操作を再試行してください。

VTO-1001: サーバー・オブジェクトが正常に初期化できませんでした。必要な初期化レベル: {0}

原因: サーバー・オブジェクトの必要な初期化が、ある時点で失敗しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTO-1002: サーバー・オブジェクトをインスタンシエートできませんでした。

原因: サーバー・オブジェクトをインスタンス化する際に、CORBA 例外、データベースでのエラー、またはサーバー側の Java 例外が発生した可能性があります。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTO-1003: 予期せぬ内部エラーが発生しました。

原因: 通常の状態では発生しないはずのエラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTO-2000: この操作により、{0} ダイアログ・ボックスで処理中の作業は中断されます。

続行する前に変更を適用してもいいですか。

原因: ユーザーの試行した操作により、確定前の変更が中断されました。

処置: 変更を適用して続行する場合は「はい」を、変更を適用せずに続行する場合は「いいえ」を、操作を取り消す場合は「取消」をクリックしてください。

VTO-2001: 警告! 初期化工ラーが発生しました。一部のデータが正しく表示されない場合があります。

原因: VTO オブジェクトの初期化にエラーがありました。

処置: なし

VTO-2002: 警告! 初期化工ラーが発生しました。一部のデータが正しく表示されない場合があります。

原因: プロパティ・ページの初期化中にエラーが発生しました。

処置: エラー・メッセージの詳細で、例外をチェックしてください。

VTO-2003: 設定リストの設定が存在しないか、またはこのデータベースに対するユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効です。「優先接続情報リスト」設定で、データベースの設定リストを設定してください。

原因: ユーザーが接続しようとしたこのデータベースには、設定リストが設定されていません。

処置: 「優先接続情報リスト」設定で、データベースの設定リストを設定してください。

VTO-2004: 設定リストの設定が存在しないか、またはこのノードに対するユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効です。「優先接続情報リスト」設定で、ノードの設定リストを設定してください。

原因: ユーザーが接続しようとしたこのノードには、設定リストが設定されていません。

処置: 「優先接続情報リスト」設定で、ノードの設定リストを設定してください。

VTO-2005: 設定リストの設定が存在しないか、またはこのデータベースおよびノードに対するユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効です。「優先接続情報リスト」設定で、データベースおよびノードの設定リストを設定してください。

原因： ユーザーが接続しようとしたこのデータベースおよびノードには、設定リストが設定されていません。

処置： 「優先接続情報リスト」設定で、データベースおよびノードの設定リストを設定してください。

VTO-2006: ウィザードはコンテキストで起動しなければなりません。選択してからウィザードを起動してください。

原因： ウィザードを起動したときに、データベース・オブジェクトが何も選択されていませんでした。

処置： データベース・オブジェクトを選択してから、ウィザードを起動してください。

VTO-2007: Oracle Management Server (OMS) に接続している場合だけウィザードを起動できます。OMS に接続してからウィザードを起動してください。

原因： Oracle Management Server へ接続されていない状態で、ウィザードを起動しました。

処置： Oracle Management Server に接続してからウィザードを起動してください。

VTO-2008: 優先接続情報リストを使ってターゲット・データベースに接続する際に、次のエラーが発生しました。

原因： 優先接続情報リストを使用して、ターゲット・データベースへの接続を確立できませんでした。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTO-4400: データベースが見つかりません。アプリケーションを開始する前に、Enterprise Manager コンソールを使用し、一つ以上のデータベースを検出してください。

原因： コンソールによって、データベースが検出されません。Oracle DBA アプリケーションでは、少なくとも 1 つのデータベースが検出される必要があります。

処置： Enterprise Manager コンソールを使って、少なくとも 1 つのデータベースを検出してから、アプリケーションを起動してください。

VTO-4401: ORACLE は使用できません。

原因： データベースに接続していないか、またはデータベースが停止しています。

処置： データベースへの接続をチェックし、データベースが起動していることを確認してください。

VTOG-1000 ~ VTOG-1999: Storage Manager メッセージ

VTOG-1000: オブジェクトが完全に初期化されていません。

原因: 変更しようとするオブジェクトは、完全には初期化されていません。これはプログラム・エラーです。

処置: プログラムの販売元にお問い合わせください。

VTOI-1000 ~ VTOI-1999: Instance Manager メッセージ

VTOI-1000: StoredConfig の初期化に失敗しました。DBServer により NULL が返されます。

原因: Oracle Management Server で、格納された構成オブジェクトを処理できませんでした。

処置: Oracle Management Server を再起動してください。

VTOL-1000 ~ VTOL-1999 のメッセージ

VTOL-1000: 使用可能なデータベース接続はありません。

原因: データベースへの接続が確立していない、または失われました。

処置: アプリケーションがデータベースに接続されていることを確認してください。

VTOR-1000 ~ VTOR-1999 のメッセージ

VTOR-1000: このデータベースはこのリカバリ・カタログに登録されていません。「OK」を押してリカバリ・カタログにターゲット・データベースを登録するか、または「キャンセル」を押してデータベースの登録先リカバリ・カタログを選択します。

原因: データベースがこのリカバリ・カタログに登録されていません。

処置: メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOR-1001: リカバリ・カタログでは、ターゲット・データベースを一意に識別できません。ターゲット・データベースは「マウント」または「オープン」状態ではないため、リカバリ・カタログには同じデータベース名を持つ複数のエントリがあります。マウントまたはオープンして、「OK」を押します。またはターゲット・データベースをマウントできない場合は、制御ファイルを回復し、ターゲット・データベースをマウントまたはオープンしてから「OK」を押します。

原因: リカバリ・カタログ内のターゲット・データベースを、一意に識別できません。

処置: メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOR-1002: リカバリ・カタログはユーザーのスキーマに存在しません。リカバリ・カタログが存在する別の位置を入力するか、このユーザーのスキーマにリカバリ・カタログを作成します。

原因： ユーザーのスキーマには、リカバリ・カタログがありません。

処置： メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOR-1003: リカバリ・カタログに対してログインが拒否されました。ユーザー名またはパスワードが正しくないか、またはユーザーがリカバリ・カタログに存在しません。
'OK' を押してリカバリ・カタログの設定リストに正しいユーザー名とパスワードを入力するか、またはユーザーを作成してから（たとえば、Security Manager を使って）ユーザーのスキーマにリカバリ・カタログを作成してください。

原因： リカバリ・カタログへのログインが拒否されました。

処置： メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOR-1004: リカバリ・カタログに接続できません。リカバリ・カタログ・データベースがオープンされていません。「キャンセル」を押してから「適用」または「作成」を押してリカバリ・カタログ・データベースをオープンするか、または'OK' を押してリカバリ・カタログの有効性検査を行わずにバックアップ構成を作成します。

原因： リカバリ・カタログ・データベースがオープンされていません。

処置： メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOR-1005: 次のデータベースには、アクティブな定義済み計画がすでにあります：
<データベース>。アクティブな定義済み計画をジョブ制御システムから削除し、新たに作成しますか。

原因： データベースには、アクティブな定義済み計画がすでにあります。

処置： メッセージに表示される指示に従ってください。

VTOZ-3002 ~ VTOZ-9010: Change Management Pack メッセージ

VTOZ-3002: <文字列> のディレクティブ・エディタを起動できません。対応するオブジェクトが計画のソース・データベースに存在しない可能性があります。

原因： ディレクティブ・エディタを起動しようとしてエラーが発生しました。対応するディレクティブ・オブジェクトが、計画のソース・データベース内に存在しない可能性があります。

処置： 対応するディレクティブ・オブジェクトが、計画のソース・データベース内に存在していることを確認してください。

VTOZ-9010: ファイルをオープンする際のエラー

原因： ファイルをオープンする際に、I/O 例外が発生しました。

処置： エラー発生の原因を確定し、問題点を修正してください。

Oracle Capacity Planner メッセージ

VTP-0001 ~ VTP-0110 のメッセージ

VTP-0001: アプリケーション初期化中のエラー: <文字列>

原因: Oracle Capacity Planner アプリケーションを正常に起動できませんでした。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0002: 分析名 <文字列> はすでに使われています。一意の名前を指定してください。

原因: すでに使用中の名前で分析を保存しようとしました。

処置: 一意の新しい名前を入力してください。

VTP-0003: 分析名チェック中のエラー: <文字列>

原因: 分析名が一意かどうかを確認しているときに、Oracle Capacity Planner によって、障害が検出されました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0004: グラフ名を空白にすることはできません。

原因: 名前を指定しないで分析グラフを保存しようとしました。

処置: 有効な一意の分析名を入力してください。

VTP-0006: このサービスとクラスのデータは、すでにこのグラフに存在しています。この選択内容を上書きしますか。

原因: 分析に追加するデータが選択されましたが、選択したクラスのデータはすでにその分析に含まれています。

処置: 既存の選択内容を置換するには「はい」を、そのままにしておく場合は「いいえ」をクリックしてください。

VTP-0007: グラフ更新中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベース内にある分析定義を更新しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0008: 警告、このグラフには表示できないデータが含まれています。

原因： 分析グラフを表示しようとした際に、折れ線グラフでは表示できないデータ (NULL または文字列データ) が検出されました。

処置： なし

VTP-0009: 外挿が再計算されました。

原因： データになんらかの変更があったため、外挿が再計算されたことを示す情報メッセージです。

処置： なし

VTP-0010: グラフ作成中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0011: 現在、50 以上のデータ・セットがあります。グラフを表示する選択条件を少なくしてください。

原因： 分析に組み込むデータを選択しているときに、データ・セットの合計数または分析グラフの行がグラフ作成パッケージの制限の 50 を超えました。

処置： 選択したデータ項目またはデータ・ソースの数を減らしてください。

VTP-0012: このデータ・ソースと項目には除外はありません。

原因： 行のデータ・ポイントの除外を表示しようとしましたが、存在しませんでした。

処置： なし

VTP-0014: Data Gatherer 接続中のエラー

原因： パフォーマンス・データの収集を管理する Data Gatherer に接続しようとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0016: SQL 文が、JDBC でサポートされている 960 文字の最大長を超えています。この問合せを実行するデータ項目を選択解除して、選択基準を少なくしてください。

原因： 分析グラフのデータを選択するために作成する SQL 文は、全体の長さが最大で 960 文字までです。

処置： SQL 文の全体のサイズが小さくなるように、データ項目またはデータ・ソースの数を減らしてください。

VTP-0017: データ選択中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースのデータを選択しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0021: 分析をコピー中に内部エラーが発生しました。

原因： 履歴データベース内の定義済分析をコピーしようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0022: 分析作成中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0024: 分析クラスのコピー中に内部エラーが発生しました。

原因： 履歴データベース内の定義済分析をコピーしようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0026: 分析取得中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースから分析定義をロードしようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0027: 分析ロード中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースから分析定義をロードしようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0028: 分析作成中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0029: 分析挿入中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースに分析定義を挿入しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0031: 分析の名前変更中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベース内の分析定義の名前を変更しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0032: 分析の削除中のエラー： <文字列>

原因： 履歴データベースから分析定義を削除しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0035: クラスのデータが存在するかどうかを決定できません： <文字列>

原因： 履歴データベースにアクセスして、指定した統計クラスのデータを分析にロードしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0036: 定義済み分析の解釈中のエラー： (<文字列>, <数値>, <整数>)

原因： 履歴データベースから定義済分析を取り出し、ロードしようとした際に、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0039: クラス取得中のエラー： <文字列>

原因： Data Gatherer から収集クラス・リストを取り出そうとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0041: データ件数取得中のエラー： <文字列>

原因： 現行の収集クラスのデータ行数を指定しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0043: インスタンス取得中のエラー： <文字列>

原因： Data Gatherer から、現行の収集クラスのデータ・ソース・リストを取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0044: データ項目ロード中のエラー: <文字列>

原因: 現行の収集クラスに対し、Data Gatherer から取り出したデータ項目リストを表示しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0045: リソース取得中のエラー: <文字列>

原因: Data Gatherer から、現行の収集クラスのデータ項目リストを取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0046: クラス取得中のエラー: (<文字列>, <数値>, <整数>)

原因: Data Gatherer から現行の収集クラスの定義を取り出そうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0047: このクラスには親コンテキスト [(<文字列>, <数値>, <整数>), <文字列>] が必要です。収集は現在サポートされていません。

原因: 収集のために選択したクラスには、親データ・ソースを指定する必要があり、この構成は現在 Oracle Capacity Planner ではサポートされていません。

処置: なし。このクラスのデータ収集はできません。

VTP-0048: 収集オプションまたはロード・オプションが設定されていません。サービスを選択してから、これらのオプションを設定してください。

原因: 収集またはロード・オプションが未指定です。履歴データベースの位置が指定されていません。

処置: ナビゲーターでターゲット・サービスを選択して、履歴データベースの位置を指定してください。

VTP-0059: 収集の終了中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer と対話して、現行クラスの収集を停止しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0060: 収集の開始中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer と対話して、現行クラスの収集を開始しようとした際に、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0061: 履歴データベースに接続中のエラー : <文字列>

原因: 履歴データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0064: エラーが発生しました。外挿では日付に対して 0 (ゼロ) 以下の結果が作成されます。

原因: 外挿のターゲット値が、UNIX がリリースされた 1970 年 1 月 1 日以前の日付になつたため、表示できません。

処置: 過去の日付にならないように別のターゲットを指定してください。

VTP-0065: 文字列 <文字列> の時間へ外挿中にエラーが発生しました。傾きが 0 です。

原因: 現在の線に対して線形外挿を実行しようとしたが、算出された傾きが 0 です。そのため、この線は外挿の目的に使用できません。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0071: サーバー時間取得中のエラー

原因: Data Gatherer を実行中のホストからシステム時間を読み取ろうとして、エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0074: オプション送信中のエラー

原因: Data Gatherer に収集およびロード・オプションを送信しようとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0089: ロード・オプションの取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer からロード・オプションを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0090: 収集オプションの取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer から収集オプションを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0091: 収集設定の取得中にエラーが発生しました。

原因: Data Gatherer から収集設定を読み取ろうとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0093: 収集カートリッジ取得中のエラー： <文字列>

原因： Data Gatherer から、現行のターゲットの収集カートリッジ・リストを取得しようとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0094: クラス取得中のエラー： <文字列>

原因： Data Gatherer から現行のターゲットの収集クラス・リストを取得しようとして、エラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0096: <文字列> に接続中にエラーが発生しました。サーバー・ノードで Data Gatherer が実行中であることを確認し、再接続してください。

原因： Data Gatherer を実行中のホストに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 操作を再試行してください。再び失敗した場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0104: データ集計に使われるキー列を選択しなければなりません。

原因： ユーザー定義クラスを作成しようとしたが、データ収集で使用するキー列が選択されていません。履歴データベースでデータを集計する際には、キー列がデータ・ソースとして使用されます。

処置： キー列として使う列をクリックしてください。

VTP-0105: コマンドが正常に終了しませんでした

原因： メニューまたはツールバーから関数を起動しようとしてエラーが発生しました。このエラーは通常、関連するエラーと一緒に表示されます。

処置： 関連エラーを確認してください。関連エラーがない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0106: ツリー・ノード <文字列> の内容のロード中のエラー： <文字列>

原因： ナビゲータ（ツリー）のエントリを拡張して、選択項目の属性をロードしようとした際に、エラーが発生しました。このエラーは通常、関連するエラーと一緒に表示されます。

処置： 関連エラーを確認してください。関連エラーがない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTP-0107: 入力したラベルが長すぎます。<文字列> 文字未満のラベルを入力してください

原因： ユーザー定義スクリプトで定義された列に入力したラベルが、許容される最大長を超えてます。

処置： 許容最大長より短いラベルを入力してください。

VTP-0108: 入力したラベルは、他のデータ項目によって使用されています。一意のラベルを入力してください。

原因： ユーザー定義スクリプトで定義された列に入力したラベルは、クラスの既存の列すでに使用されています。

処置： 一意のラベルを入力してください。

VTP-0109: データ項目が多すぎます。許可されている最大値(<文字列>)を超えました。

原因： ユーザー定義スクリプト・クラスに、新規のデータ項目が追加されたため、クラス内のデータ項目の総数が、Data Gatherer ローダーのサポートする数を超えています。

処置： データ項目を削除するか、またはスクリプト・コマンド(問合せ)を変更して列の数を少なくしてください。

VTP-0110: 履歴データの収集には、少なくとも 1 つのデータ項目(データ・ソース以外)を選択しなければなりません。

原因： 1 列しか持たないクラスで、ユーザー定義クラスを作成しようとした。この列がキー列として使われるため、結果的に、クラス内にはデータ項目がまったくないことがあります。

処置： 収集するクラスに、他のデータ項目を少なくとも 1 つ追加してください。

Oracle SQL*Plus Worksheet メッセージ

VTW-1000 ~ VTW-1999 のメッセージ

VTW-1000: サービス名の書式が無効です。

原因: サービス名が、SQL Plus によって認識されません。

処置: サービス名が有効な tnsname であることを確認してください。

VTW-1001: エラーを解決してから再試行してください。

原因: 指定した SQL Plus のパスまたはファイル名が正しくありません。

処置: ORACLE_HOME/sysman/config/dbapps.cfg の構成をチェックしてください。

VTW-1000 ~ VTW-1999 のメッセージ

20

Oracle Change Management Pack メッセージ（クライアント層）

VTZ-0011 ~ VTZ-9109 のメッセージ

VTZ-0011: 接続障害

原因： データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0013: <文字列>へのセッション確立中のエラー

原因： データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0014: 致命的なエラー： <文字列> の初期化に失敗しました。

原因： Change Management Pack アプリケーションを起動しようとしてエラーが発生しました。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0016: 検出されたデータベース・サービスの取り出し中にエラーが発生しました。

原因： 検出されたデータベース・サービスを取り出そうとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするリポジトリが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにリポジトリ・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0017: <文字列> のリポジトリ有効性検査が失敗しました。

原因: Change Management Pack リポジトリの有効性検査を試行中に、エラーが発生しました。

処置: リポジトリ上に、Oracle Change Management リポジトリが作成されていることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0026: 回復不能な例外

原因: Change Management Pack リポジトリを更新しようとしてエラーが発生しました。Change Management Pack リポジトリへの接続が失われている可能性があります。

処置: Change Management Pack リポジトリへの接続が失われていない場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0027: 致命的なアプリケーション初期化エラーが発生しました

原因: Change Management Pack アプリケーションを起動しようとしてエラーが発生しました。

処置: 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-0028: 致命的なエラー: モジュールをロードできません。

原因: BridgeAppJRENative.DLL をロードしようとしてエラーが発生しました。

処置: Oracle Change Management Pack が適切にインストールされていることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-1036: サービス <文字列> の優先接続情報リストが見つかりません。

原因: データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: Oracle Enterprise Manager コンソールで、このデータベースの優先接続情報リストが設定されていることを確認してください。Oracle Enterprise Manager コンソールでそれが設定されていない場合は、ログイン時のダイアログ・ボックスで必要な「優先接続情報リスト」を入力してください。

VTZ-1041: 変更要求の削除中に予期しない例外が発生しました。

原因: 変更要求を削除しようとしてエラーが発生しました。

処置: ソース・データベースが起動していることを確認してください。ソース・データベースが起動していても、なおエラーが発生する場合は、削除しようとする変更要求が現在の計画に存在しない可能性があります。製品をクローズして、再度オープンしてください。

VTZ-7300: ヘルプ・ファイルを検索できません。

原因: そのアプリケーションでは、ヘルプ・ファイルを見つけられませんでした。

処置: Oracle Change Management Pack が適切にインストールされていることを確認してください。

VTZ-7301: オーディオ・エラー。オーディオをオフにしてください。

原因: オーディオ・ドライバに問題があるため、アプリケーションのオーディオ機能は使用できません。

処置: このアプリケーションでは、オーディオをオフにしてください。

VTZ-7302: オブジェクト・ビューアにより後で使用するデータベース・セッションを作成できません。

原因: データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7303: アイドル・セッションを作成できません。

原因: データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7304: SQL 例外または接続欠落例外。

原因: データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置: 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA ファイルにデータベース・エントリがあるかどうか確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7305: 選択されたデータベース・オブジェクトの識別中に SQL 例外が発生しました:
<文字列>

原因: スコープ指定の際に要求したオブジェクトを識別しようとして、SQL 例外が発生しました。

処置: 例外によって問合せが失敗した場合は、データベースが起動していることを確認し、表が満杯になっていないか、または壊れていないかどうかを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7306: 選択されたデータベース・オブジェクトの識別中に接続欠落の例外が発生しました: <文字列>

原因: 選択したデータベース・オブジェクトを識別する際に、データベース接続が失われました。

処置: 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7307: 有効範囲が指定されていません。

原因: 内部エラーです。スコープ指定が存在しません。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7308: フェーズ 2 の比較中に予期せぬエラーが発生しました。

原因: データベース・オブジェクト比較のフェーズ 2 が進行中に、エラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7310: 予期せぬデータベース・オブジェクト・タイプ <文字列> が <文字列> の比較中に見つかりました。

原因: データベース・オブジェクトの比較中に、予期せぬデータベース・タイプが見つかりました。

処置: このオブジェクト・タイプは、DB Diff ではサポートされていません。DB Diff の比較では、このオブジェクト・タイプを使用しないでください。

VTZ-7311: ベースラインからの読み込み中に、予期せぬ非直列化例外が発生しました: <文字列>

原因: ベースラインからの読み込み中に、予期せぬ非直列化の例外が発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7312: <文字列> の比較中に予期せぬエラーが発生しました: <文字列>

原因: データベース・オブジェクト比較中の、予期せぬエラーです。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7313: ベースライン・オブジェクト <文字列> の初期化中にエラーが検出されました。

原因: ベースライン・オブジェクトを初期化しようとした際に、エラーが検出されました。

処置: ベースライン・リストをリフレッシュして、ベースラインの比較を再試行してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7314: SQL 例外: <文字列>

原因: ベースライン定義のロード中に、SQL 例外のエラーが発生しました。

処置： 例外によって問合せが失敗した場合は、データベースが起動していることを確認し、表が満杯になっていないか、または壊れていないかどうかを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7315: 接続欠落例外： <文字列>

原因： データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7316: ベースライン・オブジェクト<文字列>の読み込み中に予期せぬエラーが発生しました。

原因： リポジトリからベースライン・オブジェクトを読み込もうとした際に、予期せぬエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7318: <文字列>のデータ構造体を作成中にエラーが発生しました。

原因： データベース・オブジェクトの初期化中に、予期せぬエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7319: <文字列>の表示オブジェクトを作成中に予期せぬエラーが発生しました。

原因： 表示オブジェクトの作成中に、予期せぬエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7321: DB Diff の初期化中に予期せぬエラーが検出されました。

原因： DB Diff を初期化しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA にデータベース・エントリがあることを確認してください。それでもまだエラーが発生するようであれば、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7322: DB Diff の起動中に予期せぬエラーが検出されました。

原因： DB Diff を開始しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。まだエラーが発生する場合は、TNSNAMES.ORA にデータベース・エントリがあることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7323: 状態 <文字列> の状態アイコンを取り出し中にエラーが発生しました。

原因： 状態アイコンを取り出そうとして、エラーが発生しました。

処置： この Change Management Pack アプリケーションが適切にインストールされていることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-7324: システム・エラー： NULL 値が NeedsComparison に渡されました。

原因： 内部エラーです。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-8005: エグゼンプラーの作成に失敗

原因： 新規のエグゼンプラー・オブジェクトを作成しようとしてエラーが発生しました。

処置： ソース・データベースまたはリポジトリ（あるいは、その両方）が起動していることを確認してください。それでもまだ問題が発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-8006: ディレクティブの作成に失敗

原因： 新規のディレクティブ・オブジェクトを作成しようとしてエラーが発生しました。

処置： ソース・データベースまたはリポジトリ（あるいは、その両方）が起動していることを確認してください。それでもまだ問題が発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-8007: ソース・データベースのセッションを確立できません。

原因： ソース・データベースへの接続を確立しようとして、エラーが発生しました。

処置： ソース・データベースが起動していることを確認してください。

TNSNAMES.ORA ファイルに、ソース・データベースのエントリがあることも確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-8034: データベースへの接続が失われました。

原因： データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-8035: データベースからの読み込み中にエラーが発生しました。

原因： エグゼンプラーまたはディレクティブ（あるいは、その両方）をデータベースから読み込む際に、SQL 例外のエラーが発生しました。

処置： 例外によって問合せが失敗した場合は、データベースが起動していることを確認し、表が壊れていないかどうかを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9001: オブジェクト初期化中に障害

原因： この操作の実行に必要なレベルの初期化が実行されていない場合に、この例外が発生します。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9005: データベース接続中のエラー

原因： データベースに接続しようとしてエラーが発生しました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9010: ベースライン初期化中のエラー

原因： この操作の実行に必要なレベルの初期化が実行されていない場合に、この例外が発生します。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9019: 削除に失敗しました： ベースライン初期化中のエラー

原因： ベースラインを削除しようとしてエラーが発生しました。この操作が失敗した原因は、次の2つの点が考えられます。1) データベースが停止している。2) この操作の実行に必要な初期化が完了していない。

処置： データベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9020: 接続欠落

原因： ベースラインを削除しようとした際に、データベース接続が失われました。

処置： 接続しようとするデータベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9064: ベースライン初期化中のエラー

原因： この操作の実行に必要なレベルの初期化が実行されていない場合に、この例外が発生します。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9079: SQL テキスト取り出し中にエラーが発生しました。SQL テキストを再作成してください。

原因： 最後の変換が失敗したため、SQL テキストの取り出し中にエラーが発生しました。

処置： 新規の変換を開始して、テキストを再生成してください。

VTZ-9081: 宛先を初期化中のエラー

原因： この操作の実行に必要なレベルの初期化が実行されていない場合に、この例外が発生します。宛先オブジェクトが適切に初期化されていません。

処置： カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9092: 出力ファイルのオープン中のエラー

原因: 何らかの I/O 例外が発生したことを示しています。

処置: エラー発生の原因を確定し、問題点を修正してください。

VTZ-9105: 致命的な例外が発生しました

原因: 何らかの I/O 例外が発生したことを示しています。

処置: エラー発生の原因を確定し、問題点を修正してください。

VTZ-9108: 致命的なアプリケーション初期化エラーが発生しました

原因: DB Capture を開始しようとしてエラーが発生しました。

処置: カスタマ・サポートにご連絡ください。

VTZ-9109: セッションのクローズ中のエラー

原因: オープンしているデータベース・セッションをクローズしようとした際に、エラーが発生しました。

処置: データベースが起動していることを確認してください。それでもまだエラーが発生する場合は、カスタマ・サポートにご連絡ください。

Oracle Management Server メッセージ

VXA-1000 ~ VXA-2999 のメッセージ

VXA-1000: Oracle Management Server の起動中にエラーが発生しました。
omsconfig.properties ファイルのブート・ホスト名を確認してください。
原因： ホストが見つかりません。

処置： omsconfig.properties ファイル内の oem.BootHost 属性は、値が “localhost” となっている必要があります。値を指定してから、Oracle Management Server を再起動してください。

VXA-1002: Oracle Management Server のリポジトリの構成が不完全です。
原因： 指定したリポジトリには、必要な表（主に、VDR レジストリ表）がありません。

処置： Oracle Configuration Assistant 経由で指定されたリポジトリが有効であることを確認してください。リポジトリが有効な場合は、Configuration Assistant を再実行して、ユーザーを追加し直してください。リポジトリが無効な場合は Configuration Assistant を再実行し、構成を編集して Oracle Management Server のリポジトリを指定するか、現在のリポジトリを削除してそれを再作成するか、またはリポジトリを新規作成してください。

VXA-1003: 管理者ログイン設定リストが無効です。
原因： ユーザーが、自分自身を Oracle Management Server に認証するために指定した設定リストが、正しくありません。
処置： ユーザー名およびパスワードを再指定し、再度ログインを試行してください。

VXA-2023: Oracle Management Server はすでにこのマシンで起動されています。異常終了します。

原因： Oracle Management Server はすでに実行中です。
処置： Oracle Management Server が実行中かどうかを調べ、また Oracle Management Server BootPort (omsconfig.properties ファイルで指定) を他のアプリケーションで使用中かどうか確認してください。

VXA-1000 ~ VXA-2999 のメッセージ

22

Naming Service メッセージ

VXN-1000 ~ VXN-1999 のメッセージ

VXN-1000: oem.BootHost は、ブートストラップ・ホストの IP アドレスでなければなりません。

原因： Oracle Management Server を実行中のホスト名が無効のようです。

処置： Oracle Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server の構成情報が有効であることを確認してください。

VXN-1001: oem.BootPort は有効な数値でなければなりません。

原因： Oracle Management Server に接続しているポート番号が無効のようです。

処置： Oracle Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server の構成情報が有効であることを確認してください。

VXN-1002: ブート・サービスは、ポート <ポート> にバインドできません。ソケットが占有されている可能性があります。

原因： おそらく他のアプリケーション（またはこのアプリケーションの他のインスタンス）が、そのソケットで実行中のため、ブート・サービスはブートストラップ・ソケットにバインドできませんでした。

処置： Task Manager を実行して、このアプリケーションの他のインスタンスが実行中でないことを確認してください。

VXN-1003: サーバー・ソケットを作成できません。

原因： サーバー側ソケットを作成できませんでした。

処置： Task Manager を実行して、このアプリケーションの他のインスタンスが実行中でないことを確認してください。

VXN-1004: oem.Boothost プロパティが欠落しています。

原因： 必要な構成エントリが足りません。

処置： Oracle Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1005: oem.BootPort プロパティが欠落しています。

原因： 必要な構成エントリが足りません。

処置： Oracle Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1006: プロパティ oem.BootHost にアクセス中にセキュリティ例外が発生しました。
このようなアプレット・パラメータは見つかりませんでした。

原因： セキュリティ違反が発生しました。アプレットからシステム属性にアクセスしようとしています。（Web サーバー上の CGI スクリプトが壊れていない限り、このエラーは発生しません。）

処置： Oracle Enterprise Manager をシン・クライアントで（ブラウザから）実行している場合は、システム管理者に問い合わせてください。そうでない場合は、Oracle Configuration Assistant を実行して、Oracle Management Server が正しく構成されていることを確認してください。

VXN-1007: 命名サービスが見つかりませんでした。

原因： Oracle Management Server が見つかりません。

処置： Oracle Management Server が実行中であることを確認してください。

VXN-1008: 命名サービス永続ファイルの読み込み中に、回復不能なエラーが発生しました。

原因： 命名サービス永続ファイルの読み込み中に、エラーが発生しました。

処置： 次の手順を実行してください。

1. Oracle Enterprise Manager のすべてのアプリケーションを停止します。
2. Oracle Management Server をシャット・ダウンします。
3. \$ORACLE_HOME/sysman/system/CosNaming.store のファイルを削除します。
4. Oracle Management Server を再起動します。

Oracle Expert サービス・メッセージ

XP-21000 ~ XP-21999 のメッセージ

XP-21000: 行番号またはその付近のトークン '名前' があいまいです。次の項目のうち、1つを指定してください: <名前>

原因: 解析された SQL テキストに、ワーカロードまたはスキーマ・データの収集または編集中に導入された無効な構文があります。

処置: SQL テキストを修正し、操作を再試行してください。

XP-21001: 値は <数値> 以上でなければなりません。

原因: 下限より小さい数値が入力されました。

処置: 指定された下限以上の値を入力してください。

XP-21002: 値は <数値> 以下でなければなりません。

原因: 上限より大きい数値が入力されました。

処置: 指定された上限以下の値を入力してください。

XP-21003: C ランタイム・エラー: <エラー>

原因: C プログラム言語のコールに失敗しました。補足の ERROR テキストは、失敗の詳細情報を示しています。これらのエラー型は通常、インストールの問題か、または仮想メモリーなどオペレーティング・システム設定の問題のどちらかを示します。

処置: 表示された追加情報を使用して、問題の原因を判断してください。

XP-21004: 一時ファイルまたはログ・ファイルを作成できません。

原因: ファイルの作成を試行中にエラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。

XP-21005: <名前> にはそれに依存するものがあるため削除できません。

原因: 従属オブジェクトを削除せずにオブジェクトを削除しようとしました。

処置： 最初にオブジェクトの従属オブジェクトを削除してから、操作を再実行してください。

XP-21006: オブジェクト ID なしでルールをインスタンス化することはできません。

原因： 対応するオブジェクト / オーナーなしにルールのコピーを作成しようとした。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： EM リポジトリの XP_USER_RULE 表の中身も含めて、バグ・レポートをまとめてカスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21007: オブジェクト ID による基本ルールを挿入することはできません。

原因： デフォルト・ルールをロードしようとして、対応するオブジェクト / オーナーなしにルール作成が試行されました。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスまたはクライアントでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、EM バージョン、およびリポジトリのデータベース・バージョンを指定し、バグ・レポートをまとめてカスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21008: オブジェクト ID なしでルールを削除することはできません。

原因： 対応するオブジェクト / オーナーを持たないルールのコピーを削除しようとした。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： EM リポジトリの XP_USER_RULE 表の中身も含めて、バグ・レポートをまとめてカスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21009: オブジェクト ID による基本ルールを削除することはできません。

原因： Oracle Expert サービス・リポジトリからデフォルト・ルールを消去しようとし、対応するオブジェクト / オーナーのないルールが見つかりました。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： Oracle Expert サービス・リポジトリの XP_USER_RULE 表の中身も含めて、バグ・レポートをまとめてカスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21010: コレクションが異常終了しました。

原因： 進行中にコレクションを取り消しました。

処置： なし

XP-21011: 現行の操作が <名前> に対してキャンセルされました。

原因： 進行中に操作を取り消しました。セッションは、メイン・アプリケーションまたは依存操作のどちらかを表しています。

処置： なし

XP-21012: データベース・エラーが発生しました： < エラー >

原因： Oracle Expert サービス・リポジトリまたはターゲットの調整可能データベースへのアクセス試行中に、Oracle サーバー・エラーが発生しました。詳細の Oracle サーバー・エラー・メッセージは、ERROR テキストに表示されます。

処置： エラーが、インスタンスが起動されていないなどの環境問題を示す場合は、問題を修正してください。

XP-21013: 行が削除されませんでした。： < 名前 >

原因： 削除を指定した行が見つかりませんでした。

処置： なし

XP-21014: データベースが起動されていません。： < エラー >

原因： インスタンスが起動していないデータベースにアクセスしようとしました。ERROR メッセージに、Oracle サーバー・エラー・メッセージからの補足詳細が表示されます。

処置： インスタンスを起動してください。

XP-21015: 無効な接続文字列が、データベースへの接続に使われました： < 名前 >

原因： データベースに接続しようとしたが、有効なログイン設定リストを指定しませんでした。

処置： 有効なログイン設定リストを指定してください。

XP-21016: データベース・エラーが発生しました： < エラー >< エラー >

原因： Oracle Expert サービス・リポジトリまたはターゲットの調整可能データベースへのアクセス試行中に、サーバー・エラーが発生しました。詳細の Oracle サーバー・エラー・メッセージは、ERROR テキストに表示されます。

処置： エラーが、インスタンスが起動されていないなどの環境問題を示す場合は、問題を修正してください。

XP-21017: 列 < 名前 > で次のリターン・コードが生成されました： < コード・エラー >

原因： データベースの特定の列へアクセス中に、ローレベル・データのアクセス /OCI エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システムおよび Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、報告されたエラー・メッセージのリターン・コード、失敗が発生した列の定義をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21018: 戻り変数の数が、選択リストの項目数を超えてます。

原因： データ・アクセス・レイヤーで内部論理工エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システムおよび Oracle Expert サービスのバージョン

ジョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21019: 選択リストのすべての項目を格納するための十分な戻り変数がありません。

原因: データ・アクセス・レイヤーで内部論理工エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システムおよび Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21020: データ型が不一致のため、入力データを変換できません。

原因: 非数値文字を含む値を、数値フィールドに入力しました。

処置: 数値文字のみを入力してください。

XP-21021: デバイスがいっぱいです。

原因: 空き領域がないディスクにデータを書き込もうとしました。

処置: デバイスに使用可能な空白を作るか、またはプログラム / ファイルを別のデバイスに移動してください。

XP-21022: 入力ファイル・ストリームの終わりに達しました。

原因: レコード・カーソルで行の戻しがありませんでした。

処置: なし

XP-21023: ファイルの末尾に達しました。

原因: ファイル読み込みがファイルの終わりを示しました。

処置: なし

XP-21024: Oracle Trace 収集クラス <名前> は無効です。

原因: 廃止された、またはサポートされないデータ項目を含む Oracle Trace コレクションを収集しようとしました。

処置: Oracle Trace のバージョン必要事項 / 従属オブジェクトに関するリリースノートを参照してください。現行の構成がサポートされていることが確かな場合は、オペレーティング・システム、EM バージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、報告されたエラー・メッセージのリターン・コード、および追加情報を含めて出力中に生成された可能性のあるログ・ファイルをまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21025: 製品は予期しないエラーのため終了しました。

原因: The Oracle Expert サービス・サブシステム (ワークベンチ) で、重大なシステム・エラーが発生しました。

処置: 操作を再試行してください。環境に影響する原因の排除を試行してください。現行の環境に問題がないことが確かな場合は、オペレーティング・システム、Oracle

Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、および失敗の際に進行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21026: 致命的なエラーのため、終了中です。

原因: 重大なエラー状態が発生したため、Oracle Expert サービスは現在のセッションを継続できません。

処置: 操作を再試行してください。環境に影響する原因の排除を試行してください。
現行の環境に問題がないことが確かな場合は、オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、および失敗の際に進行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21027: この機能は実装されていません。

原因: 現行のバージョンでは使用不可能な特徴 / 機能に、Oracle Expert サービスでアクセスしようとしました。

処置: このエラー・メッセージが表示された経過をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21028: ファイル <名前> はすでにオープンしています。

原因: 別のユーザーまたはプロセスによってすでにオープンしているファイルに書き込もうとしました。

処置: ファイルが使用中でないことを確認して、操作を再試行してください。

XP-21029: ファイル <名前> は見つかりませんでした。

原因: 存在しないファイルにアクセスしようとしました。

処置: 要求したファイルが存在することを確認して、操作を再試行してください。
ファイルが存在しない場合は、Oracle Enterprise Manager を再インストールし、ファイルがインストールされていることを確認してください。

XP-21030: ファイル <名前> はアクセスに対して保護されています。

原因: 権限またはセキュリティの問題のためにアクセスできないファイルを、オープンしようとしました。

処置: ファイルのアクセス問題を解決して、操作を再試行してください。

XP-21032: リポジトリは、<名前><数値> と互換性がないためアクセスできません。

原因: アクセスされているリポジトリを作成した製品のバージョンと互換性のないバージョンの Enterprise Manager を実行しようとしました。

処置: リポジトリを削除して、Enterprise Manager を再実行してください。

XP-21033: <名前> は不完全のマークが付いています。

原因: コレクションが割り込まれた、または取り消された結果、Oracle Expert サービス・リポジトリで不完全なオブジェクトが見つかりました。

処置: このオブジェクトを削除してください。

XP-21034: Oracle 数値を整数に変換中に、オーバーフローが発生しました。

原因: データ・アクセス・レイヤーで論理工エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21035: 日付 / 時間 <日付> は無効です。

原因: 日付 / 時間を指定した形式が正しくありません。

処置: 有効な日付 / 時間文字列を入力してください。

XP-21036: 環境デバイス <名前> の位置が見つかりません。

原因: ファイルに物理位置を指定せずに、Oracle Expert サービス・リポジトリで論理デバイスを作成しました。Oracle Expert サービスでは、物理位置を指定する必要があります。

処置: 論理デバイスに位置を指定してください。

XP-21037: トークン '名前' は有効な数値ではありません。

原因: Oracle Expert サービスの解析機能は、数値でない入力ファイルにトークンを見つけました。

処置: ファイルを修正して、操作を再試行してください。

XP-21038: トークン '名前' は有効な整数ではありません。

原因: Oracle Expert サービスの解析機能は、整数でない入力ファイルにトークンを見つけました。

処置: ファイルを修正して、操作を再試行してください。

XP-21039: その操作は無効です。

原因: 特定の操作を試行中にシステム・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21040: 引用した文字列名 <名前> に、印刷できない文字が含まれています。

原因: SQL テキストで見つかったリテラル・テキストには、印刷できない文字があります。Oracle Expert サービスはこのテキスト項目を表示または印刷できません。

処置: なし

XP-21041: Oracle Expert Services のリポジトリは、このスキーマ用に作成されています。

原因: Oracle Expert サービス・リポジトリに接続しようとしましたが、指定されたログイン設定リストを使用してアクセスしたスキーマは、Oracle Expert サービス・リポジトリではありません。

処置: 使用するログイン・アカウントが、Oracle Expert サービス・リポジトリのスキーマを確実に含む、または持つようにしてください。

XP-21042: <名前>には有効性検査ができないエンティティが含まれています。

原因: Oracle Expert サービスで収集されたオブジェクトは、Oracle リポジトリで位置確認できなかった外部エンティティへの参照を含んでいます。

処置: 収集するオブジェクトにより参照された項目を収集してください。

XP-21043: データベースには、有効性検査ができないエンティティが含まれています。

原因: Oracle Expert サービスで収集されたオブジェクトは、Oracle リポジトリで位置確認できなかった外部エンティティへの参照を含んでいます。

処置: 収集するオブジェクトにより参照された項目を収集してください。

XP-21044: 命名テンプレート <名前> には無効な文字が含まれています。

原因: 指定した命名テンプレートは、テンプレートを使用して組み立てたオブジェクト名で使用できなかった文字を含んでいます。

処置: 無効な文字を削除してください。

XP-21045: タイプ <名前> は無効です。

原因: 不明なグループ化と対応するインスタンス・パラメータが見つかりました。これは予期しないシステム・エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21046: <名前> は有効性検査ができないエラーです。

原因: Oracle Expert サービスで収集されたオブジェクトは、Oracle Expert サービス・リポジトリで位置確認できなかった外部エンティティへの参照を含んでいます。

処置: 収集するオブジェクトにより参照された項目を収集してください。

XP-21047: ファイル <名前> の行番号 <番号> は、<数値> 文字より長くなっています。

原因: Oracle Expert サービスがインポート・ファイル (SQL または XDL) で検出したテキストは、このメッセージで示される最大許容バッファの長さよりも長くなっています。

処置: 長い行をブレークして短い行に分けてください。

XP-21048: メッセージが見つかりませんでした。

原因: Oracle Expert サービスが、エラー・メッセージを検出できませんでした。これは予期しないシステム・エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。製品の再インストールを試行してください。問題が修正されない場合は、オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21049: 表 <名前> が Oracle Trace データベース内で見つかりませんでした。

原因: Oracle Expert サービスは、ワーカロード・コレクションに確認された Oracle Trace データベースで、要求された表を検索できませんでした。

処置: Oracle Trace のバージョン必要事項 / 従属オブジェクトに関するリリースノートを参照してください。現行の構成がサポートされていることが確かな場合は、オペレーティング・システム、EM バージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、報告されたエラー・メッセージのリターン・コード、および追加情報を含めて出力中に生成された可能性のあるログ・ファイルをまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21050: リポジトリ用の情報が検出されません。

原因: スキーマへの接続中に、不完全な Oracle Expert サービス・スキーマが検出されました。

処置: Management Pack を再インストールし、DOS ウィンドウから次のコマンドを発行して、Oracle Expert サービス・リポジトリを再作成してください。

```
VOBSH -c "repos user/ repos password" -o DROP -p "Oracle Expert"
```

XP-21051: Oracle Trace 収集情報が見つかりません。

原因: Oracle Trace データベースにはコレクションがありませんでした。そのため Oracle Expert サービスでデータが収集されません。

処置: なし

XP-21053: <名前> が見つかりませんでした。

原因: Oracle Expert サービス・レポジトリから、存在しないオブジェクトを選択しようとしました。

処置: なし

XP-21054: 設計 <名前> に無効なデバイス名が含まれています。

原因: 入力したファイル名には、無効なディスク名またはデバイス名があります。

処置: デバイスの参照を修正して、操作を再試行してください。

XP-21055: データベース <名前> は、Oracle Trace 収集ではありません。

原因： データベース接続文字列がワーカロード・コレクションに指定されており、アクセスしたスキーマには Trace データがありませんでした。

処置： Oracle Trace データベースを指定してください。

XP-21056: Oracle 数値の変換中に内部エラーが発生しました。

原因： データ・アクセス・レイヤーで論理エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21057: マシン形式数値を Oracle 数値に変換中にオーバーフローが発生しました。

原因： データ・アクセス・レイヤーで論理エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21058: <名前> はすでに存在します。

原因： 同じタイプの既存オブジェクトの名前を使用して、Oracle Expert サービス・リポジトリでオブジェクトを作成しようとしました。

処置： 一意の名前を入力するか、または既存のオブジェクトを Oracle Expert サービス・リポジトリから削除してください。

XP-21059: 値 '数値' は <名前> の <数値> から <数値> までの範囲に入っていません。

原因： 特定の属性に指定された数値が、その属性に要求される範囲内の値ではありません。

処置： 要求される範囲内で数値を指定してください。

XP-21060: 値が <数値> から <数値> までの範囲に入っていません。

原因： 特定の属性に指定された数値が、その属性に要求される範囲内の値ではありません。

処置： 要求される範囲内で数値を指定してください。

XP-21061: <数値> の最小値より小さい値です。

原因： 数値属性に、必要最小値より小さい値が入力されました。

処置： 必要最小値より大きい値を入力してください。

XP-21062: <数値> の最大値より大きい値です。

処置： 数値属性に、必要最大値より大きい値が入力されました。

処置： 必要最大値より小さい値を入力してください。

XP-21063: SQL 解析機能のスタック・オーバーフローが発生しました。

原因： Oracle Expert サービス SQL 解析機能で、重大なエラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21064: '名前' が行 <番号>、列 <番号> またはその付近で見つかりました。次の項目のうち、1つを指定してください： <名前>

原因： ワークロードまたはスキーマ・データの収集中、または編集中に解析された SQL テキストに、無効な構文があります。

処置： SQL テキストを修正し、操作を再試行してください。

XP-21065: <名前> は行 <番号> での範囲を超えてます。

原因： XDL ファイルからワークロードを収集する際に、Oracle Expert サービスで許可される範囲外のワークロード重要度または頻度が見つかりました。

処置： 無効な値を変更して許可される範囲内にし、操作を再試行してください。

XP-21066: 行 <番号> またはその近くで、文の予期しない終わりに到達しました。

原因： SQL 文または XDL 文の解析中に、まだデータがあるにもかかわらず、Oracle Expert サービスが文の終わり（通常は「;」）を検出しました。

処置： 文を訂正して、操作を再試行してください。

XP-21067: ビュー要求 <名前> は、変更または削除できません。

原因： ビューの結果存在する要求 (SQL 文) を変更または削除しようとしました。

処置： 実際のビューを削除して、この文を削除してください。

XP-21068: Oracle Expert Services リポジトリへの既存のデータベース接続がすでに存在します。

原因： 現行のセッションで 2 回以上、Oracle Expert サービス・リポジトリに接続しようとしました。

処置： 前のセッションを中断してからこの操作を続行してください。

XP-21069: リポジトリ・データベースへの既存の接続はありません。

原因： これまでに接続されていないチューン可能データベースで、データにアクセスしようとした。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21070: スキーマ '名前' にオブジェクトを作成しようとしていますが、スキーマ '名前' の収集中です。

原因: 現在収集されているスキーマで、オブジェクトを作成しようとしました。

処置: 収集の完了まで待つか、または収集を取り消してこの操作を再試行してください。

XP-21071: スキーマ '名前' にオブジェクトを作成しようとしていますが、スキーマ '名前' の収集中です。

原因: スキーマ収集オプション・ページで、スキーマ名をスキーマ・コレクションに指定しましたが、別名のスキーマがスキーマ統計ファイルで見つかりました。

処置: 指定したスキーマ名にこの統計が使用される場合、ファイルを編集して名前を変更してください。

XP-21072: <名前> はすでに <名前> に存在しています。

原因: 既存の子オブジェクトと同じ名前を使用して、子オブジェクトを作成しようとしました。

処置: 一意の名前を入力してください。

XP-21073: <名前> の検索中に <名前> が見つかりませんでした。

原因: Oracle Expert サービスは、SQL 文内で外部参照を解決できませんでした。外部参照は有効なワークロード要求か、または Oracle Expert サービス・リポジトリ内の DDL 文のどちらかである必要があります。

処置: 参照したエンティティがすべて収集されていることを確認し、オブジェクトの有効性検査を再度行ってください。

XP-21074: 危険な文字列操作を行おうとしました。<名前>

原因: これは Oracle Expert サービスの内部エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21075: 無効な操作です。文字列はロックされています。<名前>

原因: これは Oracle Expert サービスの内部エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21076: 文字列の割当て範囲を超えています。

原因: 文字列またはバッファ管理サブシステムで、論理エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21077: OCI エラーが発生しました。<メッセージ>

原因： ルーチン・コール中に、Oracle コール・インターフェース (OCI) エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21078: 文字列に不均衡な引用が含まれています。

原因： 入力ファイルで見つかった文字列には開始または終了引用符がありません。

処置： 問題を修正して、操作を再試行してください。

XP-21079: 内部バッファへのアクセス中に、仮想メモリー・エラーが発生しました。

原因： 文字列またはバッファ管理サブシステムで、論理工エラーが発生しました。

処置： このエラーは構成問題、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。最初に、オペレーティング・システム上で仮想メモリーの設定を増やしてください。これで問題が解決しない場合、オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21080: 無効な操作です。内部バッファはロックされています。

原因： 文字列またはバッファ管理サブシステムで、論理工エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21081: 無効な操作です。内部バッファはロックされていません。

原因： 文字列またはバッファ管理サブシステムで、論理工エラーが発生しました。

処置： これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21082: 内部バッファが切り捨てられました。

原因： 文字列またはバッファ管理サブシステムで、論理工エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21084: ターゲット・データベースへの既存の接続がすでに存在します。

原因： 現行のセッションで 2 回以上、ターゲットのチューン可能データベースに接続しようとしました。

処置： 前のセッションを中断してからこの操作を続行してください。

XP-21085: ターゲット・データベースへの既存の接続はありません。

原因： これまでに接続されていないチューン可能データベースで、データにアクセスしようとしました。これは予期しないシステム・エラーです。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21086: その <名前> は、名前テンプレート <名前> の範囲に入っています。

原因： ルールで指定されたテンプレートは、許容される最長の名前よりも長い名前を生成します。

処置： 許容限度より短い名前を生成するように、テンプレートを変更してください。

XP-21087: 文字列 '名前' に、<数値> より多い文字が有ります。

原因： 許容最大サイズより長いテキスト値が指定されました。

処置： テキスト値を短くしてください。

XP-21088: 文字列クラス・バッファではより大きい戻りバッファが必要です。

原因： これは Oracle Expert サービスの内部エラーです。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21089: この操作は、このバージョンではサポートされていません。

原因： SQL ファイルからのスキーマ収集中に、CREATE TABLE 文を解析した際、サポートされない SQL 断片部分が見つかりました。

処置： 無効な断片部分を削除して、操作を再試行してください。

XP-21090: 引用されている文字列 <名前> は終了していません。

原因： 解析された文字列で、終了のクローズ引用符がない引用リテラルが見つかりました。

処置： クローズ引用符を文字列に追加して、操作を再試行してください。

XP-21091: 仮想メモリーを割り当てられません。

原因： Oracle Expert サービスを実行中のプラットフォームで、メモリーが不十分です。

処置： メモリー容量を増やしてください。

XP-21092: ワークロード・アプリケーション'名前'には無効な要求が含まれています。

原因： ワークロード収集中、Oracle Expert サービス・リポジトリで見つからなかった項目への外部参照を持つ要求 (SQL 文) と共にアプリケーションが見つかりました。

処置： ワークロードで参照されるオブジェクト (通常はスキーマ) を収集してから、ワーカーの有効性検査を行ってください。

XP-21093: 期間収集を開始できません。最後のエラー・コード = < エラー番号 >

原因： インスタンス期間収集を開始しようとしましたが、失敗しました。

処置： 最後のエラー・コードは、MS-Windows エラーを示します。このエラーを解決して、操作を再試行してください。

XP-21094: 内部日付書式は、'月 / 日 / 年 時間 : 分 : 秒' である必要があります。

原因： 入力文字列を内部日付に変換しようとしたが、失敗しました。入力文字列が必須の日付マスクに一致しませんでした。

処置： 指定した日付マスクに一致する日付を入力してください。

XP-21095: 必要なデータ・フィールドすべてを読み込めませんでした。

原因： 入力文字列が日付変換に指定されましたが、日付の要素をすべては含んでいませんでした。

処置： '月 / 日 / 年 / 時間 / 分 / 秒' のすべての要素を含む日付を入力してください。

XP-21096: リソース DLL をロードできません： < 名前 >

原因： システムが、指定のリソース DDL をロードできませんでした。

処置： これは、論理工学、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。最初に、現行の Performance Pack をアンインストールしてから Performance Pack を再インストールしてください。これで問題が解決しない場合は、オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、見つからない DLL 名をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21097: アクセス違反： < 数字 > への読み取りアクセスを実行しようとした。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理工学、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、

リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21098: アクセス違反： 無効なアドレスへの書き込みアクセスを実行しようとした。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21099: 範囲外の配列要素にアクセスしようとした。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21100: ブレークポイントが発生しました。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21101: 不整列データ型のアクセスです。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21102: 浮動小数点演算のオペランドが正しくありません。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21103: 浮動小数点数を 0 で除算しました。

原因： C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、

リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21104: 浮動小数点演算の結果は、小数で正確に表現できません。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21105: 浮動小数点の例外です。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21106: 浮動小数点の指数がオーバーフローしました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21107: スタック・オーバーフロー / 浮動小数点演算です。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21108: 浮動小数点アンダーフロー。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21109: 無効な指示を実行しようとしました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理工エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、

リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21110: アクセス不可能なページです。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21111: 整数を 0 で除算しました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21112: 整数演算によりオーバーフローが発生しました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21113: 例外ハンドラから、例外ディスパッチャに無効な配置が戻されました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21114: 致命的な例外が発生した後に、実行を継続しようとしています。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21115: 現行のマシン・モードでは操作できない命令を実行しようとしています。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、

リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21116: トレース検出またはその他の単独命令機構から、命令を 1 つ実行したという信号が発信されました。

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21117: スタック・オーバーフロー

原因: C ランタイム・ライブラリ・エラーが発生しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21118: 不明な / 处理できない例外です。

原因: Oracle Expert サービスの例外処理メカニズムが不明な例外型を捕捉しました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21119: アプリケーションの初期化に失敗しました: < エラー >

原因: Oracle Expert サービスが起動できませんでした。問題の性質についての補足情報は、ERROR テキストに表示されます。

処置: 問題を修正して、操作を再試行してください。最初に Oracle Installer からインストール解除して、Performance Pack を再インストールしてください。これで問題が解決しない場合は、オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、アプリケーションが報告した追加のエラー・メッセージをまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21120: 「ユーザー名」または「パスワード」、「サービス名」、データベースの「リンク名」のいずれかを入力できます。

原因: インスタンスの作成中に、リンク名と、接続文字列の一部を両方入力しようとしました。

処置: 接続文字列またはリンク名のどちらかを指定してください。両方の指定はできません。

XP-21121: ルールの所有者が見つかりませんでした。

原因: 指定されたルールの所有者オブジェクトを、Oracle Expert サービスがリポジトリ内で検索しようとしましたが、それは見つかりませんでした。内部エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21122: ユーザー・ルール <名前> が見つかりませんでした。

原因: 指定されたルールを、Oracle Expert サービスがリポジトリ内で検索しようとしましたが、それは見つかりませんでした。内部エラーです。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21123: 次の列の処理中、表 <表名> のカーディナリティ走査の操作に失敗しました:
column_name_list

原因: スキーマ表の統計を収集する際、おそらく内部サーバー限度のために、Oracle Expert サービスのカーディナリティ走査に失敗しました。通常のカーディナリティ走査では、小さいセグメントで走査を実行するため、エラー・メッセージにリスト表示されない他の表の列は、正常に走査を完了したはずです。

処置: 無効な列のカーディナリティ値を手動で設定してください。

XP-21124: リポジトリの作成または最後のアップグレードが <名前> の新しいバージョン(バージョン <数値>) で行われたため、<名前> の現行のバージョン(バージョン <数値>) では使用できません。

原因: 現在使用されている Oracle Expert サービスのバージョンと互換性のないリポジトリにアクセスしようとしました。

処置: (1) Expert の現行のバージョンを使用して、互換性のないリポジトリを削除し、再インストールしてください。または (2) 互換性のないリポジトリを作成または最後にアップグレードした Oracle Expert サービスのバージョンを再インストールしてください。

XP-21125: メモリーの割当てに失敗しました。

原因: Oracle Expert を実行中のプラットフォームで、メモリーが不十分です。

処置: メモリー容量を増やしてください。

XP-21126: 操作を完了できません。SMP サービス名 <名前> とファイルで指定されたインスタンス名 <名前> が一致しません。正しいサービスでセッションを作成するか、またはファイル内の「Instance Export」セクションにある NAME IS および SERVICE NAME IS の値を変更してください。

原因： このチューニング・セッションに対応するインスタンス名が、このセッションを作成したサービス（データベース）名と一致しません。操作を完了できません。

処置： チューニング・セッションを作成、またはファイルからインスタンス・データを収集するために、ファイル・オプションから「作成」を使用する場合、ファイルで指定するインスタンスは、セッションが作成される同じサービスを参照する必要があります。正しいサービスでセッションを作成するか、またはセッションが作成されるサービスを参照するように、ファイルを変更してください。

XP-21127: リポジトリの有効性検査操作に失敗しました。

原因： リポジトリへ接続する際には、有効性検査プロセスによって、ユーザーのリポジトリの存在と互換性が検証されます。操作に失敗した場合は、別のリポジトリを選択するか、またはリポジトリへの接続を再試行してください。このメッセージの前に、追加のメッセージがあります。

処置： 別のリポジトリを選択するか、または操作を再試行してください。

XP-21128: 名前'名前' と合致するリポジトリ・コンポーネントが見つかりませんでした。

原因： リポジトリ・マネージャのコーラーが、リポジトリ・ドライバ・スクリプトに実際は存在しない製品名またはグループ名をパスした場合のみ、この問題が発生します。

処置： 正しい製品またはグループ名を決定し、リポジトリ・マネージャのコールを変更してください。

XP-21129: '名前'用のリポジトリの有効性検査スクリプトがないか、または正しいステータスを戻すのに失敗しました。

原因： リポジトリ有効性検査スクリプトがないか、または無効な場合にのみ、この問題が発生します。

処置： スクリプトを確認し、操作を再試行してください。

XP-21130: リポジトリ・バージョンが <名前> に対して無効です。

原因： アップグレード・スクリプトの指定中に、無効なバージョンを入力しました。2つのバージョンは、現行のリポジトリ・バージョンと、アップグレード・スクリプト実行後のリポジトリ・バージョンに相当します。2つのバージョンは同じではなく、またどちらも空であってはなりません。

処置： リポジトリ・マネージャ・スクリプトを編集し、問題を修正してください。

XP-21131: <名前> のアップグレードを試みていますが、バージョン <バージョン> に対応するアクション・スクリプトが見つかりません。

原因： リポジトリ・マネージャは、アップグレード・スクリプトで処理できない特定のリポジトリ・バージョンを検出しました。

処置： リポジトリ・マネージャ制御スクリプトを編集して、指定したバージョンを処理できる必要なコンポーネントを追加してください。

XP-21132: エクスポート中に、エラーまたは警告が発生しました。

原因： エクスポート中に、何らかの警告またはエラーが検出されました。エクスポート・ファイルが不完全か、または使用不可能であることを示しています。

処置： エラー・メッセージおよびエクスポート.XDL ファイルを調べて、ファイルが有効で問題が深刻でないことを確実にしてください。

XP-21133: 値を指定する必要があります。

原因： 指定した属性に、空の文字列が指定されました。Oracle Expert サービスでは、文字列の指定が必要です。

処置： 有効な文字列を指定してください。

XP-21134: 操作は異常終了しました。

原因： 操作が完了しましたが、正常終了ではありません。操作中に何かに失敗したか、またはユーザーが操作を取り消したためです。

処置： 問題を修正して、再試行してください。

XP-21135: データベースへの接続が失われました。

原因： データベースへの Oracle Expert サービスの接続が失われました。データベースが停止している、または再起動している可能性があります。

処置： Oracle Expert サービスを終了して、データベースが実行していることを検証し、再起動してください。

XP-21136: レジストリ変数 '名前' が、次のいずれかの位置で見つかりませんでした：

location_1 location_2 location_3 product は終了します。

原因： Windows レジストリに、必要なレジストリ変数が見つかりませんでした。レジストリ・ファイルがインストーラで正しくロードされなかつたか、または値が手動で削除されています。

処置： 現行の製品を再インストールして、レジストリ・エントリの再ロードをしてください。

XP-21137: エクスポートする環境オブジェクトが見つかりませんでした。

原因： Oracle Expert サービス・リポジトリの環境をエクスポートしようとしたが、現在環境オブジェクトは存在しません。

処置： 環境オブジェクトを作成してからエクスポートを試行してください。

XP-21138: <名前> の有効性検査中に <名前> があいまいです（行 <行番号>、列 <列番号>）

原因： 指定した SQL エンティティの有効性検査中に、Oracle Expert サービスが複数の参照を検出しました。

処置： SQL 文が正しく作成されていることを確認し、オブジェクトの有効性検査を再試行してください。

XP-21139: <名前> の有効性検査中に <名前> が見つかりませんでした（行 <行番号>、列 <列番号>）。

原因： Oracle Expert サービスは、SQL 文内で外部参照を解決できませんでした。外部参照は有効な SQL エンティティである必要があります。

処置： 参照されるエンティティがすべて収集されていること、あるいは要求された有効範囲内にあることを確認し、オブジェクトの有効性検査を再度行ってください。

XP-21140: 参照される SQL エンティティが、ルーチン <名前> に見つかりませんでした。

原因： Oracle Expert サービスは、エクスパート・サブシステム・エンジンで参照された、指定の SQL エンティティ・クラス・オブジェクトを検出できませんでした。

処置： これはコーディング・エラーです。

XP-21141: 操作は正常に終了しました。

原因： 操作は正常に完了しました。

処置： なし

XP-21142: 指定した収集名の収集は、Trace Formatted データベース内にありません。収集名は大文字小文字を区別することに注意してください。

原因： 指定された名前を持つ収集は、Oracle Trace Formatted データベースに存在しません。

処置： 収集名の綴りと大文字・小文字をチェックしてください。

XP-21143: コマンド '名前' の実行に失敗しました。

原因： Oracle Expert は、別のプロセスでコマンドを実行しようとした際にエラーを受け取りました。

処置： コマンドが正しいことと、システム・リソースが十分であることを確認してください。

XP-21144: ターゲット・データベース内で、<名前> が見つかりませんでした。

原因： ターゲット・データベースから、存在しないオブジェクトを選択しようとしました。

処置： なし

XP-21145: 無効な OCI ハンドルが検出されました。

原因： OCI ルーチン・コール中に無効な OCI ハンドルがアクセスされました。

処置： これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21146: 要求されたスレッドが見つかりませんでした。

原因: 無効なスレッドがアクセスされました。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21147: 要求されたスレッドは、現在アクティブです。

原因: 要求されたスレッドは、まだ実行中です。

処置: これは、論理エラー、または Oracle Expert サービスでのインストール上の問題を示しています。オペレーティング・システム、Oracle Expert サービスのバージョン、リポジトリのデータベース・バージョン、失敗が発生した際に実行していた操作をまとめて、カスタマ・サポートにご連絡ください。

XP-21148: リポジトリ・ユーザー・アカウントは、いずれかのプロシージャを実行するシステム権限を必要とします。

原因: リポジトリのユーザー・アカウントには、Execute Any Procedure のシステム権限が付与されていません。

処置: DBMS_LOCK パッケージにアクセスした際の問題を示すエラーです。リポジトリ・ユーザー・アカウントに必要な権限を与えてください。

XP-21149: Oracle Management Serverとの接続に失敗しました。

原因: アプリケーションが、Oracle Management Serverと通信できません。

処置: Oracle Management Serverとの通信に伴う問題を示すエラーです。サーバーが稼働していること、クライアントの構成にサーバーへのアクセス権があることを確認し、ログイン・ボックスでユーザー名、パスワード、管理サーバー名が正しく入力されているかどうかをチェックしてください。

XP-21150: Enterprise Manager GetRepLogonInfo SDK 呼出しに失敗しました。

原因: アプリケーションが、Oracle Management Serverと通信できません。

処置: Oracle Management Serverとの通信に伴う問題を示すエラーです。サーバーが稼働していること、クライアントの構成にサーバーへのアクセス権があることを確認し、ログイン・ボックスでユーザー名、パスワード、管理サーバー名が正しく入力されているかどうかをチェックしてください。

XP-21151: Enterprise Manager GetObjectList SDK 呼出しに失敗しました。

原因: アプリケーションが、Oracle Management Serverと通信できません。

処置: Oracle Management Serverとの通信に伴う問題を示すエラーです。サーバーが稼働していること、クライアントの構成にサーバーへのアクセス権があることを確認し、ログイン・ボックスでユーザー名、パスワード、管理サーバー名が正しく入力されているかどうかをチェックしてください。

XP-21152: Enterprise Manager GetPreferredCredentials SDK 呼出しに失敗しました。

原因: アプリケーションが、Oracle Management Server と通信できません。

処置: Oracle Management Server との通信に伴う問題を示すエラーです。サーバーが稼働していること、クライアントの構成にサーバーへのアクセス権があることを確認し、ログイン・ポックスでユーザー名、パスワード、管理サーバー名が正しく入力されているかどうかをチェックしてください。

XP-21153: <> リポジトリの移行に失敗しました。エラー情報の詳細はファイル <> を参照してください。

原因: 製品のログ・ファイルに、製品固有の原因が見つかりました。

処置: リリース 1.x のリポジトリからリリース 2.0 のリポジトリへ製品を移行する際の一般的な問題を示すエラーです。具体的なエラーの詳細は、製品のログ・ファイルを参照してください。

XP-21154: SQL 解析機能のスタック・オーバーフローが発生しました。

原因: SQL 文が、Oracle Expert の解析機能を超えて複雑であることを示しています。

処置: デフォルトでは、この状態は Oracle Expert によって解析機能の構文エラーと判断されるため、この文はスキップされます。解析機能のスタック・オーバーフローは、今後のリリースで解決される予定です。

索引

A

Auto-Analyze メッセージ , 6-1

C

Capacity Planner メッセージ , 18-1

Change Management Pack メッセージ , 5-4 , 7-1 , 17-5
Change Management Pack メッセージ(クライアント層) , 20-1

D

Data Gatherer メッセージ , 14-1

Data Gatherer メッセージ(第2層) , 4-1

DBA Management Pack メッセージ(一般) , 5-1
DBA アプリケーション・メッセージ(クライアント層) , 17-1

E

EmSDK-1000 , 2-1

EmSDK-1002 , 2-1

EPC-00020 , 3-2

EPC-00046 , 3-2

EPC-00055 , 3-2

EPC-00056 , 3-2

EPC-00063 , 3-3

EPC-00064 , 3-3

EPC-00065 , 3-3

EPC-00066 , 3-3

EPC-00067 , 3-3

EPC-00084 , 3-4

EPC-00087 , 3-4

EPC-00116 , 3-4

EPC-00133 , 3-4

EPC-00146 , 3-4

EPC-00148 , 3-4

EPC-00149 , 3-4

EPC-00150 , 3-5

EPC-00151 , 3-5

EPC-00157 , 3-5

EPC-00158 , 3-5

EPC-00159 , 3-5

EPC-00169 , 3-5

EPC-00170 , 3-5

EPC-00173 , 3-6

EPC-00175 , 3-6

EPC-00176 , 3-6

EPC-00177 , 3-6

EPC-00179 , 3-6

EPC-00180 , 3-7

EPC-00181 , 3-7

EPC-00182 , 3-7

EPC-00186 , 3-7

EPC-00189 , 3-7

EPC-00235 , 3-7

EPC-00236 , 3-7

EPC-00308 , 3-7

EPC-00309 , 3-8

EPC-00344 , 3-8

EPC-00349 , 3-8

EPC-00350 , 3-8

EPC-00351 , 3-8

EPC-00352 , 3-9

EPCW-00001 , 3-9

EPCW-00002 , 3-9

EPCW-00003 , 3-9

EPCW-00004 , 3-9

EPCW-00005 , 3-10

EPCW-00006 , 3-10	EPCW-01000 , 3-17
EPCW-00007 , 3-10	EPCW-01001 , 3-18
EPCW-00008 , 3-10	EPCW-01002 , 3-18
EPCW-00009 , 3-10	EPCW-01003 , 3-18
EPCW-00010 , 3-10	EPCW-01004 , 3-18
EPCW-00011 , 3-10	EPCW-01005 , 3-18
EPCW-00012 , 3-10	EPCW-01006 , 3-18
EPCW-00013 , 3-11	EPCW-01007 , 3-18
EPCW-00014 , 3-11	EPCW-01008 , 3-19
EPCW-00015 , 3-11	EPCW-01009 , 3-19
EPCW-00016 , 3-11	EPCW-01010 , 3-19
EPCW-00017 , 3-11	EPCW-01011 , 3-19
EPCW-00018 , 3-12	EPCW-01012 , 3-19
EPCW-00019 , 3-12	EPCW-01013 , 3-19
EPCW-00020 , 3-12	EPCW-01014 , 3-19
EPCW-00021 , 3-12	EPCW-01015 , 3-19
EPCW-00022 , 3-12	EPCW-01016 , 3-20
EPCW-00023 , 3-12	EPCW-01017 , 3-20
EPCW-00024 , 3-13	EPCW-01018 , 3-20
EPCW-00025 , 3-13	EPCW-01019 , 3-20
EPCW-00026 , 3-13	EPCW-01020 , 3-20
EPCW-00027 , 3-13	EPCW-01021 , 3-20
EPCW-00028 , 3-13	EPCW-01022 , 3-21
EPCW-00029 , 3-13	Expert サービス・メッセージ , 23-1
EPCW-00030 , 3-13	
EPCW-00031 , 3-14	
EPCW-00032 , 3-14	
EPCW-00033 , 3-14	
EPCW-00034 , 3-14	
EPCW-00035 , 3-14	
EPCW-00036 , 3-15	
EPCW-00037 , 3-15	
EPCW-00038 , 3-15	
EPCW-00039 , 3-15	
EPCW-00040 , 3-16	
EPCW-00041 , 3-16	
EPCW-00042 , 3-16	
EPCW-00043 , 3-16	
EPCW-00044 , 3-16	
EPCW-00045 , 3-16	
EPCW-00046 , 3-16	
EPCW-00047 , 3-16	
EPCW-00048 , 3-16	
EPCW-00049 , 3-17	
EPCW-00050 , 3-17	
EPCW-00051 , 3-17	
EPCW-00052 , 3-17	

	I
Index Tuning Wizard メッセージ (第 2 層) , 6-1	
Instance Manager クライアント・メッセージ , 17-4	
Instance Manager メッセージ , 5-3	

	M
Management Pack メッセージ (クライアント層) , 17-1	
Management Pack メッセージ (第 2 層) , 5-1	
Management Server メッセージ , 21-1	

	N
Naming Service メッセージ , 22-1	
NMC メッセージ , 1-2	
NMO メッセージ , 1-2	
NMP メッセージ , 1-3	
NMR メッセージ , 1-2	
NNC メッセージ , 1-3	
NNL メッセージ , 1-3	

NNO メッセージ , 1-3
NPL メッセージ , 1-3

O

ODG-05001 , 4-1
ODG-05002 , 4-1
ODG-05003 , 4-1
ODG-05004 , 4-1
ODG-05005 , 4-1
ODG-05006 , 4-2
ODG-05007 , 4-2
ODG-05008 , 4-2
ODG-05009 , 4-2
ODG-05010 , 4-2
ODG-05011 , 4-2
ODG-05013 , 4-2
ODG-05014 , 4-2
ODG-05016 , 4-3
ODG-05017 , 4-3
ODG-05018 , 4-3
ODG-05019 , 4-3
ODG-05020 , 4-3
ODG-05021 , 4-3
ODG-05022 , 4-3
ODG-05023 , 4-4
ODG-05024 , 4-4
ODG-05025 , 4-4
ODG-05026 , 4-4
ODG-05027 , 4-4
ODG-05028 , 4-4
ODG-05029 , 4-4
ODG-05030 , 4-4
ODG-05031 , 4-4
ODG-05032 , 4-4
ODG-05033 , 4-5
ODG-05034 , 4-5
ODG-05035 , 4-5
ODG-05036 , 4-5
ODG-05037 , 4-5
ODG-05038 , 4-5
ODG-05039 , 4-5
ODG-05040 , 4-5
ODG-05041 , 4-5
ODG-05042 , 4-5
ODG-05043 , 4-6
ODG-05044 , 4-6
ODG-05045 , 4-6
ODG-05046 , 4-6
ODG-05047 , 4-6
ODG-05048 , 4-6
ODG-05049 , 4-6
ODG-05050 , 4-6
ODG-05051 , 4-6
ODG-05052 , 4-6
ODG-05053 , 4-7
ODG-05054 , 4-7
ODG-05055 , 4-7
ODG-05056 , 4-7
ODG-05057 , 4-7
ODG-05058 , 4-7
ODG-05059 , 4-7
ODG-05060 , 4-7
ODG-05061 , 4-7
ODG-05062 , 4-7
ODG-05063 , 4-8
ODG-05064 , 4-8
ODG-05065 , 4-8
ODG-05066 , 4-8
ODG-05067 , 4-8
ODG-05068 , 4-8
ODG-05069 , 4-8
ODG-05070 , 4-8
ODG-05071 , 4-8
ODG-05072 , 4-9
ODG-05073 , 4-9
ODG-05074 , 4-9
ODG-05075 , 4-9
ODG-05076 , 4-9
ODG-05077 , 4-9
ODG-05078 , 4-9
ODG-05079 , 4-9
ODG-05080 , 4-9
ODG-05081 , 4-10
ODG-05082 , 4-10
ODG-05083 , 4-10
ODG-05084 , 4-10
ODG-05085 , 4-10
ODG-05086 , 4-10
ODG-05087 , 4-10
ODG-05088 , 4-10
ODG-05089 , 4-11
ODG-05090 , 4-11
ODG-05091 , 4-11

ODG-05092 , 4-11
ODG-05093 , 4-11
ODG-05094 , 4-11
ODG-05095 , 4-11
ODG-05096 , 4-11
ODG-05097 , 4-11
ODG-05098 , 4-12
ODG-05099 , 4-12
ODG-05100 , 4-12
ODG-05101 , 4-12
ODG-05104 , 4-12
ODG-05105 , 4-12
ODG-05106 , 4-12
ODG-05107 , 4-12
ODG-05108 , 4-13
ODG-05109 , 4-13
ODG-05110 , 4-13
ODG-05111 , 4-13
ODG-05112 , 4-13
ODG-05113 , 4-13
ODG-05114 , 4-13
ODG-05115 , 4-14
ODG-05116 , 4-14
ODG-05117 , 4-14
ODG-05118 , 4-14
ODG-05119 , 4-14
ODG-05120 , 4-14
ODG-05121 , 4-15
ODG-05122 , 4-15
ODG-05123 , 4-15
ODG-05124 , 4-15
ODG-05125 , 4-15
ODG-05126 , 4-15
ODG-05127 , 4-15
ODG-05128 , 4-16
ODG-05129 , 4-16
ODG-05130 , 4-16
ODG-05131 , 4-16
ODG-05132 , 4-16
ODG-05133 , 4-16
ODG-05134 , 4-16
ODG-05135 , 4-17
ODG-05136 , 4-17
ODG-05137 , 4-17
ODG-05138 , 4-17
ODG-05139 , 4-17
ODG-05140 , 4-17
ODG-05141 , 4-17
ODG-05142 , 4-17
ODG-05143 , 4-17
ODG-05144 , 4-17
ODG-05145 , 4-18
ODG-05146 , 4-18
ODG-05147 , 4-18
ODG-05148 , 4-18
ODG-05149 , 4-18
ODG-05150 , 4-18
ODG-05151 , 4-18
ODG-05152 , 4-18
ODG-05153 , 4-19
ODG-05154 , 4-19
ODG-05155 , 4-19
ODG-05156 , 4-19
ODG-05157 , 4-19
ODG-05158 , 4-19
ODG-05159 , 4-19
ODG-05160 , 4-19
ODG-05161 , 4-20
ODG-05162 , 4-20
ODG-05163 , 4-20
ODG-05164 , 4-20
ODG-05165 , 4-20
ODG-05166 , 4-20
ODG-05167 , 4-20
ODG-05168 , 4-21
ODG-05169 , 4-21
ODG-05170 , 4-21
ODG-05171 , 4-21
ODG-05172 , 4-21
ODG-05173 , 4-21
ODG-05174 , 4-21
ODG-05175 , 4-22
ODG-05176 , 4-22
ODG-05177 , 4-22
ODG-05178 , 4-22
ODG-05179 , 4-22
ODG-05180 , 4-22
ODG-05181 , 4-22
ODG-05182 , 4-23
ODG-05183 , 4-23
ODG-05184 , 4-23
ODG-05185 , 4-23
ODG-05186 , 4-23
ODG-05187 , 4-23

ODG-05188 , 4-23
ODG-05189 , 4-24
ODG-05190 , 4-24
ODG-05191 , 4-24
ODG-05192 , 4-24
ODG-05193 , 4-24
ODG-05194 , 4-24
ODG-05195 , 4-24
ODG-05196 , 4-25
ODG-05197 , 4-25
ODG-05198 , 4-25
ODG-05199 , 4-25
ODG-05200 , 4-25
ODG-05201 , 4-25
ODG-05202 , 4-25
ODG-05203 , 4-26
ODG-05204 , 4-26
ODG-05205 , 4-26
ODG-05206 , 4-26
ODG-05207 , 4-26
ODG-05208 , 4-26
ODG-05209 , 4-26
ODG-05210 , 4-27
ODG-05211 , 4-27
ODG-05212 , 4-27
ODG-05213 , 4-27
ODG-05214 , 4-27
ODG-05215 , 4-27
ODG-05216 , 4-27
ODG-05217 , 4-28
ODG-05218 , 4-28
ODG-05219 , 4-28
ODG-05220 , 4-28
ODG-05221 , 4-28
ODG-05222 , 4-28
ODG-05223 , 4-28
ODG-05224 , 4-29
ODG-05225 , 4-29
ODG-05226 , 4-29
ODG-05227 , 4-29
ODG-05228 , 4-29
ODG-05229 , 4-29
ODG-05230 , 4-29
ODG-05231 , 4-30
ODG-05232 , 4-30
ODG-05233 , 4-30
ODG-05234 , 4-30
ODG-05235 , 4-30
ODG-05236 , 4-30
ODG-05237 , 4-30
ODG-05238 , 4-31
ODG-05239 , 4-31
ODG-05240 , 4-31
ODG-05241 , 4-31
ODG-05242 , 4-31
ODG-05243 , 4-31
ODG-05244 , 4-31
ODG-05245 , 4-32
ODG-05246 , 4-32
ODG-05247 , 4-32
ODG-05248 , 4-32
ODG-05249 , 4-32
ODG-05250 , 4-32
ODG-05251 , 4-32
ODG-05252 , 4-33
ODG-05253 , 4-33
ODG-05254 , 4-33
ODG-05255 , 4-33
ODG-05256 , 4-33
ODG-05257 , 4-33
ODG-05258 , 4-33
ODG-05259 , 4-34
ODG-05260 , 4-34
ODG-05261 , 4-34
ODG-05262 , 4-34
ODG-05263 , 4-34
ODG-05264 , 4-34
ODG-05265 , 4-34
ODG-05266 , 4-35
ODG-05267 , 4-35
ODG-05268 , 4-35
ODG-05269 , 4-35
ODG-05270 , 4-35
ODG-05271 , 4-35
ODG-05272 , 4-35
ODG-05273 , 4-36
ODG-05274 , 4-36
ODG-05275 , 4-36
ODG-05276 , 4-36
ODG-05277 , 4-36
ODG-05278 , 4-36
ODG-05279 , 4-36
ODG-05280 , 4-37
ODG-05281 , 4-37

ODG-05282 , 4-37
ODG-05283 , 4-37
ODG-05284 , 4-37
ODG-05285 , 4-37
ODG-05286 , 4-37
ODG-05287 , 4-38
ODG-05288 , 4-38
ODG-05289 , 4-38
ODG-05290 , 4-38
ODG-05291 , 4-38
ODG-05292 , 4-38
ODG-05293 , 4-38
ODG-05294 , 4-39
ODG-05295 , 4-39
ODG-05296 , 4-39
ODG-05297 , 4-39
ODG-05298 , 4-39
ODG-05299 , 4-39
ODG-05300 , 4-39
ODG-05301 , 4-40
ODG-05302 , 4-40
ODG-05303 , 4-40
ODG-05304 , 4-40
ODG-05305 , 4-40
ODG-05306 , 4-40
ODG-05307 , 4-40
ODG-05308 , 4-41
ODG-05309 , 4-41
ODG-05311 , 4-41
ODG-05312 , 4-41
ODG-05313 , 4-41
ODG-05314 , 4-41
ODG-05315 , 4-42
ODG-05316 , 4-42
ODG-05317 , 4-42
ODG-05318 , 4-42
ODG-05319 , 4-42
ODG-05320 , 4-42
ODG-05321 , 4-42
ODG-05322 , 4-42
ODG-05323 , 4-42
ODG-05324 , 4-43
ODG-05325 , 4-43
ODG-05326 , 4-43
ODG-05327 , 4-43
ODG-05328 , 4-43
ODG-05329 , 4-43
ODG-05330 , 4-43
ODG-05331 , 4-43
ODG-05332 , 4-43
ODG-05333 , 4-44
ODG-05334 , 4-44
ODG-05335 , 4-44
ODG-05336 , 4-44
ODG-05337 , 4-44
ODG-05338 , 4-44
ODG-05339 , 4-44
ODG-05340 , 4-45
ODG-05341 , 4-45
ODG-05342 , 4-45
ODG-05343 , 4-45
ODG-05344 , 4-45
ODG-05345 , 4-45
ODG-05346 , 4-45
ODG-05347 , 4-46
ODG-05348 , 4-46
ODG-05349 , 4-46
ODG-05350 , 4-46
ODG-05351 , 4-46
ODG-05352 , 4-46
ODG-05353 , 4-46
ODG-05354 , 4-46
ODG-05355 , 4-47
ODG-05356 , 4-47
ODG-05357 , 4-47
ODG-05358 , 4-47
ODG-05359 , 4-47
ODG-05360 , 4-47
ODG-05361 , 4-47
ODG-05362 , 4-48
ODG-05363 , 4-48
ODG-05364 , 4-48
ODG-05365 , 4-48
ODG-05366 , 4-48
ODG-05367 , 4-48
ODG-05368 , 4-48
ODG-05369 , 4-49
ODG-05370 , 4-49
ODG-05371 , 4-49
ODG-05372 , 4-49
ODG-05373 , 4-49
ODG-05374 , 4-49
ODG-05375 , 4-49
ODG-05376 , 4-50

ODG-05377 , 4-50
ODG-05378 , 4-50
ODG-05379 , 4-50
ODG-05380 , 4-50
ODG-05381 , 4-50
ODG-05382 , 4-50
ODG-05383 , 4-51
ODG-05384 , 4-51
ODG-05385 , 4-51
ODG-05386 , 4-51
ODG-05387 , 4-51
ODG-05388 , 4-51
ODG-05389 , 4-51
ODG-05390 , 4-52
ODG-05391 , 4-52
ODG-05392 , 4-52
ODG-05393 , 4-52
ODG-05394 , 4-52
ODG-05395 , 4-52
ODG-05396 , 4-52
ODG-05397 , 4-53
ODG-05398 , 4-53
ODG-05399 , 4-53
ODG-05400 , 4-53
ODG-05401 , 4-53
ODG-05402 , 4-53
ODG-05403 , 4-53
ODG-05404 , 4-54
ODG-05405 , 4-54
ODG-05406 , 4-54
ODG-05407 , 4-54
ODG-05408 , 4-54
ODG-05409 , 4-54
ODG-05410 , 4-54
ODG-05411 , 4-55
ODG-05412 , 4-55
ODG-05413 , 4-55
ODG-05414 , 4-55
ODG-05415 , 4-55
ODG-05416 , 4-55
ODG-05417 , 4-55
ODG-05418 , 4-56
ODG-05419 , 4-56
ODG-05420 , 4-56
ODG-05421 , 4-56
ODG-05422 , 4-56
ODG-05423 , 4-56
ODG-05424 , 4-56
ODG-05425 , 4-57
ODG-05426 , 4-57
ODG-05427 , 4-57
ODG-05428 , 4-57
ODG-05429 , 4-57
ODG-05430 , 4-57
ODG-05431 , 4-57
ODG-05432 , 4-58
ODG-05433 , 4-58
ODG-05434 , 4-58
ODG-05435 , 4-58
ODG-05436 , 4-58
ODG-05437 , 4-58
ODG-05438 , 4-58
ODG-05439 , 4-59
ODG-05440 , 4-59
ODG-05441 , 4-59
ODG-05442 , 4-59
ODG-05443 , 4-59
ODG-05444 , 4-59
ODG-05445 , 4-59
ODG-05446 , 4-60
ODG-05447 , 4-60
ODG-05448 , 4-60
ODG-05449 , 4-60
ODG-05450 , 4-60
ODG-05451 , 4-60
ODG-05453 , 4-60
ODG-05454 , 4-61
ODG-05455 , 4-61
ODG-05456 , 4-61
ODG-05457 , 4-61
ODG-05458 , 4-61
ODG-05459 , 4-61
ODG-05460 , 4-61
ODG-05461 , 4-62
ODG-05462 , 4-62
ODG-05463 , 4-62
ODG-05464 , 4-62
ODG-05465 , 4-62
ODG-05466 , 4-62
ODG-05467 , 4-62
ODG-05468 , 4-62
ODG-05469 , 4-63
ODG-05470 , 4-63
ODG-05471 , 4-63

ODG-05472 , 4-63
ODG-05473 , 4-63
ODG-05474 , 4-63
ODG-05475 , 4-63
ODG-05476 , 4-63
ODG-05477 , 4-64
ODG-05478 , 4-64
ODG-05479 , 4-64
ODG-05480 , 4-64
ODG-05481 , 4-64
ODG-05482 , 4-64
ODG-05483 , 4-64
ODG-05484 , 4-65
ODG-05485 , 4-65
ODG-05486 , 4-65
ODG-05487 , 4-65
ODG-05488 , 4-65
ODG-05489 , 4-65
ODG-05490 , 4-65
ODG-05491 , 4-65
ODG-05492 , 4-65
ODG-05493 , 4-66
ODG-05494 , 4-66
ODG-05495 , 4-66
ODG-05496 , 4-66
ODG-05497 , 4-66
ODG-05498 , 4-66
ODG-05499 , 4-66
ODG-05500 , 4-66
ODG-05501 , 4-67
ODG-05502 , 4-67
ODG-05503 , 4-67
ODG-05504 , 4-67
ODG-05505 , 4-67
ODG-05506 , 4-68
ODG-05507 , 4-68
ODG-05508 , 4-68
ODG-05509 , 4-68
ODG-05510 , 4-68
ODG-05511 , 4-68
ODG-05512 , 4-68
ODG-05513 , 4-68
ODG-05514 , 4-68
ODG-05515 , 4-69
ODG-05516 , 4-69
ODG-05517 , 4-69
ODG-05518 , 4-69
ODG-05519 , 4-69
ODG-05520 , 4-69
ODG-05521 , 4-69
ODG-05522 , 4-69
ODG-05523 , 4-69
ODG-05524 , 4-70
ODG-05525 , 4-70
ODG-05526 , 4-70
ODG-05527 , 4-70
ODG-05528 , 4-70
ODG-05529 , 4-70
ODG-05530 , 4-70
ODG-05531 , 4-70
ODG-05532 , 4-71
ODG-05533 , 4-71
ODG-05534 , 4-71
ODG-05535 , 4-71
ODG-05536 , 4-71
ODG-05537 , 4-71
ODG-05538 , 4-71
ODG-05539 , 4-71
ODG-05540 , 4-72
ODG-05541 , 4-72
ODG-05542 , 4-72
ODG-05543 , 4-72
ODG-05544 , 4-72
ODG-05545 , 4-72
ODG-05546 , 4-72
ODG-05547 , 4-72
ODG-05548 , 4-73
ODG-05549 , 4-73
ODG-05550 , 4-73
ODG-05551 , 4-73
ODG-05552 , 4-73
ODG-05553 , 4-73
ODG-05554 , 4-73
ODG-05555 , 4-74
ODG-05556 , 4-74
ODG-05557 , 4-74
ODG-05558 , 4-74
ODG-05559 , 4-74
ODG-05560 , 4-74
ODG-05561 , 4-74
ODG-05562 , 4-75
ODG-05563 , 4-75
ODG-05564 , 4-75
ODG-05565 , 4-75

ODG-05566 , 4-75
ODG-05567 , 4-75
ODG-05568 , 4-75
ODG-05569 , 4-75
ODG-05570 , 4-75
ODG-05571 , 4-76
ODG-05572 , 4-76
ODG-05573 , 4-76
ODG-05574 , 4-76
ODG-05575 , 4-76
ODG-05576 , 4-76
ODG-05577 , 4-76
ODG-05578 , 4-76
ODG-05579 , 4-77
ODG-05580 , 4-77
ODG-05581 , 4-77
ODG-05582 , 4-77
ODG-05583 , 4-77
ODG-05584 , 4-77
ODG-05585 , 4-77
ODG-05586 , 4-78
ODG-05587 , 4-78
ODG-05588 , 4-78
ODG-05589 , 4-78
ODG-05590 , 4-78
ODG-05591 , 4-78
ODG-05592 , 4-78
ODG-05593 , 4-79
ODG-05594 , 4-79
ODG-05595 , 4-79
ODG-05596 , 4-79
ODG-05597 , 4-79
ODG-05598 , 4-79
ODG-05599 , 4-79
ODG-05600 , 4-80
ODG-05601 , 4-80
ODG-05602 , 4-80
ODG-05603 , 4-80
ODG-05604 , 4-80
ODG-05605 , 4-80
ODG-05606 , 4-80
ODG-05607 , 4-81
ODG-05608 , 4-81
ODG-05609 , 4-81
ODG-05610 , 4-81
ODG-05611 , 4-81
ODG-05612 , 4-81
ODG-05613 , 4-81
ODG-05614 , 4-82
ODG-05615 , 4-82
ODG-05616 , 4-82
ODG-05617 , 4-82
ODG-05618 , 4-82
ODG-05619 , 4-82
ODG-05620 , 4-82
ODG-05621 , 4-82
ODG-05622 , 4-83
ODG-05623 , 4-83
ODG-05624 , 4-83
ODG-05625 , 4-83
ODG-05626 , 4-83
ODG-05627 , 4-83
ODG-05628 , 4-83
ODG-05629 , 4-84
ODG-05630 , 4-84
ODG-05631 , 4-84
ODG-05632 , 4-84
ODG-05633 , 4-84
ODG-05634 , 4-84
ODG-05635 , 4-84
ODG-05636 , 4-85
ODG-05637 , 4-85
ODG-05638 , 4-85
ODG-05639 , 4-85
ODG-05640 , 4-85
ODG-05641 , 4-85
ODG-05642 , 4-85
ODG-05643 , 4-86
ODG-05644 , 4-86
ODG-05645 , 4-86
ODG-05646 , 4-86
ODG-05647 , 4-86
ODG-05648 , 4-86
ODG-05649 , 4-86
ODG-05650 , 4-86
ODG-05651 , 4-86
ODG-05652 , 4-87
ODG-05653 , 4-87
ODG-05654 , 4-87
ODG-05655 , 4-87
ODG-05656 , 4-87
ODG-05657 , 4-87
ODG-05658 , 4-88
ODG-05659 , 4-88

ODG-05660 , 4-88
ODG-05661 , 4-88
ODG-05662 , 4-88
ODG-05663 , 4-88
ODG-05664 , 4-88
ODG-05665 , 4-89
ODG-05666 , 4-89
ODG-05667 , 4-89
ODG-05668 , 4-89
ODG-05669 , 4-89
ODG-05670 , 4-89
ODG-05671 , 4-89
ODG-05672 , 4-90
ODG-05673 , 4-90
ODG-05674 , 4-90
ODG-05675 , 4-90
ODG-05676 , 4-90
ODG-05677 , 4-90
ODG-05678 , 4-90
ODG-05679 , 4-91
ODG-05680 , 4-91
ODG-05681 , 4-91
ODG-05682 , 4-91
ODG-05683 , 4-91
ODG-05684 , 4-91
ODG-05685 , 4-91
ODG-05686 , 4-92
ODG-05687 , 4-92
ODG-05688 , 4-92
ODG-05689 , 4-92
ODG-05690 , 4-92
ODG-05691 , 4-92
ODG-05692 , 4-92
ODG-05693 , 4-93
ODG-05694 , 4-93
ODG-05695 , 4-93
ODG-05696 , 4-93
ODG-05697 , 4-93
ODG-05698 , 4-93
ODG-05699 , 4-93
ODG-05700 , 4-94
ODG-05701 , 4-94
ODG-05702 , 4-94
ODG-05703 , 4-94
ODG-05704 , 4-94
ODG-05705 , 4-94
ODG-05706 , 4-94
ODG-05707 , 4-95
ODG-05708 , 4-95
ODG-05709 , 4-95
ODG-05710 , 4-95
ODG-05711 , 4-95
ODG-05712 , 4-95
ODG-05713 , 4-95
ODG-05714 , 4-96
ODG-05715 , 4-96
ODG-05716 , 4-96
ODG-05717 , 4-96
ODG-05718 , 4-96
ODG-05719 , 4-96
ODG-05720 , 4-96
ODG-05721 , 4-97
ODG-05722 , 4-97
ODG-05723 , 4-97
ODG-05724 , 4-97
ODG-05725 , 4-97
ODG-05726 , 4-97
ODG-05727 , 4-97
ODG-05728 , 4-98
ODG-05729 , 4-98
ODG-05730 , 4-98
ODG-05731 , 4-98
ODG-05732 , 4-98
ODG-05733 , 4-98
ODG-05734 , 4-98
ODG-05735 , 4-99
ODG-05736 , 4-99
ODG-05737 , 4-99
ODG-05738 , 4-99
ODG-05739 , 4-99
ODG-05740 , 4-99
ODG-05741 , 4-99
ODG-05742 , 4-100
ODG-05743 , 4-100
ODG-05744 , 4-100
ODG-05745 , 4-100
ODG-05746 , 4-100
ODG-05747 , 4-100
ODG-05748 , 4-100
ODG-05749 , 4-101
ODG-05750 , 4-101
ODG-05751 , 4-101
ODG-05752 , 4-101
ODG-05753 , 4-101

ODG-05754 , 4-101
ODG-05755 , 4-101
ODG-05756 , 4-102
ODG-05757 , 4-102
ODG-05758 , 4-102
ODG-05759 , 4-102
ODG-05760 , 4-102
ODG-05761 , 4-102
ODG-05762 , 4-102
ODG-05763 , 4-102
ODG-05764 , 4-103
ODG-05765 , 4-103
ODG-05766 , 4-103
ODG-05767 , 4-103
ODG-05768 , 4-103
ODG-05769 , 4-103
ODG-05770 , 4-103
ODG-05771 , 4-103
ODG-05772 , 4-104
ODG-05773 , 4-104
ODG-05774 , 4-104
ODG-05775 , 4-104
ODG-05776 , 4-104
ODG-05777 , 4-104
ODG-05778 , 4-104
ODG-05779 , 4-105
ODG-05782 , 4-105
ODG-05783 , 4-105
ODG-05784 , 4-105
ODG-05785 , 4-105
ODG-05786 , 4-105
ODG-05787 , 4-105
ODG-05788 , 4-106
ODG-05789 , 4-106
ODG-05790 , 4-106
ODG-05791 , 4-106
ODG-05792 , 4-106
ODG-05793 , 4-106
ODG-05794 , 4-106
ODG-05795 , 4-106
ODG-05796 , 4-107
ODG-05797 , 4-107
ODG-05798 , 4-107
ODG-05799 , 4-107
ODG-05800 , 4-107
ODG-05801 , 4-107
ODG-05802 , 4-108
ODG-05803 , 4-108
ODG-05804 , 4-108
ODG-05805 , 4-108
ODG-05806 , 4-108
ODG-05807 , 4-108
ODG-05808 , 4-108
ODG-05809 , 4-108
ODG-05810 , 4-109
ODG-05811 , 4-109
ODG-05812 , 4-109
ODG-05813 , 4-109
ODG-05814 , 4-109
ODG-05815 , 4-109
ODG-05816 , 4-109
ODG-05817 , 4-110
ODG-05818 , 4-110
ODG-05819 , 4-110
ODG-05820 , 4-110
ODG-05821 , 4-110
ODG-05822 , 4-110
ODG-05823 , 4-110
ODG-05824 , 4-110
ODG-05825 , 4-111
ODG-05826 , 4-111
ODG-05827 , 4-111
ODG-05828 , 4-111
ODG-05829 , 4-111
ODG-05830 , 4-111
ODG-05831 , 4-111
ODG-05832 , 4-112
ODG-05833 , 4-112
ODG-05834 , 4-112
ODG-05835 , 4-112
ODG-05836 , 4-112
ODG-05837 , 4-112
ODG-05838 , 4-112
ODG-05839 , 4-112
ODG-05840 , 4-113
ODG-05841 , 4-113
ODG-05842 , 4-113
Oracle Capacity Planner メッセージ , 18-1
Oracle Change Management Pack メッセージ (クライアント層) , 20-1
Oracle Data Gatherer メッセージ , 14-1
Oracle Data Gatherer メッセージ (第 2 層) , 4-1
Oracle Enterprise Manager フレームワーク・メッセージ , 8-1

Oracle Expert サービス・メッセージ , 23-1
Oracle Management Server メッセージ , 21-1
Oracle Management Server メッセージ(クライアント層) , 15-1
Oracle Performance Manager メッセージ , 16-1
Oracle SQL Analyze サービス・メッセージ , 9-1
Oracle SQL*Plus Worksheet メッセージ , 19-1
Oracle Tablespace Manager メッセージ , 11-1
Oracle Top Sessions メッセージ , 10-1
Oracle Trace メッセージ , 3-1
ORA メッセージ , 1-3

P

Performance Manager メッセージ , 16-1

S

Schema Manager メッセージ , 5-4
SDK (Software Developer Kit) メッセージ , 2-1
Software Developer Kit (SDK) メッセージ , 2-1
SQL Analyze サービス・メッセージ , 9-1
SQL*Plus Worksheet メッセージ , 19-1
Storage Manager クライアント・メッセージ , 17-4
Storage Manager メッセージ , 5-2

T

Tablespace Manager メッセージ , 11-1
TNS メッセージ , 1-2
Top Sessions メッセージ , 10-1
Trace メッセージ , 3-1

V

VBO-1000 , 5-1
VBO-1001 , 5-1
VBO-1002 , 5-1
VBO-1003 , 5-2
VBOG-2000 , 5-2
VBOG-2001 , 5-2
VBOG-2002 , 5-2
VBOG-2003 , 5-2
VBOG-2004 , 5-2
VBOG-2005 , 5-2
VBOG-2006 , 5-2
VBOG-2007 , 5-2
VBOG-2008 , 5-3
VBOG-2009 , 5-3
VBOG-2010 , 5-3
VBOG-2011 , 5-3
VBOI-3000 , 5-3
VBOI-3001 , 5-3
VBOI-3002 , 5-3
VBOI-3003 , 5-3
VBOI-3004 , 5-3
VBOI-3005 , 5-4
VBOS-4000 , 5-4
VBOS-4001 , 5-4
VBOS-4002 , 5-4
VBOZ-2000 , 5-4
VBOZ-2002 , 5-4
VBOZ-5000 , 5-4
VBOZ-5001 , 5-5
VBOZ-5002 , 5-5
VBOZ-5005 , 5-5
VBUI-1000 , 6-1
VBUI-1001 , 6-1
VBUI-1002 , 6-1
VBUI-1003 , 6-1
VBUI-1004 , 6-1
VBUI-1006 , 6-2
VBUI-1007 , 6-2
VBUI-1008 , 6-2
VBUI-1009 , 6-2
VBZ-1049 , 7-1
VBZ-3118 , 7-1
VBZ-3119 , 7-1
VBZ-3120 , 7-2
VBZ-3121 , 7-2
VBZU-1006 , 7-2
VBZU-1009 , 7-2
VDE-1003 , 8-1
VDE-1004 , 8-1
VDI-001 , 8-1
VDI-002 , 8-2
VDOUS-00101 , 8-2
VDOUS-00102 , 8-2
VDOUS-00103 , 8-2
VDOUS-00104 , 8-2
VDOUS-00106 , 8-2
VDOUS-00107 , 8-2
VDOUS-00108 , 8-2
VDOUS-00109 , 8-3

VDOUS-00110 , 8-3	VMQ-00047 , 9-6
VDOUS-00111 , 8-3	VMQ-00048 , 9-6
VDOUS-00112 , 8-3	VMQ-00049 , 9-6
VDOUS-00113 , 8-3	VMQ-00050 , 9-7
VDOUS-00114 , 8-3	VMQ-00051 , 9-7
VDOUS-00115 , 8-3	VMQ-00052 , 9-7
VDR-7000 , 8-3	VMQ-00053 , 9-7
VDR-7001 , 8-4	VMQ-00054 , 9-7
VDU-6000 , 8-4	VMQ-00055 , 9-7
VMQ-00001 , 9-1	VMS-00001 , 10-1
VMQ-00002 , 9-1	VMS-00002 , 10-1
VMQ-00003 , 9-1	VMS-00003 , 10-1
VMQ-00004 , 9-1	VMS-00004 , 10-1
VMQ-00005 , 9-1	VMS-01000 , 10-2
VMQ-00006 , 9-2	VMS-01001 , 10-2
VMQ-00007 , 9-2	VMS-01002 , 10-2
VMQ-00008 , 9-2	VMS-01003 , 10-2
VMQ-00009 , 9-2	VMS-01004 , 10-2
VMQ-00010 , 9-2	VMS-01005 , 10-2
VMQ-00011 , 9-2	VMS-01006 , 10-3
VMQ-00017 , 9-2	VMS-01007 , 10-3
VMQ-00018 , 9-3	VMS-01008 , 10-3
VMQ-00019 , 9-3	VMS-01009 , 10-3
VMQ-00020 , 9-3	VMS-01010 , 10-3
VMQ-00021 , 9-3	VMS-01011 , 10-3
VMQ-00022 , 9-3	VMS-01012 , 10-3
VMQ-00023 , 9-3	VMS-01013 , 10-3
VMQ-00026 , 9-3	VMS-01014 , 10-4
VMQ-00027 , 9-4	VMS-01015 , 10-4
VMQ-00028 , 9-4	VMS-01016 , 10-4
VMQ-00030 , 9-4	VMS-02000 , 10-4
VMQ-00031 , 9-4	VMS-02001 , 10-4
VMQ-00032 , 9-4	VMS-02002 , 10-4
VMQ-00033 , 9-4	VMS-02003 , 10-4
VMQ-00034 , 9-4	VMS-02004 , 10-4
VMQ-00035 , 9-4	VMS-02005 , 10-5
VMQ-00036 , 9-5	VMS-02006 , 10-5
VMQ-00037 , 9-5	VMS-02007 , 10-5
VMQ-00038 , 9-5	VMS-02008 , 10-5
VMQ-00039 , 9-5	VMS-02009 , 10-5
VMQ-00040 , 9-5	VMT-00401 , 11-1
VMQ-00041 , 9-5	VMT-00402 , 11-1
VMQ-00042 , 9-5	VMT-00403 , 11-1
VMQ-00043 , 9-6	VMT-00404 , 11-1
VMQ-00044 , 9-6	VMT-00405 , 11-1
VMQ-00045 , 9-6	VMT-00406 , 11-2
VMQ-00046 , 9-6	VMT-00407 , 11-2

VMT-00408 , 11-2	VNI-4027 , 12-6
VMT-00409 , 11-2	VNI-4028 , 12-7
VMT-00410 , 11-2	VNI-4029 , 12-7
VMT-00411 , 11-2	VNI-4030 , 12-7
VMT-00412 , 11-2	VNI-4031 , 12-7
VMT-10001 , 11-2	VNI-4032 , 12-7
VMT-10016 , 11-2	VNI-4033 , 12-7
VMT-10017 , 11-3	VNI-4034 , 12-7
VNI-2001 , 12-1	VNI-4035 , 12-8
VNI-2002 , 12-1	VNI-4036 , 12-8
VNI-2003 , 12-1	VTC-1000 , 13-1
VNI-2006 , 12-1	VTC-1001 , 13-1
VNI-2007 , 12-1	VTC-1002 , 13-1
VNI-2008 , 12-2	VTC-1003 , 13-2
VNI-2009 , 12-2	VTC-1004 , 13-2
VNI-2010 , 12-2	VTC-1005 , 13-2
VNI-2011 , 12-2	VTC-1006 , 13-2
VNI-2012 , 12-2	VTC-1007 , 13-2
VNI-2013 , 12-2	VTC-1008 , 13-2
VNI-2015 , 12-2	VTC-1009 , 13-2
VNI-2016 , 12-3	VTC-1011 , 13-2
VNI-3001 , 12-3	VTC-1016 , 13-3
VNI-3002 , 12-3	VTC-1017 , 13-3
VNI-3003 , 12-3	VTC-1018 , 13-3
VNI-3004 , 12-3	VTC-1118 , 13-3
VNI-3005 , 12-3	VTC-1119 , 13-3
VNI-3006 , 12-4	VTC-1120 , 13-3
VNI-3007 , 12-4	VTC-1123 , 13-3
VNI-3008 , 12-4	VTC-1124 , 13-3
VNI-3009 , 12-4	VTC-1125 , 13-4
VNI-3011 , 12-4	VTC-1126 , 13-4
VNI-3012 , 12-4	VTC-1127 , 13-4
VNI-3013 , 12-4	VTCE-1232 , 13-4
VNI-3014 , 12-5	VTCE-1233 , 13-4
VNI-3015 , 12-5	VTCE-1234 , 13-4
VNI-4001 , 12-5	VTCE-1235 , 13-5
VNI-4002 , 12-5	VTCE-1236 , 13-5
VNI-4009 , 12-5	VTCE-1237 , 13-5
VNI-4016 , 12-5	VTCV-1343 , 13-5
VNI-4017 , 12-5	VTCV-1344 , 13-5
VNI-4018 , 12-5	VTCX-1337 , 13-5
VNI-4019 , 12-6	VTCX-1338 , 13-6
VNI-4021 , 12-6	VTCX-1339 , 13-6
VNI-4022 , 12-6	VTCX-1340 , 13-6
VNI-4023 , 12-6	VTCX-1341 , 13-6
VNI-4025 , 12-6	VTCX-1342 , 13-6
VNI-4026 , 12-6	VTCX-1346 , 13-6

VTCX-1347 , 13-6	VTM-0006 , 16-2
VTCX-1348 , 13-7	VTM-0007 , 16-2
VTCX-1350 , 13-7	VTM-0008 , 16-2
VTD-0001 , 14-1	VTM-0019 , 16-2
VTD-0002 , 14-1	VTM-0021 , 16-2
VTD-0003 , 14-1	VTM-0023 , 16-2
VTD-0005 , 14-1	VTM-0028 , 16-3
VTD-0006 , 14-1	VTM-0032 , 16-3
VTD-0023 , 14-2	VTM-0033 , 16-3
VTD-0028 , 14-2	VTM-0035 , 16-3
VTD-0030 , 14-2	VTM-0036 , 16-3
VTD-0039 , 14-2	VTM-0038 , 16-3
VTD-0044 , 14-2	VTM-0042 , 16-3
VTD-0046 , 14-2	VTM-0043 , 16-4
VTD-0048 , 14-3	VTM-0044 , 16-4
VTD-0049 , 14-3	VTM-0045 , 16-4
VTD-0052 , 14-3	VTM-0046 , 16-4
VTD-0053 , 14-3	VTM-0047 , 16-4
VTD-0054 , 14-3	VTM-0048 , 16-4
VTD-0055 , 14-3	VTM-0049 , 16-4
VTD-0057 , 14-3	VTM-0050 , 16-5
VTD-0058 , 14-4	VTM-0051 , 16-5
VTD-0059 , 14-4	VTM-0052 , 16-5
VTD-0061 , 14-4	VTM-0053 , 16-5
VTD-0073 , 14-4	VTM-0055 , 16-5
VTD-0074 , 14-4	VTM-0056 , 16-5
VTD-0075 , 14-4	VTM-0058 , 16-5
VTD-0076 , 14-4	VTM-0059 , 16-6
VTD-0077 , 14-5	VTM-0060 , 16-6
VTD-0078 , 14-5	VTM-0061 , 16-6
VTD-0079 , 14-5	VTM-0062 , 16-6
VTD-0080 , 14-5	VTM-0063 , 16-6
VTD-0082 , 14-5	VTM-0066 , 16-6
VTD-0084 , 14-5	VTM-0067 , 16-6
VTD-0090 , 14-5	VTM-0068 , 16-7
VTD-0091 , 14-6	VTM-0069 , 16-7
VTD-0093 , 14-6	VTM-0070 , 16-7
VTD-0094 , 14-6	VTM-2000 , 16-7
VTK-1000 , 15-1	VTM-2001 , 16-7
VTK-1001 , 15-1	VTO-1000 , 17-1
VTK-1002 , 15-1	VTO-1001 , 17-1
VTK-1004 , 15-1	VTO-1002 , 17-2
VTM-0001 , 16-1	VTO-1003 , 17-2
VTM-0002 , 16-1	VTO-2000 , 17-2
VTM-0003 , 16-1	VTO-2001 , 17-2
VTM-0004 , 16-1	VTO-2002 , 17-2
VTM-0005 , 16-1	VTO-2003 , 17-2

VTO-2004 ,	17-2	VTP-0045 ,	18-5
VTO-2005 ,	17-3	VTP-0046 ,	18-5
VTO-2006 ,	17-3	VTP-0047 ,	18-5
VTO-2007 ,	17-3	VTP-0048 ,	18-5
VTO-2008 ,	17-3	VTP-0059 ,	18-5
VTO-4400 ,	17-3	VTP-0060 ,	18-5
VTO-4401 ,	17-3	VTP-0061 ,	18-6
VTOG-1000 ,	17-4	VTP-0064 ,	18-6
VTOI-1000 ,	17-4	VTP-0065 ,	18-6
VTOL-1000 ,	17-4	VTP-0071 ,	18-6
VTOR-1000 ,	17-4	VTP-0074 ,	18-6
VTOR-1001 ,	17-4	VTP-0089 ,	18-6
VTOR-1002 ,	17-5	VTP-0090 ,	18-6
VTOR-1003 ,	17-5	VTP-0091 ,	18-6
VTOR-1004 ,	17-5	VTP-0093 ,	18-7
VTOR-1005 ,	17-5	VTP-0094 ,	18-7
VTOZ-3002 ,	17-5	VTP-0096 ,	18-7
VTOZ-9010 ,	17-5	VTP-104 ,	18-7
VTP-0001 ,	18-1	VTP-105 ,	18-7
VTP-0002 ,	18-1	VTP-106 ,	18-7
VTP-0003 ,	18-1	VTP-107 ,	18-8
VTP-0004 ,	18-1	VTP-108 ,	18-8
VTP-0006 ,	18-1	VTP-109 ,	18-8
VTP-0007 ,	18-2	VTP-110 ,	18-8
VTP-0008 ,	18-2	VTW-1000 ,	19-1
VTP-0009 ,	18-2	VTW-1001 ,	19-1
VTP-0010 ,	18-2	VTZ-0011 ,	20-1
VTP-0011 ,	18-2	VTZ-0013 ,	20-1
VTP-0012 ,	18-2	VTZ-0014 ,	20-1
VTP-0014 ,	18-2	VTZ-0016 ,	20-1
VTP-0016 ,	18-2	VTZ-0017 ,	20-2
VTP-0017 ,	18-3	VTZ-0026 ,	20-2
VTP-0021 ,	18-3	VTZ-0027 ,	20-2
VTP-0022 ,	18-3	VTZ-0028 ,	20-2
VTP-0024 ,	18-3	VTZ-1036 ,	20-2
VTP-0026 ,	18-3	VTZ-1041 ,	20-2
VTP-0027 ,	18-3	VTZ-7300 ,	20-3
VTP-0028 ,	18-3	VTZ-7301 ,	20-3
VTP-0029 ,	18-3	VTZ-7302 ,	20-3
VTP-0031 ,	18-4	VTZ-7303 ,	20-3
VTP-0032 ,	18-4	VTZ-7304 ,	20-3
VTP-0035 ,	18-4	VTZ-7305 ,	20-3
VTP-0036 ,	18-4	VTZ-7306 ,	20-4
VTP-0039 ,	18-4	VTZ-7307 ,	20-4
VTP-0041 ,	18-4	VTZ-7308 ,	20-4
VTP-0043 ,	18-4	VTZ-7310 ,	20-4
VTP-0044 ,	18-5	VTZ-7311 ,	20-4

VTZ-7312 , 20-4	XP-21003 , 23-1
VTZ-7313 , 20-4	XP-21004 , 23-1
VTZ-7314 , 20-4	XP-21005 , 23-1
VTZ-7315 , 20-5	XP-21006 , 23-2
VTZ-7316 , 20-5	XP-21007 , 23-2
VTZ-7318 , 20-5	XP-21008 , 23-2
VTZ-7319 , 20-5	XP-21009 , 23-2
VTZ-7321 , 20-5	XP-21010 , 23-2
VTZ-7322 , 20-5	XP-21011 , 23-2
VTZ-7323 , 20-5	XP-21012 , 23-3
VTZ-7324 , 20-6	XP-21013 , 23-3
VTZ-8005 , 20-6	XP-21014 , 23-3
VTZ-8006 , 20-6	XP-21015 , 23-3
VTZ-8007 , 20-6	XP-21016 , 23-3
VTZ-8034 , 20-6	XP-21017 , 23-3
VTZ-8035 , 20-6	XP-21018 , 23-3
VTZ-9001 , 20-7	XP-21019 , 23-4
VTZ-9005 , 20-7	XP-21020 , 23-4
VTZ-9010 , 20-7	XP-21021 , 23-4
VTZ-9019 , 20-7	XP-21022 , 23-4
VTZ-9020 , 20-7	XP-21023 , 23-4
VTZ-9064 , 20-7	XP-21024 , 23-4
VTZ-9079 , 20-7	XP-21025 , 23-4
VTZ-9081 , 20-7	XP-21026 , 23-5
VTZ-9092 , 20-8	XP-21027 , 23-5
VTZ-9105 , 20-8	XP-21028 , 23-5
VTZ-9108 , 20-8	XP-21029 , 23-5
VTZ-9109 , 20-8	XP-21030 , 23-5
VXA-1000 , 21-1	XP-21032 , 23-5
VXA-1002 , 21-1	XP-21033 , 23-5
VXA-1003 , 21-1	XP-21034 , 23-6
VXA-2023 , 21-1	XP-21035 , 23-6
VXN-1000 , 22-1	XP-21036 , 23-6
VXN-1001 , 22-1	XP-21037 , 23-6
VXN-1002 , 22-1	XP-21038 , 23-6
VXN-1003 , 22-1	XP-21039 , 23-6
VXN-1004 , 22-1	XP-21040 , 23-6
VXN-1005 , 22-2	XP-21041 , 23-7
VXN-1006 , 22-2	XP-21042 , 23-7
VXN-1007 , 22-2	XP-21043 , 23-7
VXN-1008 , 22-2	XP-21044 , 23-7
	XP-21045 , 23-7
	XP-21046 , 23-7
	XP-21047 , 23-7
	XP-21048 , 23-8
	XP-21049 , 23-8
	XP-21050 , 23-8

X

XP-21000 , 23-1
XP-21001 , 23-1
XP-21002 , 23-1

XP-21051 , 23-8
XP-21053 , 23-8
XP-21054 , 23-8
XP-21055 , 23-9
XP-21056 , 23-9
XP-21057 , 23-9
XP-21058 , 23-9
XP-21059 , 23-9
XP-21060 , 23-9
XP-21061 , 23-9
XP-21062 , 23-9
XP-21063 , 23-10
XP-21064 , 23-10
XP-21065 , 23-10
XP-21066 , 23-10
XP-21067 , 23-10
XP-21068 , 23-10
XP-21069 , 23-10
XP-21070 , 23-11
XP-21071 , 23-11
XP-21072 , 23-11
XP-21073 , 23-11
XP-21074 , 23-11
XP-21075 , 23-11
XP-21076 , 23-11
XP-21077 , 23-12
XP-21078 , 23-12
XP-21079 , 23-12
XP-21080 , 23-12
XP-21081 , 23-12
XP-21082 , 23-12
XP-21084 , 23-13
XP-21085 , 23-13
XP-21086 , 23-13
XP-21087 , 23-13
XP-21088 , 23-13
XP-21089 , 23-13
XP-21090 , 23-13
XP-21091 , 23-14
XP-21092 , 23-14
XP-21093 , 23-14
XP-21094 , 23-14
XP-21095 , 23-14
XP-21096 , 23-14
XP-21097 , 23-14
XP-21098 , 23-15
XP-21099 , 23-15
XP-21100 , 23-15
XP-21101 , 23-15
XP-21102 , 23-15
XP-21103 , 23-15
XP-21104 , 23-16
XP-21105 , 23-16
XP-21106 , 23-16
XP-21107 , 23-16
XP-21108 , 23-16
XP-21109 , 23-16
XP-21110 , 23-17
XP-21111 , 23-17
XP-21112 , 23-17
XP-21113 , 23-17
XP-21114 , 23-17
XP-21115 , 23-17
XP-21116 , 23-18
XP-21117 , 23-18
XP-21118 , 23-18
XP-21119 , 23-18
XP-21120 , 23-18
XP-21121 , 23-19
XP-21122 , 23-19
XP-21123 , 23-19
XP-21124 , 23-19
XP-21125 , 23-19
XP-21126 , 23-20
XP-21127 , 23-20
XP-21128 , 23-20
XP-21129 , 23-20
XP-21130 , 23-20
XP-21131 , 23-20
XP-21132 , 23-21
XP-21133 , 23-21
XP-21134 , 23-21
XP-21135 , 23-21
XP-21136 , 23-21
XP-21137 , 23-21
XP-21138 , 23-21
XP-21139 , 23-22
XP-21140 , 23-22
XP-21141 , 23-22
XP-21142 , 23-22
XP-21143 , 23-22
XP-21144 , 23-22
XP-21145 , 23-22
XP-21146 , 23-23

XP-21147 , 23-23
XP-21148 , 23-23
XP-21149 , 23-23
XP-21150 , 23-23
XP-21151 , 23-23
XP-21152 , 23-24
XP-21153 , 23-24

も

問題の重大度 , 1-3

い

イベント管理メッセージ , 13-4

え

エージェント・ゲートウェイ・メッセージ , 12-1

か

管理サーバー・メッセージ(クライアント層) , 15-1
関連資料 , x

け

ゲートウェイ・メッセージ(エージェント) , 12-1

こ

コンソール・メッセージ , 13-1

し

ジョブおよびイベント管理メッセージ , 13-5

せ

接頭辞

定義 , 1-1
全世界のカスタマ・サポート
Oracle Trace メッセージについての問合せ , 3-1
すべてのメッセージについての問合せ , 1-3

ふ

フレームワーク・メッセージ , 8-1

